

O-net 楽天 **ご入会** いただくと **楽天スーパーポイント** **10,000** ポイント

まずは無料 **結婚力診断**

## tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

### 更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月 次の月

### 1月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

### 鳥騒ぎ

2004,1,29

鳥で騒いでいるタイランドである。  
 「タイには秘密が無い」とは良く言ったものだと思う。  
 伝達事項の速さは、目を見張るものがある。  
 ちなみに、菌が見つかった半径5キロ以内の鳥を全部殺すとかいう計画もあるらしく、  
 養鶏業者を巻き込んで、結構もめているようである。  
 「臭いものには、とりあえず蓋をしちゃいましょう」主義ですから、タイから鳥がいなくなる日が近いかもしれないとふと思った。

ちなみに、昨日、昼にKFCの前を通ったら、お客はファラン1人。  
 お昼時でっせー。  
 もう1店舗・・・確か、チェスターグリルとかいう店(違っていても?)  
 同じく鶏肉関係のチェーン店・・・昨日の放課後、オットーとチェスターグリルで勉強したんだけど、  
 お客は自分達以外はゼロ。  
 あまりの静けさに、タイ語勉強には、ばっちりの環境。

正解は、75度以上で1分間過熱すると、全く問題ないはずだが、庶民レベルの噂では  
 鶏肉、卵は一切危ない・・・という事になっているようである。  
 しかし、鶏肉はともかく卵が一切駄目となると、食べるものなんて無いじゃん。  
 マヨネーズはじめソース類はかなりの確率で卵が入っているはずである。パンだって入っているんじゃ。  
 卵豆腐はよくスープに入っている。日本ではてんぷらにもつなぎで卵入れるけど、タイでは???  
 チキンチャーハンにしなくたって、チャーハンには卵が入っているし・・・  
 考えたたくも無いですね-----。  
 そういえば、昨日食べた日本料理の寿司セットにも卵が入っていたけど・・・  
 考えたらきりが無い。

自分は、もちろん食べたけど・・・

それより鳥関係は売れ行きが悪いから、古い気がして、それで当たりそうな気がする。  
我が家の近くの市場では、ちゃんと鳥のから揚げ（ガイ・トート）とか売っていたけど、売れていなさそうだから、「それは、いつ揚げたの？」って疑問が・・・  
日本料理やとかでも、メニューから外されていることはなかったが、それより売れ行きが悪いから、材料が古いつて事の方が、問題である気がしてならない。

こんな時は、ソムタムに限るって思って、イサーン屋台ですべてのおかずを購入したら、ダムさんに「食べるものがない」と怒られてしまい、あっきーと二人で、「美味しいのにねー」って言って、食べるていた。

しばらくは、この騒ぎも続きそうな予感。



## 田舎生活も良いかも

2004,1,28



何故だか分からないが、最近、地方に住みたいという気持ちが非常に強くなってきている。  
もちろん、地方と言っても、あまりの田舎は困る気がする。  
元々、日本人が他県で働く場合、ほとんどが工場（製造業）ということになるので、工業団地はすべての県に存在するわけではなくある程度の地域に限られる。

個人的に行きたいと思うのは、コラートあたりなんだけど、ダムさんがイサーン嫌いな為、ダムさんと一緒に行くと言うことを考えた場合は、却下。

ダムさんも望んでいて、自分も住みたいと思っている地方は、チョンブリー県・ラヨン県である。  
何故かと言えばダムさんの実家（トラート県）が近くなるからである。  
ちょうど、バンコクとトラートとの間の県であることである。  
また、自分としては、パタヤに住めるという大きな利点があるのである。

勝手な妄想かもしれないが、パタヤに住んで、平日は、お買い物をし（何の？）週末は、ジヨムティアンビーチでのんびりと・・・こんな贅沢な暮らしがあるものかーって感じです。  
まあ、仕事もしていかなければいけないから、そうそう快樂生活ではないのかも知れないが、パタヤ（パタヤまで30分圏内）であれば、ちょっと魅力的であると考えてしまう。

地方に住みたいと考え始めて理由はなんだろうと自分なりに分析してみると、  
1) バンコクの環境の悪さ・・・空気の悪さも含めて、環境汚染は末期的だと思う。  
2) 高級な月給・・・一般に地方は求職者に敬遠されがちなので、条件面は悪くない。  
3) 地方に行った方が、タイ語を使う機会が増えそうな気がする。

この3つがやはり大きな原因なのかもしれない。  
しかし、やはり、地方へ行くとなると、簡単に気分で行くと言うことは不可能である。  
じっくり考えて行動に移さなければ・・・とも思う。

しかし、やっぱり、何だかんだ言っても、今の生活の方がサバーイかもって思えなくも無い。パタヤなんて、2時間で行けるんだから・・・。  
バンコクで稼いで、週末にリゾートする・・・この方法がやっぱりベストかもしれないとも思う。



## カイ・ワット・ノック

2004,1,27



昨日、ニュースを見ていると、この言葉の連発であった。  
 カイ（熱）・ワット（風邪）・ノック（鳥）  
 鳥インフルエンザの事である。

TVでさんざんこの問題を流して、死者まででているので、一般庶民も結構気になっているようである。

自分は、あんまり気にしていない。

健康で、免疫力がちゃんとあれば、病気になんかかかるかーって言うのが、自分の考え方だからである。

一応、ちゃんと火が通っていれば、問題ないとか、感染した鳥に触らなければ大丈夫等の情報が流れているが、真相はどうなのでしょう？

ちなみに、日本では、牛肉は何処かへ行っちゃうような勢いらしいが、ここタイランドでは普通である。自分も良く食べております。何処産かも知らない（笑）

TVでは、鳥を扱う「カオ・マン・ガイ」屋さんが、「カーウ・カー・ムー」屋さんになったりしているようである。

タイ人大人気のケンタッキーとかは、何を売っているのかちょっと気になるけど・・・

しかし、今日街中を見る限りでは、ガイ・ヤーン（焼き鳥）も売っていたし、「クィッティアオ・ガイ（麵にチキンを入れたもの）」もちゃんといつも通り売っていた。

但し、売れ行きがどうかは不明である。

自分は、密かに思っているんだけど、これは、「ベジタリアンになるしかない」「ダイエットのチャンス到来」って思っている。

ちなみに、庶民レベルでは、そうそう大きな混乱はないが、実はタイランドは鳥の輸出大国であるのである。

日本のように、「タイからの鳥は輸入禁止」って事になったら、経済損失は・・・

ちなみに、日本が輸入禁止を決めてからの経済損失は、300億パーツとかってどっかで読んだかなーまあ、数字が大きすぎて、分りません。

しかし、食べ物商売って、博打だなーって実感。

鳥が無くなったら、やっぱり食べるものの幅が急に減りますなー。

## 久々の場所へ行ったら、友人が驚く

2004,1,25



日曜日、実に何年ぶりという言葉にふさわしい場所「バビロン」へ行った。

偶然、在住の友人2人に出くわしたが、「てっちゃん、何でここにいるのー」という反応や「珍しいねーどうしたのー」って反応があり、確かに久しぶりに行ったのだが、「行っちゃ行けない場所に行ったのかなー」って、思ってしまうような感じ。

そんなに、自分が、バビロンに行くことが不思議なのだろうか？

でも、事実、住み始めて2年半、確か、3回目のような気がする。

つまり、旅行者の方で年に何回か来ている人の方が、良く行っているのかもしれない。

確かに、在住日本人もそれぞれの遊び方をしているが、バビロン・シーロム地区大好き派と、それ以外の地域大好き派は大きく分かれるような気もする。

自分は、あきらかに後者であるのは、言うまでもない。

久しぶりに行った感想は、「相変わらず、ジジイ・ファランが多いなー」って事と設備がさすがに良いなーって事。

事実、ファットネスして、熱い、サウナに入れるだけでも十分に価値はあるお値段だとは思う。

しかし、これといってやりたいな―――と思える子は皆無であった。  
 唯一、かわいいかな―――と思った子としゃべったが、笑ったら歯の矯正をしていた。  
 どうも、歯の矯正をしている子は好きじゃないんだよね―――。  
 啞えられたら。はさまって痛そう―――って思うのは、自分だけかな？  
 しかも、暗いところでは分らなかったけど、明るいところでみると、へそまでギャラントウしてる  
 し・・・・何もせずにご帰宅。  
 その他、いけるかも・・・・と、後をつけると、ファランの席に行ったり・・・・って感じです。  
 昔、シーロムでナンパして遊んだ事がある子（名前も忘れた）と合ったりしたが、昔の事なんで「やった  
 ことある子だな」って分る程度の記憶。

この日曜日は、身体を癒す休みとなった。  
 マッサージして、オバビのフィットネスで運動して、熱いサウナに入る。  
 気のせいに違いないが、サウナあがりは妙にお肌もつるつるした感じで若返った気もする。

正直、久々行って、ちよくちよく行ってもいいかな―――って感じです。  
 でも、行くんだったら、早い時間に行って、十分にフィットネスして、サウナで十分に汗を流して、夕方  
 ぐらいから「さて、発展でも・・・・」って流れがいいよな―――って思う。

それにしても、バビロンって、すごい人数が入っていました。  
 自分が入った時間が4時過ぎ・・・・既に、330番代でして、お話した歯の矯正君は、5時ごろ入ってきた  
 そうだが、既に400番代・・・・非常に不思議なのは、「なんで、これだけいるのに、タイプがい  
 ないんじゃないか―――」って事。  
 まあ、宝物は、すぐに売れちゃうんでしょうな―――。

-



## 二日酔い

2004,1,23



昨日22日は、中国正月の為、会社はお休み。  
 ちなみに、この日はお休みとなる会社は1部らしい。  
 事実、昨日、シーロムに出かける用事があったが、結構スーツを着た人が歩いていた。  
 シーロムに行く度に、バンコクの環境の悪さを実感してしまう。  
 うちの会社なんて、中華系のタイ人は見かけないし、どうして休みになったのか分からないが、まあ、休  
 みになったんだから良しとしよう。

ちなみに、人から聞いた話によれば、中国正月は、買い物する日、お寺に行く日、遊びに行く日・・・・  
 となっているらしい。  
 今年で言えば、20日は買い物する日で21日がお寺に行ってワイをする日で、22日が遊びに行く日らし  
 い。  
 だから、22日が祭日なんだ―――って、勝手に想像してみたんですが、真相は分かりません。

なんだか、最近、酒ばかり飲んでる気がする。  
 本日も、二日酔いの為、まったく仕事をやる気がしない。  
 というか、こういう時に仕事をして、悪循環のような気がするから、わざとしないことにしているのか  
 もしれない。  
 ネットで時間つぶしの1日である。

-



## 振込み初体験

2004,1,21



タイで生活をはじめると不思議と現金を家に置かなくなった。

1番の理由としては、A T Mが便利だからである。

日本の今の現状は分からないが、少なくとも自分の住んでいた時代は、時間外の手数料があったり、日曜祭日などは、利用時間が限られていたりした。

引き出しだけ可能で、預け入れや振込みは日曜日は出来なかったりもしたような気がする。

ここタイランドは、それに比べれば、はるかに便利である。

但し、引き出しという事に限定すれば・・・と、付け加えたい。

ちょっと前までは、A T Mでお金を預け入れすると、割とトラブルが続いていたようである。

入金したのに、入っていない・・・等。

自分も、A T Mで預け入れるようになったのは、最近である。

ちゃんと、レシートが出てくるのである。

預けたという証拠の紙が・・・しかし、紙の質が悪い為か、インクがすぐに落ちて薄くなってしまいうレシート・・・以前、預けた証拠として、レシートを通帳にはさんでおいたが、1ヶ月後に見ると、インクがなくなり、ただの紙だった(笑)

最近は、そんなことで、A T Mでお金を預けた後に、すぐに通帳記入も合わせてするという無難な策を取っている。

事実、自分の友人で5000バーツ預けたけど、預けたことになっていなく、泣き寝入りした・・・って話を聞いたことがある(1年半ぐらい前かな?)

最近、逆のことも聞いた。

5000バーツ押したら、6000バーツ出てきた・・・って。

どうも、お札が折れ曲がっていたらしい。

友人Kさんは、翌日、わざわざ通帳記入したそう。

5000バーツ引き落とされていたか、6000バーツ引き落とされていたか見る為に。

ラッキーなことに、5000バーツだったらしい。

羨ましいー

で、先日、はじめて「オン・グン(振込み)」を経験した。

日本のように、お金さえあれば、振込みはできると思っていたが、タイのA T Mで振り込む場合、振込先の銀行のA T Mカードがないといけないということが判明。

バンコク銀行に振り込みたい時は、バンコク銀行のカードが必要らしい。

ちなみに、自分は、A T Mカードは1枚しか持ち歩かないようにしている。

財布無くしたときに、すべてのカードを無くすのは、後の事を考えるとあまりにも嫌だからだ。

で、バンコク銀行に振り込まなくちゃいけないのに、農民銀行のカードしか持っていなかったんで、いったん家に帰って出直し・・・面倒くさいー

普段、引き出しか、預け入れしかやっていなかったんで、振込み初体験。

メニューに振込みって表示がなかったから、「その他」を押すと、ちゃんと「オン・グン」のタイ語表示が見つかった。

「振込み」とタイ語で書かれた画面を押した・・・そしたら、訳の分からないタイ語がずらっと並んだ。

ひえーって感じ。

分からない・・・適当に押そうかなーって思ったり、「こういう場合は、多分、一番上を押せばいいんじゃないかなー。」とも思ったけど、とりあえず怖いから、キャンセルボタンを押した。

いいや、人に頼もうって思って、「タイプの子を見つけて、振込みをお願い。」

このような場合、何故か、タイプの男にやってもらう。

一応、「振込みをしたいんだけど、タイ語が読めないから・・・」って言ってやってもらったが、あつという間に振込み完了。

なんだか分からないまま終了したが、次回のことを思って、単語でもメモしてくるべきだったかもーって、少し後悔しています。

3年目を迎えても、まだまだ知らないことが多いんだなーって実感。



## 返ってきた

2004,1,19



今日、運転手さんが、自分を給湯室に呼んだ。  
何だろうと思っていると、「貸した金を返す。」というのが用件だった。  
確かに、去年、貸した記憶があるが、正直いくらだったのかも忘れていた。  
1000パーツを出したので「おつりは、いくら？」って思わず聞いてしまった。  
彼の言うとおりに、500パーツのおつりを渡した。  
正直、びっくりである。  
返ってくるとは思わなかったから・・・  
そういえば、借りてすぐの頃は、給料が出るたびに、「ごめんね、もう少し待ってね。」って何度か言っていた。  
それが、何も言わなくなり、そのうち音沙汰が無くなった。  
返してもらおうと元から思っていなかったというのが、本音で、驚いたと同時に、「どうせ、返さないんだろう。」と思っていた自分を恥ずかしく思った。  
ちゃんと覚えていて、こっちが催促を1度もしたこともないのに、何ヶ月も経った後に、返したのだ。  
本当に、ありがとうと言いたい。

タイでの生活に煮詰まった友人がいると、「田舎にいったら・・・」と無責任な？アドバイスをしたりするときもある。  
実際、この運転手さんもそうだが、田舎もんで、のほほんとしている人は、性格が良いのかもしれない。  
しかし、逆に、競争社会・勝ち組と負け組みがはっきりしているタイ社会では、性格のよさと金銭的・経済的豊かさは、反比例に近い形になっているのかもしれない。

自分の大切な友人の1人も、ちょうどそんな事で、悩んでいたりする。  
在タイ長い彼が、「田舎もんが好きなんだよなー。」って、ぼそっとこぼした言葉が非常に印象に残っている。  
バンコクで、見栄社会・虚栄社会・階級社会で生きてる人と比べたときに、人間的にも接しやすいと思うし、自分自身がくつろげる。  
常に、自分の容姿・服装をちょっとでもハイソに見せなきゃいけない。その為に、身につけるもの、生活環境等を考えなければいけない生活は疲れてしまうだろうなーと思う。

自分も友人もそうだが、容姿自体が、タイ人にとってカッコイイとされるタイプには、全く興味がないので、余計にそう思うのかもしれない。  
また、「田舎もの＝経験が少ない＝何も知らない」という人と一緒にいると、日本人にはない純粹さ(小さな事でも感動する)を持っていて、ある程度のことを経験している日本人とは違い、ちょっとしたことで感動したりしてくれると嬉しかったりするのである。

ここは、やはり異国である。  
正直、味見するだけで良ければ、こんなに簡単で、お手軽な場所はないのかもしれない。  
まさに、快樂生活という言葉を使っても十分に納得できる。  
ただ、やはり真剣に付き合いたいと思うと、色々と問題もあるのかもしれない。  
文化、教育、生活環境が違うという事、何より自分もそうだが、日本で30年以上住んできたので、そう簡単には、考え方は変わらないのである。  
トイレの違い、食べ物の違いと言った環境的なことは、慣れれば何の問題もない。  
しかし、脳みその中身だけは、簡単には変えられない。  
理解はできるが、納得はできなかつたりすることが多くあるのである。

悩みながら、生活していくタイ生活・・・悩んでいる友人に勇気づける言葉ではないかもしれないが、「日本を離れて、色々考えることもある。悩み事もある。でも、自分で選択して生きてる。」って思えるよね。  
日本と違って、ルールが敷かれていないから・・・そう思えるのかもしれない。

「脱線したっていいじゃん。日本社会を出てきた時点で大きく脱線したんだから（笑）でも、ちゃんと、元に戻ってくればいいんじゃない。もしくは、違う線路を走ってもいいじゃん。」って・・・大丈夫、ちゃんと目的地にたどり着けるから・・・パタヤまで行く道のように・・・



## タイ生活の危険度指数

2004,1,17



今週末は、実に充実した活動の日々であった。

金曜日の夜は、新聞を読む会の後、ディスコで酒をしこたま飲み、

土曜日は、久しぶりに運動不足解消の為に、ラムジムで汗を流し、失った水分を取り戻すかの為に、再びビールを飲み、そして、圧巻は日曜日である。

お仲間の集まるジムへ・・・その後、お仲間の集まるプールへ・・・

極めつけは、夜の怪しげな公園を徘徊するというすべてのコースを網羅したかのような週末であった。

なんと、充実し、すっきりとした（笑）休日の過ごし方なんだろうか・・・なんてね。

新聞を読む会ですが、第1回目の参加者は、言いたしっぺの自分とNさんの2人のみ。

「新聞を読む会というより、新聞を読む2人だよなー。」って笑いながらの授業。

授業といっても、日本人の二人も良く知った仲だし、先生もオットーだったので、非常にリラックスした雰囲気での授業。

そうそう、授業中とは思えないような雑談もありなーのです。

別に、カリキュラムがあって、ここまで読まなきゃいけないわけでもないし、単語が1個でも2個でも入れば十分なのである。

ご気楽なもんである。

それに、自分で読むと、2～3行で挫折しちゃうし、写真をみて、勝手に想像しているだけの時も多いから、毎週はやりたくないけど、細く長く続けていきたいもんである。

ちゃんとタイ人がいて、説明を聞きながら、少しずつ読んでいくのも良いかなーって。

多分、月に1から2度づつではあるが、地味に続けていきたいと思っています。

さて、週末にとんでもない場面に出くわしてしまった。

この日記にも、よく事故を目撃するって書いているけど、まさに、目の前で事故を目撃してしまったのである。

しかも、バイク同士の正面衝突！

タクシーが走っていて、それを追いつこうとしたバイクが、斜線をはみ出して走ったんだよね。

それで、反対側から来たバイクとドカーンと正面衝突。

なんと、バイクの破片が、自分のバイクのすぐ、すぐ、すぐ目の前まで、飛んできたのである。

自分は、タクシーの後ろを走っていたので、まさに、2～3メートル前の出来事。

思わず、目の前で人が死んだーって思った。

タクシーの下敷きになったかなーって思った。

偶然ではあるが、あっきと2けつしていたため、「これって、前に進んでいいの？」と聞いてしまった。

まさに、足がすくむという状態だったのかも知れない。

何人かは、走って現場を見に行ってた。

後続のオートバイは、知らん顔で、走り去っていく。

自分たちも、とりあえず、前進した。

バイクの運転手は立ち上がっていたから、大怪我をしたわけではないようである。

まさに、恐ろしいタイの交通事情である。

以前、マレーシアにビザ更新に行ったときに、自分の乗っていた長距離バスが、バイクをひいて、人が目の前で死んだのを目撃した。

また、会社の前で、お昼休みに、バイクと横断しようとしていた歩行者が、思いっきりぶつかった現場を目撃したのに続いての自分が目撃した大きな事故。

事故現場の後、警察が来て事故処理してる現場、けが人はいないが、車と車がぶつかった現場は、本当によく目にする。

この国の人たちは、どういう運転マナーなのか、交通事故や、事故死をどう思ってるのか本当に疑いたくなる。

このまま、バンコクに住んでいると、いつか自分にも災難が振りかかってくるような嫌な感じが頭をよぎった。

バンコクに住んで、一般タイ人と同じレベルの生活をするというのは、まさに危険と隣り合わせなのかもしれない。

タイ人は、歩かない、自家用車が高いけど馬鹿売れ・・・というのは、暑いから、見栄社会だから・・・という理由ももちろんあるが、危険を出来る限り除外する・・・という人間の本能からきているのかもしれないとふと思った。

バイクより、車の方が事故にあったときに、どちらが大怪我をするか？

また、一般乗用車と、ベントでは、どちらが、大怪我をするか？

自分は、便利さと安さでバイクを使っているが、本気で考えなければいけないかもしれない。

また、偶然ではあるが、週末、ダムさんがバイクを使っていた為、バスに乗る機会が何度かあったが、緑色の民営バスの運転手・・・明らかに、酒気帯運転者によるバス。(真昼間ですが)

また、彼女が横に座って、ベタベタして、食事を食べながら、いちゃつきながらの運転手によるバス。やはり、日本とは、明らかに違う異国であると実感せざるを得ない。

「安全と水は金で買う」・・・を実感の週末である。

## 快適なパソコン環境

2004,1,15



突然ではあるが、会社のパソコンのエクセルとワードが、今まで英語バージョンのオフィスが入っていたのを、日本語バージョンに切り替えた。

やはり、快適である。

英語バージョンの時は、ちょっと変わったことをしようと思ったら、大変だったし、押し間違えて、英語で、ズラズラって何か文字が出てきたら、「あれまー、どうしようー。」って感じだったが、とりあえず精神的にも楽である(笑)

ダムさんの授業料の件だが、あれだけ大騒ぎした割には、払わなくてもよくなったのだ。

というのは、学生が皆で、担当の先生を変えると抗議しているらしい。

もし、変えない場合は、授業料を払わないって・・・

タイ国・・・先生という存在は、尊敬される存在で、生徒の誰もが逆らわないと思っていた。

このような抗議運動？をする国民性だったのかーって、びっくりしているのが現状なのである。

教育機関も、サービス業の一種であるという認識が出始めたのかもしれない。

このような場合、やはり、学校側が古い体質を持っているようで、「先生は、こちらで決めることで、担当者は誰になるのか言えない。」と突っぱねてるらしい。

という事で、クラスの全員が一致団結して、次のコースを開講させないようにしているらしい。

まあ、基礎コースは、ほとんど修了しているわけだから、少し休んで復習しても良いし、時間数は少なくても、プライベートでやっても良いのかもしれない。

プライベートで1日2時間を週に3回もやれば、相当な力がつくとは思いますが・・・但し、料金的なことが、問題ですが(笑)

## 頑固な性格

2004,1,14



昨夜、ダムさんが帰って来なかった。  
 正確には、深夜の帰宅である、しかも酒を飲んで帰宅した。  
 眠いながらも、「酒臭いなー」って事は記憶にあるからだ。

原因は、次のコースの授業料の件であることは、明らかである。  
 自分は、何も悪い事をしていないし、開き直って怒っているのならそれで良いと思っていた。

朝、彼が、「本当に貸してくれないのー助けてくれないのー」って言ってきた。  
 「だって、パーツあげたじゃん。助けたじゃん。」って・・・

事実、そうである。  
 気持ちは分からんでもない。欲しくて欲しくてたまらないときは、どうしようもないときは後で売れば  
 いいや・・・って思っている。  
 でも、実際に手に入れると、何が何でも手放したくない。

諦めたようで、小声で言った。  
 「ネックレス(年末に渡したお金で買ったもの)を売れば、パーツ。指輪(卒業のお祝いで買ったもの)を売れば、パーツ。手持ちのお金がパーツ・・・足して、パーツ・・・あと、パーツ足りない。」って・・・最後の足りないの分だけ助けて欲しいって・・・明日までに授業料払わなきゃいけない・・・って  
 ソーソーに電話して、授業料をもう少し待って欲しいってお願いしたけど、駄目だって。つくづく、この国は、自国の人間を信用していないなーって実感。

一応、朝で忙しかったので、返事はせずに出てきた。  
 昨日、在タイ長い友人と話していたのだが、彼の言った言葉で、それだーって思ったのは、「欲しい物と、必要なものの区別がつかない」って言葉・・・これ、大当たりだと思う。  
 ちなみに、つい3日前?の日曜日に、卒業式の写真とチャーン島の写真を大金出して、部屋に飾るために、大きく引き伸ばしたのである。  
 まあ、自分がいるから、何とかしてくれるっていう気持ちがあるのだろうが、それは、良くない事であると思う。

階級社会、見栄社会、差別社会・・・タイランド・・・自分の地位・裕福さを表現するものが、何よりも優先順位が高いようである。  
 だって、卒業式のマント羽織った写真も大事だけど、大卒なら中味の方がもっと大事なはず。まあ、中味は見えないもんだから、写真が決定的証拠であるのはよく分かるが・・・

ため息をつきたくなる気がするが、仕方ない。  
 取り合えず、今回は、意地でも援助しない方針である。(結構、頑固な性格である。)  
 勉強するお金だから、本当は、援助してあげたい。  
 だけど、前後が、大きな問題なのである。

取り合えず、帰宅後に、ダムさんとタイ語の勉強でもして、自分で稼がせるしかないかなーって。  
 今日の帰宅後は、4時間ぐらい勉強しなきゃいけないかなーって。  
 頭痛ーい。  
 でも、意地でも、無償譲渡はしないのである。



苦手とすること

2004,1,13



どうも感じるのだが、タイ人は、話し合い、討論、意見交換というのが、非常に苦手とする人たちだなぁーって。

別に、一方的に非難しているわけではなく、今後良くなる為に改善する為にはどうしたら良いかという話し合いなのに・・・苦手のようであると感じる。どうも、避ける。

考えてみれば、階級社会で成り立ってるタイランド・・・上の命令を聞くとか、上下関係の指示命令系統は、きちっとしているようである。

ただ、日本的なのかもしれないが、現場の意見も聞いて、皆が良くなる様に、関係者全員がそれぞれの立場で意見交換しましょう・・・というのは、階級社会ではありえないのだろうか？

上のもの（知識があるもの）が決め、大げさかもしれないが、何の権力も無い下のものは、それに従うという方法が、今のタイの状況のようである。

上のものは、現場の経験や、下積み経験はあるわけなく、最初から上の立場にいるから、下のものの気持ちなんて、当然、分からないし、分かる必要も無い。

もちろん、考えもしない。

この先、天変地異が起こらない限りは、両者の立場が逆転することがありえない社会だからである。まさに、自分には関係ない他人事なのである。

日本の方が、平等社会すぎて、おかしいという意見もあるのだが、ここで問題なのは、そういった下のものの不満は、決して会議等の公式の場で表現されるわけではなく、陰口として、会社中に、しかも、尾ひれがついて回っていくことである。

まあ、日本でも同じようなことはあるはずだが、少なくとも、日本で働いていた時は、公式の会議等の場で、話し合いは、なされていたし、考え方の違いでぶつかることもあった。

タイ人は、そういった話し合いは、非常に苦手ようだ。

むしろ、避けているかのようである。

ちなみに、最も身近なところで言えば、ダムさんもそうである。

理論立てて、説明・説得しようとしても、深く考えることが、やっぱり苦手のように、

「じゃあ、もういい。」と開き直られてしまうことがしばしばある。

あんまり、あらゆる角度で物事を考え、なんとか最良の道を選び出す・・・というのは、非常に苦手な、しかも嫌っているような気がしてならない。

逆を言えば、あきらめがとてもし早い。自分は「えー、本当に良いの？」って思うことでも、「もう、いい。」と、投げやりになってしまう。

昨夜、ダムさんと、今月末から始まる新コースの授業料のことで喧嘩した。

自分は、昨年末に、ボーナスが出たことが、ダムさんに発覚した時点で、クリスマスプレゼントという意味で、ちょこっと現金を渡したのである。

新しい電話が欲しいと言っていたダムさんに「何に使っても良いよ。でも、来年の授業料の事をちゃんと考えて使うように・・・」と念を押したのである。

結果、すぐに売れる金（ゴールド）のネックレスを購入したのである。

しかし、このいきさつを分かっているながら、ダムさんは、「金を売ったら、赤字になる。」「（せっかく手に入れたので）売りにたくない」「貸してくれ」と言ってきたのである。今回は、譲れないと思い、「知らない。」と言って、今までの事のいきさつを説明するも「怒って、ふてくされる」というのである。

しまいには、「じゃあ、2ヶ月休んで、田舎に帰って、農業を手伝ってくる」とまで言い出す始末・・・完全に、逆切れ。

自分は、田舎に帰って、農業を手伝っても、1日100バーツぐらいしか現金収入にならないのを知っている（バンコクで、タイ語を教えている方が、数倍良い収入になることを知っている）から、「どうぞ、好きにすれば・・・」と言ってやる。

そうすると「愛していない・・・」という、とんでもない思考回路になってしまう。

タイ人を見ていて思うのは、「お金をつぎ込むことが愛の表現」と思っている風潮があるような気がする。

お金をつぎ込む = サバァイな暮らしをさせてあげる = 愛情表現の形

そうなのかなーと、首をかしげちゃうんだよねー。

欲求を満たしてあげるのは、今の時点は簡単だけど、キリがなくなるような気がする。

自分は、援助するだけが愛情表現じゃなくて、自立できるように横からサポートするのが、愛情だと思っ

て疑わない。

しばらく、突き放してみるのも良いのかもしれないと、ふと思った。



## 何故か雨

2004,1,12



タイランドは、季節もあっさり分かりやすくなっている国である。  
 確か、11月の中ごろから2月の中ごろまでは、乾季（寒季）にあたり、雨が1敵も降らないであろうと思っていたが、今日は、雨である。  
 しかも、日本の梅雨を思わせるような、どんより空に、しとしと雨である。  
 なんか、意外な感じがします。

タイ人と生活をしていると、とんでもなく驚かされる事がる。  
 ダムさん、寝る前に、顔に白い薬を塗っていたのだ。  
 全体ではなく、部分塗りだった為、にきび（吹き出もの）の薬であることは想像していた。  
 自分は、顔に塗る塗る美容に良いとされる薬やローションなどには全く興味はないのだが、  
 ダムさんは、「美白効果のある」「値段の高い（ブランド物の）」化粧品が大好きだ。  
 家の冷蔵庫にはwhitening と書いてある化粧品類が、いっぱい入っている。  
 これを、一番につけて、次ぎに・・・と、塗る順番も決まっているようである。

で、自分が、にきびの為の薬だったと疑わなかった薬は、なんと、なんと  
 「歯磨き粉」だったのです。  
 思わず、目撃した瞬間に、「ター・アライ・バー・ロー」（何を塗ってるの、馬鹿か）と言ってしまった。  
 ダムさん、平然と「スターが、これのにきびが直るといっていたんだ。」って・・・  
 あのー、確かに、歯磨き粉には、「清潔にする消毒の成分や、色を白くする成分もあるのかもしれない」  
 でもねー、びっくりとしか言いようが無い。

そういえば、何日も前から。冷蔵庫の上に、何故か新しい歯磨き粉が乗っていて、洗面所にいっぱい残っているのに何で新しいのを出してるんだろう？と思いつつ、日用品の買い置き場所に戻っていた記憶がある。  
 まさか、顔に塗るために、ダムさんが使っていたとは、夢にも思わなかった。

国籍が違うというのは、本当に夢にも思わないようなことにぶち当たるということであろう。



## 本日はこどもの日

2004,1,10



今日は、子供の日である。  
 どうして知ったかといえば、コンドミニアムの駐車場（通路？）に朝からテントが張られ、何やらお祭りの雰囲気かプンプンしているのである。  
 ヤームに「何をやるの？」って聞いたら「子供の日のパーティー。」という返事をもらいい、そうだ、1月の第2週の土曜日は子供の日だったことを思い出した。  
 しかし、とくに子供でもなく、また、子供もない自分としては、全く関係ない日である。



## 言葉の問題

2004,1,9



海外で働くというのは、やはり言葉の問題が発生する。

日系企業の場合、日本人駐在員 = マネージャー以上の役職というのは、当然であろう。

自分が働く会社の場合も、日本人駐在員はマネージャーであり、現地採用である自分は、秘書的な役割を果たしているのである。

で、駐在員の方は、一部を除いて、タイ語はできないので、必然的に英語が現地社員と接する際の共通語である。

タイは、日本以上に仕事をする上で英語が重要視されるのは、日系企業はじめ、外資系企業が多い = 上のクラスの人と接するときに必要なであるというのが、最大の理由であろう。

で、会議があると、「通訳して」って駐在員に言われて、通訳することが多い。

しかーし、おじさん、何を考えてるのか、英語で話すんだよね。

日本語で話して、それを通訳しろというのなら、話は分かるんだけど、英語～タイ語ってさ、何も、自分を連れてこなくて、タイ人で英語の堪能なスタッフもいるだろうに……もちろん、英語での説明が難しい時は、日本語で自分に訴えるんだけど、そういう話に限って、自分もタイ語に訳すのは難しいのです（笑）

だって、ややこしいんだもん。

日本人駐在員が英語で話す = タイ人社員は半分程度しか理解できない。

それを、自分がタイ語で念を押す……という感じで、とどめの理解 = あやふやさを無くすという役目があるらしい。

別に、タイ人社員の英語力が低いというわけではなく、日本人独特の発音、逆に、タイ人もタイ人独特の発音で、話が混迷することが多い。

日本語英語、タイ語英語……お互いに発音にくせがあるのである。

日本人は、「タイ人の英語は聞きづらい。」といい、タイ人は「日本人の英語の発音は悪い。」とお互いに思っているようである。

しかーし、どちらが正しいかは、ネイティブのみ知っている（笑）

おかしなことに、自分、英語力は、ゼロです。（自信を持って）しかし、日本人の話す英語は、非常に分かるのです。

もっと面白いことは、「多数派は強い。」って感じるんだけど、タイ人社員が多いと、こみいった話になると、どうしてもタイ語に変わっちゃうわけですよ。

そうすると、マネージャーである日本人駐在員は、何を話しているのか、まるっきり分からない訳ですよ。

そういう時に、自分が耳元で、「今、こういう事で、もめています。」と言うのである。

そうすると、「なんだ、そんなことを言ってるのか……」と、話が、ますます混迷するのです。

まあ、タイ人も、英語は母国語ではないですし、日本人も同じですよ。

任期が限られてる駐在員に、「タイ語を覚えろ。」というのもいかにも効率が悪い。

文化的、思考回路の問題もあり、小さな問題でも解決するのは結構大変だったりすることもある。

自分は、責任の無い身軽な立場だし、意外と双方の気持ちも分かったりするので、板ばさみを楽しんだりする。

まあ、話がそんなに大事ではないから、楽しんでいられるのだろうが……

別に、愚痴じゃないですよ。

ただ、海外で仕事をするって、結構大変なこともあったりするってことです。

ちなみに、本日、会議があったので、ちょっと書いてみただけです。



正月気分も、すっかりなくなって通常生活になっているのだが、なんとなく気になることが一つ・・・我がコンドミニウムのヤームに一人も若い子がいなくなったこと。

前に、9階にお住まいの方と共に10代の可愛いヤームを部屋に連れ込んで勤務中にビールを飲んでいたということがバレてから、急にヤームの平均年齢が上がっていった気がするのだが、最近は見事に高齢化してしまった。

入り口でいつもカードを配っていた子(22歳、マハーサラカム県出身の子)は、年末に5日間ほど実家に帰って言ってたけど、そのまま戻ってきていない。

タイプじゃないけど、いつも、にこにこしながら仕事をこなす姿は、非常に好感がもてたし、これぞ微笑みの国・タイランドって思える子だった。

仕事で疲れてきてて、にこっとされると、妙に清々しい気分させてくれる子だった。

年末に偶然、道端であって、ビアガーデンで一緒に飲んだ時にも色々話をしたが、やはり労働条件が厳しすぎたのかもしれない。

1日12時間労働、休日なし、制服も支給ではなく、買い取り(働き始めて3ヶ月は制服代が引かれる)・・・しかも、月給は非常に少ない。

これじゃ、田舎にいたほうが良いんだろうな。。。と思わざるを得ない。

でも、自分が考えるわずかな金額でも、田舎での生活を考えれば、貴重な現金収入なのかもしれない。食べ物に恵まれてるとということと、現金とはまったく別物なのだから・・・

タイでは、労働に関する法律(労働基準法にあたるのかな?)が存在しており、週に1日の休日とか、働き始めて1年以上のものには6日間の有給休暇を与えなければいけないとか県によるが最低賃金も法律で決まっている。

でも、あんまり守られていないのかな。。。って思う。

まあ、日本も同じなのかもしれないけど、、、

ちなみに、ヤームだけではなく、お隣の車の洗車場で働いている赤いTシャツの子達も、正月のお店が休みだった2日間以外は、週休というものは存在していないようである。

多分、年末年始の3日間ぐらいと、ソンクラーンの1週間ぐらいしか休みがないのだろう。

実に、年間休日10日間・・・これ、タイの下の方の階層の人の現実なのかもしれない。

ふと思うと、経済成長が目ざましく、物価も労働者の賃金もどんどん上昇しているようだが、これって一部の人の話なんだろうな。。。って思う。

有言実行型の総理大臣、タクシンさんが、麻薬撲滅政策の次は、貧困政策に重点を置いているが、貧困者をなくすというのは、すごく難しいのかもしれないと思う。

何より、こういう労働者層の人たちの給料があがれば、そして、労働条件が改善され、休日だ、有給だって出てきたら、会社(経営者)は、成り立たないのではないだろうか?

とってしまう。

給料が上がる=人の数が減る=今までの倍の仕事をしなければいけない・・・これは、タイ人にとっては、サバァイでは、ないはずである。

何より、失業問題も出てくるだろうし、タイ式ワークシェアリングを崩すのは難しいと思うのだが・・・

ヤーム君の話から、話がずれてしまったが、田舎でゆっくり休んで、また出てきて欲しいと思う。「バンコクでの仕事、お疲れ様だったね。」って心からねぎらいの言葉を言ってあげたい。

-



正月休暇の秘密

2004,1,7



やっと、昨夜でバイトも終了し、放課後の自由時間が確保できた。  
実感するのは、やはり、仕事を始めるとお金よりも時間が欲しいという事である。  
これで、今日から5時半以降、自由時間が確保できると思うと嬉しい。

年末に、びっくりするような事があったので、日記に書こうと思います。  
お正月といえば、タイでは、ソンクラーン（4月）の時期になるため、年末年始は通常12月31日と1月1日の2日だけしか休日ではない。  
ところが、今年のカレンダー上では、2日が金曜日にあたっており、カレンダー通りでいけば、31日、1日休み、2日出勤、3日、4日は土日・・・という飛び石状態になっている。銀行や公務員は、31日の休日を2日に振り替えて、31日まで営業する代わりに1日から4日まで休みとしたところも多かったようである。

さて、我が社であるが、一応、カレンダー通りで動くよていだったのである。  
ちなみに、自分は、31日から4日まで休むと予定していた。  
だって、仕事がないのは、明らかに目に見えていたので・・・

で、で、30日の午後になって、会社を開けていても、仕事がない・・・仕事がないし、従業員が有給を取って休んでいる・・・ということが判明したらしい。（上層部で）  
で、で、30日の午後3時ごろに、31日から4日まで会社を休みにすると決めたのである。  
先のことを読めない・考えない・・・というが、まさしく・・・  
正月休みが、前日の夕方にならないと分からない・・・とは・・・  
日本なら、大プーイングであろう。  
「最初から分かっていたら、旅行の計画立てたのにー。ー。」ってね。

でも、休みになったということで、誰も文句を言わなかったのは、言うまでもない。



いきなりは・・・疲れる。

2004,1,6



いきなりリゾート帰りで、通常の仕事と、夜のアルバイトが本日まであり、なんか「げっそり」状態です。

タイ生活・・・無理をすることはいけない・がんばってはいけない・・・と、思いつつも、とりあえず、2日間だけの辛抱と思うしかない。

日中は、たいした仕事をしているわけじゃないのに、やはり8時間の労働の後に、再びアルバイトに行くというのは、体力的に無理っぽいらしい。

まあ、5日も休んだので、リハビリが必要であるとは思いつつ、こんなにも急にめいっぱい仕事をするのは、身体的にも精神的にも良くないと思う。

まあ、良い正月休みだった事だけは、事実である。

ダムさんとは、今年も月に1回ぐらいは、泊りがけで旅行に行きたいと思っている。

去年は、正月のマレーシアから始まって、仕事でのチェンマイを含めて、サメット、コラート、パタヤ等、本当によく遊びに行った気がする。

今年も、月に1回ぐらいは・・・と、思っている。

まあ、日本にいたら、国内旅行とはいえ、毎月のように行けるもんじゃないだろうし、タイ生活の醍醐味という事でしょう。

交通費が安い、どこに行っても、食べ物に困らない（屋台が必ずある）、予約しなくても何とかなる（正月、ソンクラーン等を除いて）というのは、便利である。

事実、今回の正月の旅行も、飲み明かして、出発の15分くらい前に、ちょこっと準備した感じ。

パスポートや航空券など、必要ないわけだから、身軽で気楽なもんである（笑）

掲示板にも書きましたが、「タイ語新聞を読む会」をはじめていきたいと思っています。

どういう感じに進めるか、場所はどこで行うかは、手探りでやっていきたいと思う。

意外な事かもしれないが、バンコク市内、数人で勉強ができるような静かな喫茶店がないんですよ。（あ

るけど、少ない・・・btsの沿線沿いと考えると・・・難しい)+  
 どうしても、ざわざわした感じがあったり、図書館などは、一人で自習するなら良いが、何人かで集まっ  
 てやるとなると、会議室のようなものが欲しい。  
 新聞を教材に、タイの事を知っていこうというのが、目的である。  
 もちろん、タイ人(先生?)も交えて、発音確認をしながらの雑談会の延長になれば良いと思っている。  
 語学学習という意味では、少人数で、やっていきたいが、レベルの差は仕方がない。  
 言い出しっぺの自分のNさんの2人ですら、既に相当のレベルの差があるはずである。  
 まあ、気にしないで、楽しくやっていければ良いのである。  
 本当は、勉強の後に、「それじゃ、飯でも・・・」って言う方が、楽しみだったりしているはずである。  
 月に1~2回、不定期にやっていく予定です。  
 その都度、掲示板でお知らせ致しますが、興味のある方は、どうぞ・・・連絡下さい。



明けましておめでとうございます。

2004,1,5



あけましておめでとうございます。  
 正月休みの5日間は、本当にあっという間の時間でした。  
 簡単に説明すると、年越しは、ラムのディスコ街でフィーバーして、年が明けてからパタヤ1泊。  
 その後、チャーン島でのんびりとしたひと時を過ごし、本日よりいつも通りの生活がスタートです。  
 5日間という短い正月休みでしたが、国内旅行なので、効率的に遊びにいけることを実感です。  
 いやー、久しぶりの贅沢な旅行だったなーって感じです。

何人かの旅行者の方とも会いまして、中には、偶然、バツタリ街中で・・・というケースもあり、世の中狭いのか、遊ぶ場所が同じなのか・・・(笑)

実は、パタヤで、はじめてエロオイルマッサージというのを初体験しました。  
 エロオイルマッサージのことをタイ語では、「ヌワット・ピセート」(マッサージ・特別)とか「ヌワット・ピット・ファイ」(マッサージ・消す・電気)とも言いますが、この手のマッサージは、マジではじめてだったんですよ。  
 エグかったですねー。びっくりしました。  
 シャワーのあと、スッポンポンでうつ伏せでオイル塗られるのは良しとして、けつとか、肛 周辺まで、丹念にマッサージ。  
 ボーイさんには、大事なお穴が丸見え状態じゃないですか・・・これって、最新の羞恥プレイかと思っ  
 たくらいです。  
 で、仰向けになったはいいいけど、もう、我慢できません状態が、バレバレじゃ、やることは、一つしかない。  
 何だか、カルチャーショックのマッサージ体験でした。  
 癖になりそうです(笑)

とりあえず、しばらく更新もしていなかったもので、元気で正月休暇から帰ってきたのと、通常生活のスタートをご報告いたします。

もう1つ、チャーン島、いいですよー。  
 のんびりした雰囲気・・・リゾート、リゾートしていないところが最高。  
 お正月で、これだけの人なら、普段は、もっとのんびりしてるんでしょうなー。

---

**【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ**

---

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)

---





## tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

## 更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

## 2月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29						

## 大卒の証明

2004,2,21



ダムさんが実際に大学の卒業単位を満たしたのは、去年のサマー後（5月ごろ）。  
 今まだ、大学卒業の余韻が残っている。  
 というのも、去年の12月の卒業式の記念品もろもろが大学から送られてきたのである。  
 ざっと紹介すると

- 1) 卒業生全員が写った記念写真（とても大きい）
- 2) ダムさんが、卒業証書をまさに渡される瞬間の写真（大きい）
- 3) 卒業アルバム（全員の顔写真・住所等を含む）
- 4) 卒業式の模様を撮影したVCD

いやはや、すごいものである。

VCDに至っては、卒業式の様子がすべて収録されており、しかもバックには校歌が流れているとう立派な作品に仕上がっている。

実際の卒業式では、親族一同は、外でずっと待たされていたので、中の様子が分らなかったもので、このVCDを見てください・・・という事でしょう。

ダムさん曰く、来月に実家に帰る前に、どでかい写真の枠を買わないと・・・って意気込んで仕事をして（お金を貯めて）おります。

実家の家には、親族の中で初の学位取得者の写真が誇らしげに飾られ、一族の誇りとなるようです。なんか、日本とタイの違いを実感。

ところで、久々の発展情報となりますが、昨夜9階にお住まいの方とラムの公園ハウオーキングという名の発展活動。

いるいる・・・いっぱいです。

どう考えても、「何で、こんな場所に、人がいっぱい歩いているの？」

「あっちの明るい道は避けて、なんで、こんな暗闇の通路に人がいっぱいいるの？」って言う感じです。

自分は、夜の行動が大分制限されているが、9階の方は、毎日出没（最低、週に3回）は確実のものとなったようです（笑）

その後、戴き物の焼酎「吉四六」を飲んだのである。  
頂き物と言っても、もらった本人は、あっきりであり、おそそわけという事で、一緒に戴いたのである。レモン（タイではマナーオ）を絞って、ロックで1口飲んだ途端、二人で顔を見合わせ、ニンマリって感じだったのだが、ダムさんが、ビールのようにどぼどぼ注ぐもので・・・せっかくの酒が・・・

ダムさん、大酔っ払いの夜でした。  
美味しい酒は、味わって飲みたいものですねーを実感。

---



## 空気が汚い

2004,2,20



相変わらず、パソコンの画面を見ると、頭痛がする。  
仕事拒否反応??  
昨夜、とある用事で、バンコクの中心地まで出かけた。  
スクンビット～ラマ4通り～サトーン通りまで行ったが、相変わらずの空気の汚さにうんざりモード。  
ごくごく近い将来に、大都市バンコクも環境問題がクローズアップされること間違いなし。  
最近、食品に関して、農薬等を含む、身体に害がある食べ物を避けよう・・・という傾向があるが、それ以前に、24時間吸っている空気を何とかしてほしいものだと考える。

まあ、発展すると同時に、この問題は避けて通れないんだろう。

ふと、バンコク以外に住むことも真面目に考え出している。  
サバーイ・・・な生活。  
何をもちてサバーイなのかは、人それぞれ価値観が違うはず。  
しかし、彼氏を見つけた今、バンコクの環境は、自分にとってサバーイではなくなりつつあるのかもしれない。

それにしても、この頭痛の原因を解消するのが、今の一番のサバーイであろう。

---



## 目が痛い

2004,2,18



最近、仕事のしすぎなのだろうか？  
うーん、実質労働時間を考えると、そんな訳はない。  
ただ、昨日の夕方から、パソコンの画面を見ると頭痛がする。  
去年も一度同じような症状があった。  
その時は、コンタクトの度数が合っておらず、新しくコンタクトを購入した途端、嘘のようにスカッと治った。  
今回は、どういうわけか分からない。  
1日中座って、パソコンに向かっている為、運動不足のようで、身体が運動を求めているようである。  
昨日は、ラムジムで軽く運動してきたのだが、今朝、パソコンの画面を入れた途端、仕事を拒否するかのように目の奥が痛い感じ。  
今日は、パソコンをできるだけみないようにしようっと。  
ひょっとして、鶏肉を長らく食べていないことが原因なんてことはないよね（笑）

---



ダムさんの日本語も大分上達してきているように思う。  
 というのは、ダムさんと日本語で話す機会が増えてきたように思うからである。  
 一応、タイ語が共通語である方が、楽は楽なのだが、日本語でも会話は成立しているようである。  
 ダムさんの周りの人間関係を見てみると、最近では、自分を除いても日本人という時間がタイ人という時間より多いようである。  
 タイ人の友人という場合、ダムさんの友人は特別なのかもしれないが、色々な問題がらみが多いからうんざりしているのかもしれない。  
 金銭の問題・就職の問題・恋愛の問題・・・出てくる出てくる・・・

仕事上、タイ語を教えるのは、100%日本人、恋人は日本人、その友人も日本人とあれば、日本にいるのと同じとは言わないが、それに近い状態であるようにも思う。  
 嬉しいことに自分がいなくても、日本人と出かける機会も多い最近のダムさん。  
 ネイティブの日本人はもちろん、日本語の新聞を含め、教材となるものの山ほどあるわけで・・・だから、割と上達が早いのかもしれない。

で、最近思うのだが、「怪しげな自分にとっての母国語をしゃべる人間は、とても可愛く感じる。」という事である。  
 日本でも、よく片言をちょっと超える日本語をしゃべる女の子と日本人のおやじカップルを夜の街でよく見かけたが、まさにその気持ちが今、理解できる。  
 片言の日本語をしゃべる黒い子がいたら、とたんに惚れてしまうかもしれない・・・とふと思ってしまった(笑)



予想通り、早朝から起こされた。  
 写真を撮りに行くというのである。  
 リラックスしに来ているのに・・・仕事の疲れを癒す為に来ているのに・・・  
 旅行に行って来たという自慢の為の証拠写真撮影は外せないらしい。  
 しかも、昨夜、あれだけ飲みまくったのに、朝からいつも通りに「腹減ったー」攻撃をされると、ダムさんの若さを実感。  
 取りあえず、朝から元気に一人で散歩・撮影をしてきたようである。

一緒に行ったカップルは、ダムさんが散歩後 自分も含めて散歩後 朝とも昼とも言えない時間にお昼を食べた後も、「コーヒーだけでいい」って状態だった事を考えると、いかにダムさんが早起きだったのか分る。  
 家にいるときは、自分が出勤する時も熟睡状態の割には、旅に出ると早起きなのである。

さすがに海の街だなーと思ったのは、朝ごはんからレストランじゃなくても・・・って事で、普通の食堂に入ったのだが、イカとえびの料理の美味しいこと、美味しいこと。  
 しかも、お値段は、食堂料金となっているので、1皿25バーツ程度。  
 安くて、美味しいとは、まさにこのこと。

で、午後には、バスで帰ってきて、3時間半ピッタリでバンコクの南バスターミナルに到着。  
 夕方の大渋滞に・・・と思ったけど、思ったより早く1時間半ほどで自宅近くに到着と言う旅でした。  
 やはり、旅行をするなら2泊はしたいなーって思ったけど、働くとかこういう感じのスケジュールになってしまうのかもしれない。  
 人によっては、片道飛行機使ったりしながら、旅を楽しんでいる人もいる。  
 やはり、タイにせっかく住んでいるから、色々旅したいものである。

で、肝心の海であるが、「タイは、島に行かないときれいな海はないのかなー。」ってちょっと思った。

まあ、自分もなんだかんだいっても、いろんな綺麗な海を見てきているので、感動するときは、よほどの何かが必要なかもしれない。

タイ正月のソクラーンのタオ島に期待しようかなー。



## ファヒン旅行 1

2004,2,14



週末を利用して、ファヒンに1泊旅行に行ってきた。

(日本人3人、タイ人2人の内訳)

例の電車の件であるが、予約しなくても朝7時45分発の列車に無事に乗れた。

金額も302バーツという破格の高額だったのは、エアコンはもちろん、3等の堅い木の椅子と違って、十分にリラックスできる状態の椅子(日本の普通の特急電車並みの椅子)と、機内軽食サービスが4時間足らずの間に2回も付いていたという事が理由のお値段らしい。

但し、出発は定刻だったが、到着は40分程遅れたというのが、タイらしい。

最終地点まで乗る人たちは、何時間遅れになるのかなーってふっと思った。

よく友人から「ノンカーイまで電車で行ったが、4時間遅れた。」という話を耳にするが、特に大きな事故なくとも4時間も遅れるというのが普通らしい。

帰りのバス(1等エアコン128バーツ)と比べると、グループで行った場合は、電車の方が楽しい旅となるんだろうと言う事と、安全を第一に考えるならば電車かもしれないと思う。

但し、電車の方が時間が読めない、地方行きの場合、バスの方が意外と時間通りに到着するというのが、日本人には何とも理解し難い。

で、結局は、お昼頃に目的地のファヒン駅到着。

駅前には、お決まりの「ゲストハウスの勧誘」の人々が群がり、その中で、めちゃくちゃ可愛い子を発見した為、値段とか聞いたりしたもんだから、ダムさん早くも不機嫌。

とりあえず、ゲストハウスに到着したのはお昼過ぎだっただろうか？

ビーチに繰り出して、散歩たけど、ここのビーチは真っ白い砂浜がメインのようである。

それにしても、お客のほとんどがファランで、パタヤもそうだけど海好き白人・日焼け好き白人を実感。

バンコクのスクンビット界隈もそうだが、観光産業が経済の大きな部分なんだろうなーって実感。

事実、ファヒンの町並みは、ファランが好む街づくりをしたなーって感じるし、事実、ピザ屋・洋食屋がやたらと目に着いた。

ちなみに、着いてすぐから「ソムタム・プー・マーが食べたいー」って言っていたけど、ソムタム屋が本当に見当たらず、本当に苦労した。

海辺で昼間っからビールを飲み、幸せのひと時を過ごす。

夜は夜でシーフード料理を食べ、プリプリのイカやえびに大満足。

日本と比べたらなんだけど、これだけのシーフード料理が並んで、しかも、海辺のテラスで食事して、ビールまで飲んで・・・大満足のひと時でした。

その後、ゲイバーに行き、ディスコに行き、さらに、部屋で飲み・・・飲んだくれ、食いまくりの夜だったのである。



## 深夜のバンコク

2004,2,12



ソクラーンの予約をもうしてしまった。

大混雑が予想されるこの時期の予約であるが、あっさりと予約できた。

周囲の脅かしが嘘のようである。

まあ、2ヶ月前に予約を入れれば、すんなりなのかもしれない。

日本人は、クリスマスのホテルや正月の旅行を半年前から計画し予約を入れてる人も多いと思うが、タイでは2ヶ月前の旅行の予約というのは、とんでもない先の予約をしたことになるのかも知れないとふと思った。

以前から噂されていたことだが、どうもディスコ等の夜遊び場所の閉店時間が早くなるようである。また、夜10時以降の18歳未満の外出を禁止する法律も出来たらしい。

ディスコの閉店時間が早まるのは、自分にとっては嬉しい限りである。

閉店後に店の前にドバーってたむろする子をナンパするのが楽しみだったのだから、閉店までは遊んでいたい。しかし、規則正しい生活をしているせいか、11時を過ぎるとやたらと眠気が襲って、2時前に帰りたいー寝たいーって状況になるのである。

12時閉店なら、自分にとっては丁度の時間である。これから、ディスコに行く回数も増えそうな予感。

まあ、2時閉店で、ナンパしたりもう1杯ビールってやっていると寝るのが4時をまわってしまい、翌日は、無駄な休日を過ごしてしまうので、12時閉店 2時に就寝というのが、最も効率が良いかもしれない。

それより問題なのは、夜10時以降の未成年の外出禁止である。

10時過ぎたら、街中から可愛い子が消える・・・しかも、「ハーバーツ・ダーイ・マイ」に行っても若い子がいないってことなわけで・・・ラムの秘密の公園からも若い子が消えちゃうー？これから、発展は、早い時間に行きましょうーってことでしょうか？

もし、厳格に法律が適用されれば・・・の話ではあるが・・・

秘密の場所は、8時までには行かなければならないということかもしれない。

ちなみに、下記のようなようです。

ゴゴ等、どうなるのでしょうか？

ディスコ等の踊る場を提供する施設

ゾーン内 21:00-2:00

ゾーン外 21:00-24:00

女性による接客サービスがある施設

11:00-14:00 及び 18:00-24:00

マッサージパーラー（政府副報道官の言に基づくが報道によりタイ式マッサージとするものもある）

ゾーン内 16:00-24:00

ゾーン外 18:00-24:00

ライブ演奏やショーがあり、場合によっては客の接客をする事もある施設

ゾーン内 18:00-1:00

ゾーン外 18:00-24:00



警官に捕まる

2004,2,10



昼休み、バイクでバンナートラッド走行中に警察に捕まってしまった。

まあ、普通に走っていただけだから、難癖つけられて、小遣い(罰金?)徴収かなーって感じ。とりあえず、意見は分かるところだが、タイ語を全く話せない振りをして、「面倒くさい奴だから、とっとと逃がしてしまえ。」という作戦で行った方が良いか?「タイ語で交渉して100バーツ位で手を打つ」という作戦で行った方が良いか?どうしようかなーと思ったのだが、取りあえず、両方の間を取って、片言のタイ語しか話せない振りをした。

自分のタイ免許証を見た警官は、「タイ人と結婚しているんだろう」としつこく聞く。「独身です」と言うと、「なんで、タイの免許書を持っているんだ。」という話になる。

どういう思考回路が分らないが、彼(警察官)にとっては、タイ国の免許証を持っている外国人は、全員タイ人と結婚していると思っているらしい。

「英語で試験を受けた。」と言っても、半信半疑でまだ「タイ人の妻に電話しろ。」とうるさい。

で、仕舞いには電話を貸せといい、どこかに電話してる。

どうも、日本語のできる友人に電話して、「こいつは、結婚しているのか聞いてくれ、また、何処に住んでいるのか聞いてくれ」と言っていた。

警官の聞きたいことは分ったが、取りあえず電話口の女性の怪しい日本語に日本語で答える。

随分とひどい日本語で、ダムさんの方が数倍上手なレベル。

結局、英語にて、結婚していない旨、住所、を伝える。

日本語の場合、活用が難しいから、助詞等をすべて取り除いて単語ごとに区切って言ったほうが、文章として成り立っていない(間違っている)が数倍伝わりやすいことを実感。

で、問題の警官は、やっと独身ということを理解したらしい。

で、次ぎの行動は、先ほどの電話の発信履歴を消せというのである。

正直、英語も全く片言の警官・・・自分の携帯は、英語表記になっている。

なんか、めちゃくちゃいじっちゃって・・・大丈夫この人?って感じ。

結局、5分ほど操作していたが、分らなかつたらしく諦める。(自分も送信履歴の消し方は知らなかつた。)

この警官、完全に舞い上がってるのかにっこり笑い握手して「行ってもいいよ。」って言ったはいいけど、肝心の免許書を返してくれるのを忘れてる。

「免許書を返してー。」って言うと、「そうだそうだ。」とあっさり返してくれる。

その後、何を思ったのか、いきなり紙にナンバープレートを書き始め、どうも17センチ以上の大きさがないと違反だよって事を長々と説明し始めた。

つまり、今回捕まったのは(止められたのは)、17センチのナンバープレートの大きさに達していなかったことが原因らしい。

しかし、捕まったのは、正面からだし、捕まって直ぐに免許書を出せて言われたわけだから、ナンバープレートなんて確認していない。

つまり、警察官は、最後の最後までナンバープレートを確認していないし、見てもいなかったという感じである。

それに、目測で17センチ以上か以下かなんて分らないと思うのですが・・・

結局は、何が何だか分らないまま、昼休みの貴重な時間だけが失われる形で何事もなく終了した。

それにしても、偶然だとは思いますが、街中で交通整理をしているレベルの警察官は、思った以上に、法律に関しても無知のようだし、あんまり高等教育を受けた人とはとても思えない。

警察官と言う大きな権限をあげて、給料は安月給=教育レベルも???

たかり警察官が増えるのも理解できる気がする。

日本では、超人気職種の公務員は、ピンきりはあるものの、タイではあまり人気の職業ではないようだ。

まあ、炎天下の中、この汚い空気の中、長袖にブーツを履いて、仕事をするなんぞ、考えただけで

も・・・の職業ではある。



タイにいと、「こんな事で、なんでこんなにも苦労しなければいけないのか？」と思うことがある。週末計画しているフアヒン行きの1泊旅行の為、ダムさんをバンコク中央駅まで行かせた。(切符予約の為)

時刻表を見て、7時45分発11時到着の電車に乗ろうと思ったのである。

ところが、ダムさんから電話があり、340バーツだけど・・・って言うわけ。

「340バーツ！ちょっと待て、何等列車だ？」

実は、カンボジアの国境の町アライヤプラテートまで60バーツぐらいで行った記憶があるし、1日観光列車も12時間以上乗って100バーツポッキリの記憶があり、電車=安いというイメージがあるのだ。

300バーツって、何処まで行んだよー、マレーシアまで行くつもり？とか思ったのである。

ダムさんをフアランポン駅で待たして、自分で確認の為に駅の案内所に電話したところ

同じ路線で480バーツと言われたのである。いくらなんでも高すぎる。

もう1本の別の案内の電話のおばさんは、302バーツというのである。

どれが本当なのかも、分からなくなってしまう。

今の時点でも、正解は分らないのだが、総合的に察すると、7:45発11時着の列車は、特別快速に相当し、3等の席はなし。(3時間15分)

だから、一人300バーツ以上の席となるらしい。

ちなみに、その後の9:25発の電車に乗れば、13時45分に到着する。(4時間20分)

この列車は、逆に3等しかなく、44バーツで、予約も不可能。

早いもの勝ちで座れる。

なんか、タイの縮図をみているような違いです。

同じ場所に行くのに、実に7倍もの金額の差があるのである。

で、中間の値段がないのである。

いきなり、3時間ちょっとで到着するが、エアコンのみで、貧乏席がない列車か、オンボロ列車で到着時刻も遅れるかもしれないが、とにかく安い席かどちらか。

そのことをきちんと理解していないと、「何で、そんな値段なんだー。」「って事になってしまう。

一応、友人の意見も聞かないといけませんが、300バーツの電車にも乗ってみたい気もするし、3等列車で、心地よい風を受けながら、ビールでも飲みつつ旅をするのもいいかなーとも思う。

自分的には、3等鈍行列車の方が、可愛い子がわんさか乗っている気もするのですが、

南部行きの列車だからねーって感じ。

まあ、1泊2日という限られた時間の旅なので、友人にも相談するが、当日は、7:45分初の列車を目指してフアランポン駅へ行き、その後、もし乗れなかったら、1時間半待って、3等列車で移動・・・という行き当たりバッタリの旅にしようかなーとも思う。

むしろ、フアランポン駅まで行って、ちょうど来た電車に乗る「ミステリーツアー」の方が、楽しいかもしれない。

日本のように、びっちりスケジュールを組むような旅自体、ストレスが溜まる旅だし、その通りに行くはずがないと思ってしまう。



せっかくの日曜日だというのに、朝7時起床。

ダムさんが、シーナカリン・ウイロート大学を受験するための付き添いである。

外国人にタイ語を教えるためのコースで、学位・修士は関係なく、1年のコースである。

要は、教員免許取得のためのコースみたいなもの。

一応、学科は問わず学位を持っている人が入試の前提である試験である。

面接という事で、緊張して（前日から本を読んだりして）望んだのだが、面接の内容は、

「今までのタイ語を教えたことがあるか？」また、最大の関心事は、「授業料は誰が払うのか？（実家から本当に送ってくるのか？）という事だったらいい。

国立大学なので、たいした授業料ではないはずなのだし、少なくとも、授業料の支払いに問題がある人は、わざわざ800バーツの受験料を払って、この場所には来ないとは思いますが・・・

でも、学校の入試面接に行って、授業料はどう・誰が支払うのか？というプライベートな質問をされるとは、人権とかプライバシーとかいう概念の無さの表れだと思ってしまう。

日本語がある程度できて、なおかつ、タイ語を教える免許を持てば、ロングリアン・ダム構想も現実化するのである。

自分は、オーナーで、アーチャー・ダム達が働いている姿を見つつ、のんびりとした生活を・・・というの、夢なのか？現実化するのか？

肝心の合格の可能性だが、定員割れしていたようなので、99%合格のような気がする。

ちなみに、日本人友人に教えてもらった情報で、この学科（クラス）があることを知ったのだが、日本人友人も受験した。

自分の予想ではあるが、彼も問題なく合格したと思う。

自分も、ラム大でも行きたいなーって構想が再び再燃してきてしまった。

いや、ラム大に行くという事は、勉強をしたいというよりも、ラム学生とお友達になりたいというだけの事かもしれない。

まあ、こういう大きな目的がある人の方が、意外にも続くのかもしれない（笑）



僕は大好きなんだけど・・・

2004,2,7



ダムさんは、イサーンが非常に嫌いである。

イサーンが嫌いと言っても、ほとんど行ったことがないので、イサーン人が嫌いと言った方が正しいと思う。

一般的に、都会人であればあるほど田舎のイサーンを蔑み嫌う傾向にあるように思う。

日本も都会に憧れ、都会 = お洒落でかっこいいという時代があったのかもしれない。

日本では、インターネットの普及もあってか、むしろ田舎（地方）の方が住みやすいと思っている人は多いはずだ。

まあ、タイの場合、バンコクとその他の地方の差がびっくりするほどあるし、それは単なる建物が立派とか都会だとかいう事を超えて、そこで育った人の性格や考え方・教育レベルの違いまで、露骨に差がことは認めざるえない。

しかし、ダムさんも地方出身者の一人である。

そこまで嫌わなくても・・・と思ってしまう。

イサーン出身者だから、こうだとは名言できないし、性格は十人十色であることを差し引いて、またまた、単なる偶然と思われることを差し引いても、ダムさんの周りでのイサーン人がらみのトラブルが事実多すぎる。

まず、身近な所言えば、家族関係で、たった一人だけ、イサーン出身の嫁さんがいるんです。

農業を営むダム家の現金収入は、パイナップルが売れた時（年に何回収穫期があるかは不明）・・・現金収入を得ると、嫁はすぐにイサーンへ帰ってしまう。

もちろん、現金を持って・・・

そして、お金をばら撒いて帰ってくるそうである。・・・親、親戚、はたまた村の人々に・・・それで、無一文になって家へ帰ってくる。

次に、最近起こったことだが、ダムさんの友人の女の子（同じトラート県出身）の彼氏がイサーンらしい。女の子の親がお金を送っても、全部彼氏が使い込んでいるらしい。

そこまでは、よく聞く話だが、会社？店？から2000パーツ盗んで居なくなったらしい。

「たった2000パーツで？」って聞いたら、「イサーン人は、今日の事しか考えていない。」ってダムさん。

このようなケースの場合、男も問題だけど、女もお馬鹿だとは思いますが、惚れればこんなものだろうと思う。

しかし、逃げるんだったら、もう少し大金を手にしてからにしてほしいものである。

また、その他にも、ダムさん曰く、イサーン人は、「貸した金は返さない」って。

また、遊びに行っても平気で「先に払っておいてと言って、逃げる。」らしい。

正直、地方での就職も考えたりしているんだけど、やはりダムさんと一緒と言う事を前提に考えると、イサーンは駄目らしい。

自分からすると可愛い子の宝庫のような気がするのだが・・・

ちなみに、旅行に行く計画が持ち上がると、自分は真っ先に「コンケンに行こうよ。」とか言うんだけど、あっさり却下されてしまうのである。

「何しに行くんだ。」「見るところなんか無い。」って言うから、「本場のソムタムを食べに行く。」って言ったら、あっさり「馬鹿ジャン」と言われてしまう。

食文化は、完全にイサーンがNO1の位置にいる気がするけど、何でかねー？

イサーン料理って言ったら、いくつも答えられるけど、北部料理とか南部料理ってあんまり答えられないもんね。カオソーイとムーサテくらいかな？

まあ、ダムさんのイサーンに対する嫌悪度は、標準的なのか異常なのかは正直言って分らない。

でも、ちょっと極端かも？って思うかな？



## ソクラーンの予定

2004,2,5



今年のソクラーンはどうしようかなー？

そんな事を考える時期になった。

はじめてのソクラーンは、今も忘れぬ24時間リクライニングも無し、エアコンも無しのバスに揺られてウボンラーチャターニーに行った。

窓を開ければ容赦なく水がかかり、締めれば蒸し風呂・・・おまけに車内は雑巾の半乾きのような異様な匂い。

拷問バスという以外、言葉が出ない旅だった。

去年は、バンコクで夜遊び三昧の日々だった。

ディスコの中で、思いっきり水を掛け合う・・・そんな経験は、めったにできない貴重な体験。

日本友人も、いい大人が、つつい子供に返って「キャツ、キャツ」いいながらのディスコだった。

今年は、南の島でリゾートしようかなー？と思っていたところ、友人から「予約できないよ。（できても信用できないよ）」「予約しても絶対にトラブル。」等の怖い助言を受け、急いで日系旅行会社やHPを介して色々問い合わせをしている最中なのである。

分ったことは、原時点では、基本的に、飛行機もホテルもまだ空いているようである。

しかし、友人が言うように、果たして予約しても、その予約は確実なのだろうか？

と思ってしまう・・・人を疑うのは良くないが、「前金を払わなければ予約できない」

「トラブルがあってもいったん払ったお金は戻らない」が鉄則のタイランド・・・複雑な思いがよぎっております。

ダムさんに「タオ島と、サムイ島のどっちに行きたいか？」って聞いたら「サムイ島、何故かと言うと、

有名だから」とふざけた答えが返って来た。

あのねー、有名=人がいっぱい=観光地化された島とつながるのじゃ。

有名じゃない=人が少ない=秘島=リゾートというのはどうも分らないらしい。

聞かずに、「ここに行くから」と言えば良かったと後悔しつつも「サムイ島は有名だから、ホテルがいっぱいだ。」とごまかしちゃおうかなーっと思っております。

月に1回ぐらいは、のんびり旅行したいと思っている。

今月はフアヒンを予定しており、来月は、死ぬほど働いて、4月は島に行きたーっーい。と思っておりますが、本当に時期が時期だけに大丈夫なのだろうか？と不安に思う。

人を信じるとして、予約しちゃおうーっつと。



## 1本の国際電話

2004,2,4



昨日、国際電話がかかってきた。

「日記が更新されていないから、鳥インフルエンザで倒れたかと思った。」・・・との電話。

そういえば、1月29日から日記を更新していなかった。

心配して日本からわざわざ国際電話をかけてきてくれる友人に対して心から感謝したい。

そもそも、仕事が忙しくて、日記を更新する時間もなかったのである。

自分の仕事の業種を知っている人は、うなづいてくれるだろうが、3月は1年で一番忙しい時期である。

むしろ、3月の繁忙期が暇な会社は、存在できないのかもしれない。

年間の売上の半分とは言わないが、かなりのパーセンテージを3月だけの売上だけで占めているように思う。

だから、2月の声を聞いた瞬間に忙しくなっていたのである。

いつも、こんな言葉で逃げちゃうようだが、別に仕事をバリバリしようと思ってタイに来たわけではない。

ほどほど仕事をして生活できる程度に稼いで、プライベートを充実させる・・・これが、理想の姿である。

しかし、3月を目の前にして、ちょっと想像するのが怖い状態となっている。

正直、逃げ出したいと思うし、避けて通りたいところだが、仕方が無い。

自分の忙しさとは逆に、ダムさんはのんきな生活である。

日本語の学校に行っていないので、1日に一人程度タイ語を教えて、小遣いを稼ぎ、サバァイな生活を送っている。

しかも、最近、新しい携帯（写真付）を買ったので、1日携帯と遊んでいる。

本当に、1日携帯とにらめっこしているという感じである。

本当は、自分で気づいて、自分で変えなければいけないのだろうが、自分が日本人友人を紹介し、プライベートで日本語のレッスンを続けるようになったのである。

金を払うと思うと、途端に復習をはじめ。質問事項を見つけたらして、効率よく授業が進むように急に努力をはじめるのはいいが、最初からやってほしいものである。

もちろん、自分で授業料を払うから、時間を無駄にしない努力の1つのようなのである。

自分のお財布と照らし合わせて、週に何回が良いかも決めているようである。

暇に、まかせて友人のおねだり君（只今、無職）と会ったりしているらしい。

去年は、卒業してから1ヶ月ごとに職を変え、送金してあげないと成り立たない生活に親がいよいよ怒り出したらしい。（もう、バンコクにいなくて良いつて）

それで、最後のお金を5000バーツ送ってもらったのはいいが、月曜日に会社の面接に行く為にタクシーで往復600バーツ使ったようで、ダムさんが「バスで行けばいいじゃん。面接なんて、受かるかどうか分からないし、受かっても、1日200バーツしかもらえないのに、何でタクシーで行くんだ。」って言ったらしい。

それに対して、おねだり君は、「バスで行き方が分からないし・・・」だって。

しかも、無職=無収入の割には、デパートを歩いている時に、「あれ欲しい、これ欲しい。」って始まるらしい。

もう、聞いている方もうんざりである。

しかし、親も親で、まだお金送ってるんだから甘いなーとは思いますが、やはり、子供が可愛いのだろうなーとは思いますが、違う愛情の注ぎ方は無いものかとふと思ってしまう。しかし、タイ人を見てると、「お金の使い方」を考えさせられる事が多い。

「今日使わなきゃ、損」とばかりに持ったお金を直ぐに使っちゃう子が多い。

別に、人の金だから、どう使おうが自分が文句を言う立場でもないが・・・・

どうして、「何かの時の為に、取っておく。」とかいう選択肢が無いのか不思議である。

まあ、それで何とか生きていけるんだから羨ましい限りである。

---

---

**【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ**

---

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)

---





## tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

## 更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

## 3月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
	<a href="#">1</a>	<a href="#">2</a>	<a href="#">3</a>	<a href="#">4</a>	<a href="#">5</a>	<a href="#">6</a>
<a href="#">7</a>	<a href="#">8</a>	<a href="#">9</a>	<a href="#">10</a>	<a href="#">11</a>	<a href="#">12</a>	<a href="#">13</a>
<a href="#">14</a>	<a href="#">15</a>	<a href="#">16</a>	<a href="#">17</a>	<a href="#">18</a>	<a href="#">19</a>	<a href="#">20</a>
<a href="#">21</a>	<a href="#">22</a>	<a href="#">23</a>	<a href="#">24</a>	<a href="#">25</a>	<a href="#">26</a>	<a href="#">27</a>
<a href="#">28</a>	<a href="#">29</a>	<a href="#">30</a>	<a href="#">31</a>			

## 体調の悪い日々

2004,3,30

風邪をひいて具合の悪い日が続いている。

そもそものきっかけは、木曜日の夜ぐらいから調子が悪くて、金曜日に、熱っぽい身体だったから、午前中、仕事を休んでからの体調の悪さ。

体温計ろうにも、体温計がぶっ壊れていて、「見たって、どうすることもできない。」って新しいのを買う気力さえもない状況の具合の悪さ。

久々に、寝込みましたーって週末でした。

そもそも、仕事の過労に加え、ダム家の皆様方が、バンコク入りをすると聞いた瞬間から体調を崩したような気がするの、自分だけだろうか？

実際、親戚の10歳の子供だけが泊まる予定だったのにも関わらず、仕事から帰ってきて、タンスに女物の洋服が山ほどかかっていたり、ベランダにブラジャーなんか干してあったのが、高熱の決定的原因であると思って疑わない。

嫌いじゃないんですよ・・・ダムさんの家族。

しかし、プライバシーの無さとか、人の家も自分の家もないような所が、どうも・・・ね。良く言えば、親しげな態度。悪く言えば、凶々しい・遠慮が無いとでも言いましょうか？

結局、狭い部屋に、子供含めて+4人の総勢6人が泊まったの夜だったのである。

ダム家の方たちは、10歳の坊やを一人残して、嵐のように我が家から去って行ったものの、我が家には、10歳のイアアップ君が毎日泊まっている今日この頃です。

ダムさんが、4月4日に実家に帰る際（兵隊のくじ引きの為に帰る）と一緒に帰るそうです。

本当は、週末に何処かに連れて行ってあげようと思ったけど、自分の風邪のせいで、パーになってしまった。

ごめんね。

しかし、こちらで体調を崩すと、本当に厄介である。  
 まずは、薬・・・最初から、信頼できる病院へ行って、信頼できる薬をもらってくるのならまだしも、  
 薬局で買う薬は・・・どうも、怪しい。  
 大体、カプセルの色が、めちゃ派手すぎて、これって小学生にあげる飴かなーなんてね。  
 ダムさんに症状を言って、買ってきてもらう薬は、どれも効かない。  
 色と量だけはすごいんです。  
 で、言われるままに飲んでいたら、薬が強すぎて、意識モウロウ・・・おまけに、胃が痛い・・・  
 (胃が痛いなんて初体験)  
 で、結局、自分で薬局行って、これだけは、早く治したいという症状だけを訴え(咳と鼻水)薬を自分で  
 購入したのが昨夜・・・それから、大分良くなって来ましたが、眠気がすごくて、すぐにでも寝そ  
 う。。。って状態。

なんだか、久々に体調を崩して、正直、しんどい日々です。  
 明らかに風邪症状なんで、何も心配はしていませんが・・・やっぱり、しんどい。



## 禁止なはずが・・・

2004,3,25



昨日、気が付いたんだけど、我がコンドーの敷地内に、ペットショップができていた。  
 ペットの餌や、動物用美容室も併設である。  
 場所柄、どう考えても、お客のターゲットは、コンドー在住の人たち。  
 我がコンドーは全部で5棟あり、14階建てを考えると、かなりの人数の住人が住んでいることになる。  
 だからという訳ではないが、コンビニや洗濯屋も1件ではなく、何店舗か1階に入居している。  
 頭に浮かぶだけでも、レストラン、ネットカフェ、美容室、洗濯屋、レンタルビデオ(VCD)  
 屋・・・この中だけで、生活を完結しようと思えば、十分に可能である。

で、話は元に戻るが、我がコンドーでは、ペット飼育は禁止である。  
 しかし、住人は隠れて飼っているどころか堂々と飼育している。  
 日本に居た頃、自分もペットを隠れて飼っていたことがある。  
 動物病院へ行くとき等は、カバンに入れて、表まで連れて行き、車の中で自由にするというやり方で誰に  
 も見られないように最新の注意を払っていたのだ。  
 しかし、我がコンドーを見る限り、堂々と飼っている。  
 皆で渡れば怖くない状態なのである。  
 しかし、この前、エレベーターの中に動物のおしっこが残っていたり、コンド併設の駐車場の芝生は犬の  
 糞だらけであることを見るとマナーを守ってもらいたいと思わざる得ない。  
 それより何より、ペットショップがオープンしたということは、コンドー側も暗黙の了解としたと思っ  
 てもよいのであろうと思う。



## 安いものは、お得？

2004,3,24



今月は、本当に忙しかった。

そりゃ、毎月の平均の売上の6倍くらいの売りあげなんだから、忙しいのも良く分かる。

通常の仕事を考えると、お世辞で考えても実質労働時間が3時間程度。

今月は、まさに8時間びっしりの労働であろうと考える。

忙しいからこそ、バタバタしているからこそ、タイの社会も今まで以上に分かる事も多かった月である。

一番感じた事は、会社もピンからキリまであるんだなーって事。

ちょっと例外的な仕事があったため、見積りを取り、安いほうの会社に注文したのだ。

そしたら、案の定、なかなか事が進まない。

「これっぼっちのことが、何で進まないのか不思議なくらいである。」

書類1枚仕上げてもらおうのに、タイ人スタッフに何度も電話してもらい、訂正をお願いしなければならなかった。

やはり、日系の会社に限るなーって心底思った。

日系の会社であれば、上のポジションに日本人がいて、一言、電話かメールで済む話なのである。

自分が電話をして、言い間違えると大変だから、タイ人社員に電話してもらい、ちゃんと横で聞いていたのである。

確かに、伝えた・・・しかし、届く書類は、ことごとくでたらめ。

日本人が優秀であるとか、タイ人が劣っているという議論はしたくない。

それは、個人差があるから、当然優秀な人もいれば、そうでない人がいるのも当然である。

しかし、タイで仕事をしてて思うのは、日本人に頼むと、物事が非常にスムーズに流れるという1点だけである。

多分、それは、日系の会社であれば、偉い立場にいるから、上の言う事を素直に良く聞くとかというレベルの話にもつながるかもしれない。

しかし、ボールペン1本からして、安物の5パーツのボールペンは、途中でインクが突然出なくなる確率が異常に高いし、インク漏れの可能性も非常に高い。

シャープペンの芯についても、安物は、ボキボキ折れちゃうから、あっという間になくなってしまふのである。

もっと笑えるのは、安物のトイレットペーパーは、上から見ると、スカスカなのが丸見え。これじゃ、

あっという間になくなってしまふのは、当たり前。

ある程度の品質を求めると、日本と同じ価格になってしまうか、それ以上（輸入品だから）の値段になってしまう商品が結構ある。

日本に居た頃は、安物 = 品質が悪い・・・という風な思考回路は、無かったのだが、タイに来て、値段と品質のバランスを考えざる得ない。

ボールペン1本から仕事の事も含めて・・・

多分、同業の会社でも、日系企業は、タイ企業よりも、高いはずである。

どちらを選ぶかは、時と場合と物で決めるしかないのだろうか？



目がいっちゃう

2004,3,23



我が社に、SECO の制服（ポロシャツ）を着たお兄ちゃんが、ウロウロしている。  
 そう、天井に、防犯カメラ？の配線を張り巡らせているのである。  
 それは、僕には何も関係ない。  
 しかーし、モリモリモリたくさん若い子たち。  
 夏休みの為か？元々若い子が多いのかは不明。  
 天井裏に配線するから、脚立を使って、お仕事している。  
 ポロシャツをズボンに入れずに、お仕事してくれちゃっているの、キュッと引き締まったお腹と、ズボンからはみ出たパンツが魅力的。  
 ギャランドゥーなきおへそがたまらなく魅力的である。  
 そういえば、仕事が忙しくて、あっちの方の発散はしていない。  
 いかん、いかんと思いつつ、ついつい見入ってしまうのである。  
 しかーも、可愛い子に限って、自分の席の直ぐ目の前で、脚立に上がって、そそののである。  
 誘いたーい、しかし、ここは、オフィスなのである。  
 魅力的な街・・・タイランド。  
 そういえば、最近、我がコンドミニウムも、若いヤムがてんこ盛。  
 刺激的でーす。

## 忙しい日々もあと少し

2004,3,22 

今週あたりから、通常とまではいなくても、大きな波が去ったかなーと思っていた。正直、甘かった。  
 今日は、本当に濃度の濃い仕事をした日だった。  
 まあ、5時半に帰れるのが、唯一の救いなのかもしれない。  
 それにしても、通常通りののんきな仕事の日々は、いつ来るのだろうか???

## 鳥騒動は終息したか？

2004,3,19 

1月の終わりぐらいからかなー？ニュースは鳥一色。  
 さて、2ヵ月後の今、鳥の話は何処へ？って感じのタイランド。  
 実際に、街中の屋台を見ても、以前と同じように売られている気がする。  
 最近、忙しくて、ニュースや新聞を読む時間がないので、実際は、まだ騒いでいるのかもしれないが、少なくとも現実の生活の場では、今までと、なんにも変わらない状態であると実感する。  
 今日、日本食屋で、チキンてりやき定食を注文した。  
 鳥騒ぎの事をすっかり忘れていたのは、まさしく自分なのかもしれない。  
 で、定食が運ばれてきて、びっくり！  
 鳥が、てんこ盛り状態なのである。  
 実は、よく行く日本食屋で、一番お値段が安い「チキン照り焼き定食」と、「さば定食」は、自分が頻繁によく食べる定食である。  
 何度も食べている定食・・・どのくらいのボリュームなのかは、自分が良く知っている。  
 軽くいつもの2倍の量の肉がドカーンと盛られていたのである。

ふと、頭をよぎったのは、この1ヶ月あまり、ほとんど注文されることもなく、古くなったので、注文があったときに大サービスで早く出しちゃえーって状態なのか？って

普通なら、得した気分になるのだろうが、ちょっと裏を考えると複雑。  
 しかーし、食べ物を残すのが苦手な自分は、てりやきと言いつつ、たっぷりの油で焼いた油をたっぷり吸収しているチキンを残さずに食べたのである。

あまりの油っこさに気持ちが悪いか、何か胃がムカムカする感じ。  
 でも、日本食を食べて気持ち悪ーいと言うのも、何か変だなーと思いつつ、何事も無く無事に1

日は終わった。

夕食のタイ料理が、すごく・すごく美味しく感じた1日だった。  
新しい会社に移動した後、しばらく日本に行く予定があるが、大丈夫なのかなーってふと思った  
(笑)



## 早い噂

2004,3,18



自分が会社を退職する噂が社内を駆け巡った日だったようだ。  
タイは秘密がないというのは、本当の話だったようだ。  
少なくとも、日本で会社を退職した際、上司に伝えて、しばらくは誰も知らなかった。  
会議の場で、上司が、皆に発表(お知らせ?)し、皆が、驚いたのだ。

なぜ、本日に噂が広まったかといえば、昨日、後任者の面接があったからである。  
自分は、知り合いを紹介したので、人材派遣会社等をお願いする手続きとかとっていなかったし、本社から偉い人たちが来て、さらりと面接が行われたので、タイ人社員は知る由もないかと思っていたのである。  
それが・・・一夜明ければ、こっそり寄ってきて「辞めるんだって、何処の会社に行くの?」のオンパレード。  
タイ人の偉いポジションの人たちは、「うちの会社の何処が悪いの?参考にするから言ってよー」なんて言ったりする。  
必ず言うのが、「次の所は、どのくらいもらうの(給料)?」って・・・

やっぱり、収入は大切だと思うけど、それは(給料は関係ない)って言ったら、不思議そうな顔をしていた。

皆に聞かれて、やっぱり転職の理由を自分なりに分析してみた。  
確かに、給料が高い方が魅力である。  
しかし、自分はやりがいを取ったのかなーって思う。  
未知の世界だから、どうなるかは分らない。  
現地に住む日本人友人は、暇で、1日中、友人と電話し、ネットを見て、HPを更新している自分の職場を羨ましいと言う。  
確かに、そうかもしれない。  
何度か書いたかもしれないが、タイに仕事をしに来たわけじゃない。  
居る為に仕事をしている・・・というのが本音だろう。  
しかし、はじめてみると、同じ1日拘束されるなら、充実感のある事をやりたいと思うのが、転職を思い始めたきっかけだと思う。  
どうせやるなら・・・ってところだろうか?  
時間に来て、時間に帰れば、中味は問わない。  
遅刻せずに来て、5時半と共にタイムカードを押せば何の文句も出ない・・・そんな生活は自分には向いていないのかもしれない。  
でも、今後の仕事のハードなことを思えば、そんな生活もありかもしれないかなーとも思わなくもない。  
いずれにしても、新しい事がはじめるというのは、非常にわくわくするものである(笑)



## ゲーン・タハーン

2004,3,17



早朝、ダムさんが寝付けなくて、寝返りを何度もしたりする為、自分まで一緒に起きてしまった。朝、話を聞くと、ゲーン・タハーンの事を考えて、寝れなかったというのである。ゲーン・タハーンというのは、日本語に直すと、「徴兵制のくじびき」とでも言えば良いのだろうか？タイの男子は全員、この徴兵に行くかどうかのくじを引かなければならない。赤球が当たれば、一定期間、兵役にでるのである。ちなみに、自分から（サマック）志願すれば、兵役期間は、短縮されるらしい。志願して、自ら進んで、兵役を勤めるか、くじを引くかは自由である。まあ、タイらしく、賄賂の話もあって、事前にお金をいくらかつめば、逃れられる等の話は聞くが、実際は定かではなし。しかし、街中にうろろしているタハーン（兵隊）さんたちで、金持ちっぽい子が少ないのは、気のせいではない気がするが・・・

当初、自分は、ダムさんは、絶対に当たらないと確信していたのである。理由は、小柄だからである。身長・胸囲の検査で引っかかると思っていたのである。これも、気のせいかもしれないが、ちびで、ひ弱そうな兵隊さんは、見かけない気もしていたからである。

しかし、現実にゲーン・タハーンの日が近づくと、やはり心配なのであろう。眠れないダムさんを知って、自分まで、心配になってきたのである。ダムさんの出身地のトラート県でのくじ引きは、4月5日となっているようで、それにあわせての里帰りも予定しているのである。

まあ、考えても仕方ないし、なるようになるとは思うけど、心配事が増えてしまった今日この頃である。



## タイは、援助を必要としているか？

2004,3,16



バンコクに住んでいても、日本語の活字情報誌を見る機会がたくさんある。そう、バンコクには、広告収入で成り立っているフリー日本語情報誌が何種類もある。多分、10種類を超える数ではないかと予想される。そんなフリー情報誌に、ngo的活動の記事をしばしば見かける。

去年の暮れに、タクシン首相が、「タイ国は、外国からの援助を受けなければいけない国ではない。今後、外国からの援助を必要としない」趣旨の発表をしたのである。しかし、現実的には、「奨学金」とか「基金」とか「山岳民族の為の・・・」といった活動を紹介する記事をよく見かけるし、日本人会も、そのような団体に寄付をいくらした・・・という記事を紹介している。

自分は、バンコクに住んでいるから余計に感じるのかもしれないが、やや、そういった活動や募金に違和感を感じずにはいられない。高級車が、日本以上に、街中を走るバンコク・・・日本食屋に行けば、昼間から刺身盛を注文する人たち・・・実際の収入は日本より劣るかもしれないが、生活水準は非常に高い気がする。少なくとも、毎日買わなければ生きていけないもの（食料、交通費、家賃）は、日本よりも、郡を抜いて安いタイランド。確かに、持つ者と、持たない者の差がはげしく、持たない者は、日々の暮らしが楽ではない事は予想できる。しかし、一国の責任者が言うように、外国からの援助ではなく、自国の中の問題なのではないかと思うわけである。日本は、例外的な国で、貧富の差があまりなく、皆中流という事を抜きに考えても、もう、日本が援助する国ではないような気がしてならない。

ちなみに、タイの金持ちは、信じられないくらいの金持ちだというのが、少し大通りから入った所に、まさしく大豪邸と言って良い家を良く見かける。

庭には、ベンツが何台も止まり、大きな庭に、馬鹿でかい建物。  
行ったことはないが、日本の田園調布あたりの家なんて・・・という感じである。

タイの貧しい農村に行って、「これは、可哀想・・・なんとかしてあげたい」と感じる人がいたとしたら、同時に、大豪邸も見学すべきであると思うのは、自分だけだろうか？

最近、世界各国を旅をし続けている人と知り合いになった。  
その彼曰く、世界をほとんど回ったけれども一番すごいのは、アフリカだよ・・・って。  
言葉は悪いが、人間という感じがしなかった。  
まさに、動物という感じがしたよ・・・って。

日本は、何処の国に対して援助しているかは、詳しく知らない。  
但し、1国の首相がいらない・結構です・・・と言っている国には、援助する必要は無いだし、民間レベルにしても同じであるといえるのではないだろうか？

詳細な活動内容も知らないくせに、生意気な事は言えないが、ただ、新聞を読んで、違和感を感じてしまう今日この頃である。



## 驚く日本食

2004,3,12



さらという名の日本食屋がオープンした。(会社に一番近い、ショッピングモールの中)  
このハーン(ショッピングセンター)の中には、有名店富士、zen、8番ラーメン等の日本食屋が既に数店舗あり、新しい店という事で、期待して入ったのである。

まず、驚かされるのは、店内がピンク一色なのである。  
真っ赤な椅子、壁はピンク、店員のユニフォームもピンク。  
ガラスも、赤系のフィルムが貼られてあり、夜のお店の雰囲気。

とりあえず、弁当を注文したのだが、そのまずさに驚き。  
まず、言っておくが、自分は、そんなに食べ物にこだわらないし、何でも美味しいと思うタイプの人である。  
僕が、「まずい」というものは、多分、相当まずいのであろうと思う。

てんぷら・・・油が、べっとり・・・衣のサクサク感なんて全く無い。  
油のじわーーーーっとにじみ出てくる天ぷら・・・てんつゆには、大根おろしもない。

さばのてりやき・・・絶対に、焼いたんじゃなく、油で揚げたような油っぽさ。  
食べてて、気持ち悪くなりそうな味。

ごはん・・・日本米とおぼしき形だが、すごくまずい。水の量を間違えたのか、米自体が3流なのかは不明だが、こんなまずい米なら、タイ米を出してくれた方が、どんなに嬉しいか。

茶碗蒸し・・・これ、自分の大好物。自分じゃ作れないから、日本に居たときから、居酒屋などで、良く注文していた。

味は、ともかく、中味は、かまぼこ2切れのみ。  
銀杏を入れて欲しい等と贅沢は言わないが、鶏肉のかけらと椎茸でも入れて入れてほしいものだ。

最後は、味噌汁・・・ダシの無い味噌汁は、こんなにまずいものかと実感。。。。

たった一つだけ、誉められることは、おしんこがキムチじゃなかった事。  
身体に悪そうな色の、おしんこが3切れ真ん中に乗っていたのは、すばらしいと思う。

材料を見ても、どう考えても、タイで、その辺の市場で手に入れることができるものばかり。  
お値段200バーツは、あまりにも・・・  
まあ、久々に、びっくりするような、まずい物を食べたことは、逆に貴重な事だったのかもしれない。



## 転職を決意

2004,3,9



転職を決意した。

誤解してもらいたくないのは、タイ人の仕事振りがどうのこうのという問題では無い。

それは、どこの会社に行っても変わらないだろうし、自分は責任を負うような立場ではないから、人の事など・・・関係ないといえば、それで終わる。

自分自身の将来を考えて決意した。

転職の機会は前から狙っていたというのが、本当の話である。

いい所があれば・・・というより、自分の力を発揮できる所であれば・・・というのが、正直な気持ちだった。

今の会社は、本当にサバァイだと思う。

少なくとも、定時に終わり休日を接待等のしがらみもなく過ごせている今の生活は悪くは無い。

正直、「そんな、職場あるのー？」っていうのが、現地で働く人たちが声をそろえて言う言葉かもしれない。

心の中に、仕事をバリバリする為に、ここに来たんじゃないっていう気持ちがあった為、「これで、いいじゃん。」という気持ちと、「将来、大丈夫なのかなー。」という気持ちとで、日々揺れていたことは事実である。

ただ、1日の大半の時間を費やす仕事・・・やはり、中味にもこだわりたいと思う。

最終的に決断に至った経緯としては、仕事の内容に非常に興味を持てたこと。

自分の武器を最大限発揮できる職場であると予想される事。

最後に、地方都市であるということも大きな要因である。

ダムさんがいることも含めて、今の自分がバンコクにいなければいけないという理由は何も無い。

もっと言えば、地方に行って、車のある生活を送りたいという馬鹿げた理由もあったりする。

自分はひねくれ者なのかもしれないが、現地採用の大部分がバンコクでの仕事にこだわっているのに対して、自分は「地方都市限定」で仕事を探していた。

需要と供給の問題もあるが、地方都市に行けば、待遇・条件は断然良くなる。

将来の事を考えると、少しは貯蓄もしたいし、タイまで来て、節約を意識した生活をする気もない。

となれば、給料を含めた条件の良いところは魅力的であることは事実である。

まあ、地方都市と言っても、勤務地を聞くと、皆、あっと驚く場所である。

旅行者でリピーターの人は、一度は、必ず行った事がある場所である。

自分も何度も訪れている場所だけに、ここでなら、暮らせるというのも決断の大きな理由でもある。

1年少し前に、初めてタイで就職活動をした際は、本当に目の前が暗かった。

日本人の就く業種や職種の幅が極端に少ない。

日本でのキャリアを生かした仕事を探しても、全くないのである。

そんな中で、今の仕事を見つけたわけだが、タイでの1歩目としては、悪くない仕事だったと思う。

しかし、長く住みたいということを前提に考えたとしたら、悩まざる得ない部分も多かった。

正直、英語コンプレックスも、大きく起因していたのかもしれない。

いずれにしても、自分は、この決断は、飛躍の為の決断であると自分自身で信じている。



タイ人と仕事をして1年が過ぎた。

最近の日記で、忙しくなると、タイ人の仕事に対する無責任さや、自己中心的な態度、仕事を逃げるうまさが目につく・・・というような事を書いて、掲示板にもちらっと書き込みがあった。

事実、タイで働く日本人友人に、タイ人の仕事に対する姿勢とかで酒を飲みながら愚痴することもあることは確かである。

この問題を語るときに、どうしても出てくるのは、給料の安さの話であろう。

我が社のタイ人スタッフで、愚痴りたくなる人間は、1万バートの給料なんて、及ばない給料である。がんばらない(責任感がない)から、給料が上がらないのか、給料がこれだけだから、このくらいの仕事しかない(できない)のかはニワトリと卵の論争になってしまう。

しかし、ここで絶対的にいえるのは、タイ人だから・・・と一まとめにはできないということであろう。

上のクラス(高額給料をもらう人)の中に、優秀な人間はかなりいる。

その差は、歴然としており、平均的国民と言われる日本人とは、圧倒的に違うはずである。

だから、言い方は悪いが、奴隷階級の者は、一生奴隷階級で終わり、這い上がることが少ないような気がする。

チャンスは、宝くじに当たるか、外国人の金持ちを見つけるかどちらかであろう。

しかし、考えてみれば、日本人の働き方は、逆に異常なのかもしれない。

世界的レベルから見ても、かなりのハイレベルなのは、良そうに容易い。

日本とタイを比べたときに、資源的にも、立地的にもタイの方が発展する要素はあったのかもしれない。

しかし、現実には・・・この差は、何だろう？

本音を言えば、日本企業は、安い労働力を求めて進出しているはずである。

安い労働力には、それなりの代償もあるのは、当然である。

しかし、日本企業ゆえ、顧客が日系企業であるため、日本の常識が求められるのである。

元々、日本人の社員数とタイ人の社員数を比べたときに、日本人社員数が少ないのは、ここは、タイランドであることを考えれば当然である。

必然的に、日本人1人にかかる負担は大きいのである。

会社としては、優秀な人を欲しいのは当然だが、人件費のコストは異常にかかる。日本では、考えられないが、2倍、3倍の違いは当たり前なのである。

会社としては、その辺のバランスをとるのが、一番頭が痛いんだろうなーと思う。

タイ人と働いて、圧倒的に感じる事は、臨機応変さが無いという事と、リーダーシップが取れないということ。

臨機応変が無いと言うのは、逆を言えば、決められたことはきちっとできるという事なのかもしれない。

しかし、日本人を顧客対象にする場合、例外はかなりあるのである。

もちろん、「できない」と言えば、簡単なのだろうが・・・

よく、タイ人は単純作業に向いていると言われるが、これも、大きな特技であるのかもしれない。逆に、いつもと違ったパターンを要求しても、キャパの狭さを実感せざるえない。

リーダーシップが取れないというのは、不思議な気もする。

自分自身は、すごく良く仕事ができても、それを部下に振り分けたりすることがちょっと苦手なのかなーとも思う。

自分が今まで経験してきた上司像と、タイ人の上司像はかなり違う気がする。

自分の知識を絶対に下の者に教えないというのも、徹底している気がする。

後輩を育てるとか、次期の幹部候補を育てるというのではなく、席が空けば、それに見合った人を外部から引っ張るとというのが、現実にあるため、企業内で育てる必要もないし、逆に仕事ができるようになり、給料が上昇されても困るという考えなのかもしれない。

まあ、自分の会社は日系企業であるが、どうも、組織や考え方がタイ系100%という気がしてならないが、事実、そうであろう。

まあ、現実的には、一番忙しいときを見越して、従業員を雇うタイ式と、繁忙期の1ヶ月ぐらいは、皆が一致団結してがんばりぬこうとする日本人の考え方の違いが顕著に出ているだけかもしれない。

反面、現実の自分の仕事場は、決まった時間に来て、決まった時間に帰る。

その間の時間の密度、内容は問わない・・・という気がしてならないのも事実である。

どんなに忙しくても、マイ・サバァイ休暇を取り、時間までにタイムカードを押し、その後、朝食やお菓

子を配り歩き・・・マイペース人たちである。

まあ、繁忙期であるので、自分は自分の仕事をまっとうするしかない。  
 実を言えば、普段がサバァイ過ぎて、少々バテ気味であるというのが、本音であろう（笑）  
 もっと言えば、この1年で、仕事を通して、タイ人の事を結構理解しつつあるかもしれない・・・と、  
 ふと思う。



## 土曜日仕事の日

2004,3,6



今日は、土曜日だというのに、朝から非常に忙しい1日だった。  
 といっても、空いた時間を利用して、友人と電話で無駄話をし、適当に息をつく1日。  
 なんとか、5時半に帰れるだけの仕事量はこなした。

タイで働く日本人は、こんな仕事一色の毎日に「何のために、タイに来たんだろう？」と悩む人も多いの  
 かなーってふと思った。  
 少なくとも、仕事をする以上、サバァイではないかもしれない。

まあ、自分の場合は、繁忙期が1ヶ月ぐらいと決まっているので、覚悟はしていたもののこの1ヶ月は大  
 変である。

と言いつつも、今日も、友人の送別会に呼ばれているし、結構息抜きはしている気もする。  
 普段が非常に暇極まりない仕事なので、たまに、びっちり8時間働くと、結構堪えているというのが、正  
 直な所だろう・・・



## MAKHA BUCHA DAY

2004,3,5



本日は、MAKHA BUCHA DAYという事で、禁酒の日。  
 大型スーパーなどでは、酒を売ってくれない日。  
 今日は、お酒は売れません等・・・張り紙ぐらいしてくれれば良いのに、bic-cラムカムヘン支店では、  
 普通にいつも通り、お酒が店頭で並んでいた。  
 えー、ひょっとして買えるのかな？と思い、店員さんに聞いたら、「買えない」って返答。張り紙ぐ  
 らいしてほしいものだ・・・ってちょっと思った。  
 しかし、家の近所のセブンイレブンみたいなところで、  
 「お酒買える？」って聞いたら、「家で飲むんでしょ。」って事で、何の問題もなかった。  
 外国人だから、大目に見てるのかなーって思ったら、ダムさんでも追加のビールをあっさり買えた。

正直、良い休肝日かなーと思ったけど、結局いつもの量。  
 暑い・仕事がハード・・・これは、ビールの消費量が増える十分な理由のようだ。  
 ちなみに、この日は、ダイエットも兼ねて、ラムジムに行ったのだが、これだけ、ビールが入れ  
 ば・・・意味なしって所かな（笑）



## 偶然というには・・・

2004,3,4



最近のバンコクは、やたらと日本人が目につくのである。

B T S 沿いは、特に日本人だらけのような気がする。

大都市バンコクは、本当は限られた狭い地域なのに、渋滞のおかげで、異常に広く感じているだけなのかもしれない。

バンコクが狭いのか、日本人の行動地域が限られているかは分らない。

いや、両方あるはずである。

しかし、B T S 沿いの場所に行くと、必ずと言っていいほど、知り合いに遭遇するのである。

学校で同じグループレッスンを受けたことがある人、会社の関係での知り合い、そして、個人的友人・・・昨日、シーロムに用事があり、B T S で、移動しただけで、知り合い3人に合ってしまった。一人は、B T S に乗っているときに、偶然同じ車両に乗り込んできた。一人は、タニヤ通りで、歩いている時にばったり。一番笑えたのが、マニアのY 2 君とサヤーム駅でばったり。

Y 2 君、開口一番「てっちゃん、何でこんな所にいるの？」って・・・

あのねー、都心に出てくる用事もあるんでっせー。

ちなみに、あっきの情報によれば、我がコンドミニアムも日本人が急増中らしい。

そういえば、若い茶髪のお兄ちゃんが、タイ人お姉ちゃんと歩いていたたり、同じ屋台で、後ろを見たら、日本人の女性がタイ飯を食べていたりする場面に遭遇したりしている。日本人の居住範囲も、どんどん広がってきているようである。

まあ、日本が、不況・就職難ということ海外にいてもひしひしと実感するのであると同時に、海外に住む事が特別な事ではないのかもしれないという感じもする。

これだけ日本人が住んでいて、日系の会社が競争しているバンコクでは、日本人が住んで困る事は少ないのだろうし、海外に住む事自体も、普通の事になりつつあるのかも知れないとふと思った。



## 外国人は、目立つ

2004,3,3



今日のお昼休みの出来事・・・いつものクイッティアオ屋で、いつもどおり食べてた所、「あそこにいるのはタイ人じゃない。きっと日本人だ。」とある女性客の事を指して噂している。「顔がタイ人じゃない。」等、食事しながら、隣の隣のテーブルの女性の話でもちきりである。

同じアジア人、中華系の顔かなーって思えば、なんの疑問もないとは思うが、タイ人の観察力は、すごいものである。

クイッティアオ屋のおばちゃんも、初めての客だ・・・と噂に参加。

確かに、このお店は、近隣の会社の人間が99%を占めており、見知らぬ外国人が食事しに来るような場所ではない。

フルーツ屋の親父までも、「話しかける。日本人だろ。」と自分に言うのである。

結局、注文の際の言葉や、会計の時のお金の勘定で外国人であることは、判明したが、どこの国の人かは、不明のままであった。

毎日が、平凡な生活を送っていると、外国人が出没しただけで、結構な話のネタになるようである。

自分も、随分と噂のネタになっているんだろうなーって、実感。

やっぱり、目立つんだろうなーって。

本日の大きな話題といえば、会社に新しい車が来たことである。

9年ものの車のお値段は、本社(バンコク)から直接買ったため、20万バーツ。

9年乗った車が、20万バーツとは、この国の中古車市場の恐ろしい値段の相場を実感である。

どうも、駐在員の家族用に使っていた為、バンコク市内を買い物や通学に使っていた程度という事で、状態は非常に良いという話だが、20万バーツといえば、いい値段である。

そういえば、日本語のフリーペーパーにも、BMWの10年物が、エンジンは、トヨタのエンジンに交換したとの情報と共に、高値で「買いませんか？」の売り出し記事があった。

自分も、日本に居たとき、車を購入したことがあるが、10年落ちの中古車なんぞ、値段なんてつかないくらいの商品であるような記憶がある。

事実、自分が乗っていた車も、売っても、逆にスクラップ料とか取られるくらいの状態だったので、欲しいという友人に譲ってきたのである。

タイの中古車市場を考えると、なんか、惜しい事をしたのかもーって、馬鹿な事を思ってしまった（笑）



## 久々に心のゆとり

2004,3,2



久々の日記である。

予想通り、仕事がハードである。

まあ、季節労働者的な分野の仕事であるから、普段の暇な状態を考えると仕方がない。

稼ぐ時に、稼がなければ・・・という感じでしょう。

急に暑くなってきたこと、仕事のハードさ、それに加えて、さらにもう1つ大きな問題を抱えている最近である。

タイは、やはり外国であることを実感せざる得ない。

物事が、思うように進まないストイレスをもろに感じているのである。

おやじのように、残業し、遅くに家路に着き、ビールを飲み、寝るという生活パターンに「こんな、親父のような生活をするために、タイに来たんじゃない。」とさらにストレスが重なる。

拳句の果てには、食欲までなくなるという始末。

自慢じゃないが、「朝ごはんなんて、食べられなーーーーい。」「朝ごはんは、コーヒーのみしか、のどを通らなーーーーい。」って言う人、信じられなかったんですよ。

少なくとも、自分は、夏であろうが、高熱であろうが、失恋しようが、食欲減退という事は体験したことがないのである。

無理やり（食わないと身体がもたない）と思いつつ、食べるという事が、どんなに大変なことかはじめて知ったのである。

まあ、そういう時期も過ぎ去り、晴れやかに、食欲も通常に戻っている状態である。

ちなみに、デパートで、体重計に乗ったら、23歳の時以来、見た事もない体重だった。

信じられなくて、別の場所で計りなおしたら、いつも通りの体重だった。

つい、3分前にあれだけ喜んだのにーーーー何だったんだーーーー

笑えるでしょ。

日曜日に、バイクタクシーに乗ったときに、まだ、座っていないのに、急に走り始めたため、思いっきり道で（人前で）無様なものを見せてしまった。

普段なら、怒ってしまうところだが、思わず笑って済ませてしまった。

タイに慣れたんだなーって、実感すると同時に、今、運がないのかなーとすら思う。

確かに、色んな意味で、ちょっと歯車があってない最近です。

日記を書くと、愚痴の連続になりそうな毎日。

しかし、これを過ぎると・・・上昇しだす・・・ということを感じて毎日を過ごそうと思う。

**【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ**

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)



## tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

### 更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

### 4月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

### けじめの日

2004,4,30

本日で、今まで勤務した会社を退職である。  
 狭い日本人社会を意識してか、きれいに辞めようとは思ってきたので、すごくホットしている。  
 上司が、送別会を開いてくれたり、タイ人マネージャーが、さりげなく昼食会を開いてくれたりと、嬉しい事が続いている。  
 大きな仕事が終わったという感じで一安心。

で、本日から、気持ちの切り替えの為と、ハードワークがはじまるまでの一休みとして、パタヤ旅行に行こうと思っている。  
 9階の方、なんぞ、「今夜から行かない」の誘いに「行くーーーー」って即答するところが、国内旅行の魅力である・・・・・・エヘヘ・・・・・・  
 日本の大型連休にはかなわないが、タイも、連休続きの5月の上旬である。

### ダムさんがタハーンへ・・・・

2004,4,28

本日、ダムさんが、タハーンへと行ってしまった。

正確に言えば、実家に戻り、5月1日の朝8時に入隊となる。

昨夜は、ダムさんの友人と、自分の友人とで食事会をし、慌しく荷造り等の最後の夜を過ごし、自分は、ごくごく普通にいつも通り、会社へ行く為に、いつもの時間に家を出た。

ダムさんの口から、「会社を休んで、バス停まで送って欲しい。」という言葉がなかったことが、妙に日本人と付き合ってることを理解してくれているようで嬉しかった。

代わりに、友人が重い荷物を運ぶお手伝い・見送りに来てくれたようである。

エカマイバスターミナルを出発する前と、夜の9時ごろ電話があったが、いつも通りの会話。

30日までは、実家にいるので電話での声は聞けるが、それ以降は、しばらくは電話も出来ない状態。

自分も、5月1日よりサービスアパートに移動する為、ダムさんの荷物の一部と自分の荷物の一部が引越屋によって引き取られたという1日。

カバン1個でスタートしたタイ生活であるが、引越屋が引き取った荷物の個数は13個。

その他に、ダムさんが大きなカバン2個持ち帰り、自分がサービスアパートに持って行く荷物を含めると、かなりの量になったんだなーって実感。

ほとんど何もない部屋で、一人で寝た1日。

シーツも枕も無く、洋服を枕にして、ベッドにごろんとなっただけの一晩。

アルコールの勢いで、寝付くことはできたが、寂しさを感じた日であった。



## 日本大使館

2004,4,26



日本大使館へはじめてに入った。

アソーク通りとペップリー通りの交差点にある日本大使館・・・普通はあまり行かないはずである。というのも、ビザやパスポートの関係等の事務的なことは、サミットタワーというビルの中のオフィスで行っており、大使館の中は、普通は用事がないわけである。

まあ、外から見るとは、塀で囲まれていて、さすが大使館という感じであるが、入り口の扉もすごかった。

触ってはいないが、見るからに、頑丈そう・・・爆撃を受けても、びくともしないような扉・・・入り口の警察のチェックを受けて、扉が開くのだが、あまりの重さに、開くスピードが・・・ゆっくり。驚いた事に、やっと開いたと思ったら、またすぐに2番目の同じような扉。

さっすがーーーーである。

扉と扉の間は、車が丁度1台止められるくらいの長さであった。

2重になっている扉を超えると、やっと敷地に入れた。

予想よりも質素な感じはしたが、人が歩いていなく、都会の中にあっただ、ここは、別世界を実感。

それより何より、建物自体に驚いた・・・見るからに、頑丈なガラス。

また、内側には、鉄の格子戸が張り巡らせてある。

受付も、頑丈なガラス越しで、窓口で開いているのは、書類がかるうじて渡せるだけの空間のみ。

なんか、すごい場所だなーーーーって感じ。

広いロビーには、受付の子以外は、一人も歩いていなく、不思議な空間だった。

別に、悪い事をして、連行されたわけでもなく、仕事上の用事で来たのだが、もちろん、大使館内部のオフィスに入れるわけは無く、受付で要件を伝えると、向こうから1階まで降りてきてくれた。

しかも、金庫のような扉から・・・

大使館に入った・・・たったこれだけの事だが、話のネタになるなーーーーって思うのは、僕だけだろうか？



## 面接

2004,4,23



最近、新しい会社の関係で、やたらと面接ばかりしている。  
真新しい会社の場合、最初の大仕事が入集めということであろう。  
タイ人の求職者を面接して、結構、新しい発見の数々があり、楽しみつつやっているというのが本音である。  
ちなみに、どういうわけだか分からないが、自分が良いなーって思った子と、社長が良いなーって思った子は、80%ぐらいの確率で重なっている。  
日本人受けするタイプが揃うのだろうか？

やはり、マネージャー（又は、マネージャー候補生）の面接なので、前職と、学歴は、重要であることは否定しない。

しかし、チュラ大（タイの東大？）の大学院卒とかの子は、自分も社長も、「この子、良いですねー」という反応は全く無かった。  
あまりに自信があり、何でもできます・自分は正しいです・・・と言われても、日本で作っているものを場所を移して製造するという事を考えれば、日本のやり方に柔軟に対応していただける方・これから、学んでいこうとする姿勢が欲しいとは思う。

まあ、面接者も、まさに、十人十色である。  
とにかく、お金の話のオンパレードの子（残業代、ボーナス、皆勤手当等）の話ししかしない人・・・  
仕事の内容はどのみても良いの???

自分がすべてタイ語で聞いているのに、面接の時間（30分ぐらい）すべて英語でしか答えられない頑固な人間・・・あなたの英語の能力は分ったけど、弊社は、英語力はあんまり関係ないんだよねー、あなた、日本人の母国語は、日本語だって知ってるの???

文化の違いかなーと思ったのは、面接に来る際に、男性でネクタイ着用人間は皆無であった。  
ほとんどが色物Yシャツで、首の第一ボタンを開けて面接に登場。  
まあ、営業マンの採用ではないが、ちょっと意外に感じました。

これから、当分、採用面接が続く日々です。

---



## 拷問

2004,4,21



徐々に、嫌な思いをした。  
普通人間ならば、大喜びするのだろうが、自分の場合は、まさに、拷問である。  
タニヤ通りにある、とあるカラオケ店。  
この手の店は、お付き合いで、何度か足を運んだことがあるが、こんな過激な店は始めてである。  
飲み始めてしばらくすると、女の子が「私、給料ないの。ここで、裸になってもいい？  
500バーツなんだけど・・・」って言い出すわけ。  
「何言ってるんだよー」って、ごまかしていたんだけど、同行した日本人の女の子達が既に脱ぎ始めて、おじさんデレデレ顔で、もみもみ状態。  
仕方なく、OKしたんだけど、裸になるだけならまだしも、身体を寄せてきて、胸を押し付けるわ・・・人の股間は触るわ・・・ふざけるーって感じ。  
拳句の果てに、人の股間触って、「堅くなっていないー」って言われても・・・  
当たり前じゃんとも言えず・・・  
もちろん、可愛い男の子が、この手のサービスをしてくれれば、大喜びで、通っちゃうのだろうが・・・相手が、相手だけに・・・  
何年か振りかたで、じかに触ったーとでも言いましょうか？

それにしても、冷めた目で、見てたからかもしれないが、タクシン首相が言ってる事、目指している国とは、大分かけ離れているなーってというのが、感想。  
おエ口の国じゃーん、おエ口で外貨稼いでるんじゃんーってというのが正直な感想。  
まあ、おエ口産業は、どんな国にもあるんだろうけど、こうも、強制押し売りの的にやられても・・・って感じのサービスだった。



## それぞれの準備

2004,4,19



島から帰ってきた後、新しい生活に向けた準備がスタートしている。  
 ダムさんは、28日に実家に帰り、3日ほど家族と過ごし、その後、兵役へ行く・・・1年の間、私物は認められない生活のようなので、ある程度の荷物を実家へ預けるのである。  
 自分は・・・といえば、バンコクの立ち上げ準備室に勤務となる為、当面必要となるものを除いては、倉庫に預け、地方での住所が決まり次第、届けてもらう予定となっている。  
 臨時の事とはいえ、一番自分に不似合いな場所、ビジネス地区のサービスアパートメント在住となるわけだが、現在の家賃の丁度10倍の値段の場所に住む事になるにも関わらず、「行きたくない」と思うのは、何故だろうか？  
 ダムさんと離れて、あっきーと離れて、生活する寂しさからか？単に都会アレルギーなのか？

そんな訳で、ダムさんの実家に預ける荷物、倉庫に預ける荷物、サービスアパートメントに持っていく荷物・・・と3種類の行き先に分かれるため、荷物の整理が思うように進まない。  
 それに加えて、捨てるもの、人にあげるもの、売っぱらうもの（温水器、電話の権利等）もあるので、さらに、時間ばかりかかっているというのが、現状である。

しかし、改めて荷物の多さに驚きです。  
 カバン1個ではじまったタイ生活・・・2年半の月日は、荷物の量が物語っているにかもしれない。  
 便利さを追求すればするほど、物が増える事を実感です。  
 まあ、こういう機会に、ドカンと一気に捨てるのがすごく好きで、何かスッキリした気になるんだよね。

本当は、のんびりする時間が欲しかったのだが、1日も休みらしい休みが無いまま、新しい生活に突入しそうな勢いである。。。。



## ビールの飲む場所

2004,4,15



普段、自宅かお店で飲むビール。  
 島では、格別な美味しさ。  
 まあ、何と言っても娯楽が少ないので、日が暮れるとイカ焼きとビールが一番の楽しみ。  
 ちなみに、一番印象に残ったのは、夜の浜辺でござ敷いて、ビール飲んだ事。  
 星空の下、波の音を聞きながら、飲むビールの美味しさは格別でした。  
 どんな立派なレストランにも適わない雰囲気・・・を実感。

ところが、浜辺で飲んでいる時、いきなり海から人が二人出てきて一同驚き。  
 「この辺で、ミャンマー人はいるか？」といきなり聞かれて、これまたびっくり。  
 予想するに、密入国のミャンマー人なんだろうが、なるほど、距離を考えても、ありえる事だと妙に実感。  
 ただ、いきなり海から人が現れるって、こんなに怖い事はない・・・これ、ホント。



## ソクラーン(島で)

2004,4,14



島では、ソクラーンの3日間は、水掛けできるのは、1日のみ。  
 何故なら、水が貴重だからだ。水掛けするだけなら、いくらでもある海水でも良いと思うのだが・・・  
 まあ、そういう理由で、水掛けは、1日のみ。  
 だからと言うわけではないが、皆、その1日でめいっぱい水掛けあってる1日。  
 ダイビングに行く途中、わざわざ運転手が水掛けポイントで車を止めるもんだから、全身ずぶぬれ。  
 まあ、どうせ濡れるんだから全く問題ないんだけど、楽しさ全開でした。  
 道路は、ソクラーン洪水が起こっており、道路には、大きな水溜りが・・・そんな南の島のソクラーンでした。



## 島での休暇

2004,4,13



久々の旅行である。  
 そして、ダムさんとの旅行もしばらくは出来ないかと思うと・・・複雑な旅である。  
 島・・・バンコクからバスで7時間・・・さらに、船で3時間の島。  
 もっと恐ろしい事に、ツアーにて、バスと船とのジョイントチケットを買ったにも関わらず、バスが付いてから、船にのるまでに2時間ほど待ち時間があったり、帰りも、船が着いてから、何故か食事休憩（船着場から、市内に連れて行かれ、そこで3時間近くの食事休憩）と、乗り継ぎの悪さから、異常に時間のかかる旅だった。  
 「飛行機で行けば良いじゃん」と言われそうだが、空港が無い場所だった為、このような方法がベストであるようだ。  
 まあ、飛行機で、対岸の町まで飛び、そこから車をチャーターして船着場に行き、船という方法もあるのだろうが・・・

さすがに、綺麗な海でした-----景色抜群の一言に尽きます。  
 バンコクの雑踏の中で生活していると、同じ国とは思えない景色でした。  
 今回の目的は、ダイビングをするという目的もあったが、5本潜って、海の中も堪能。  
 実は、すっごく長いブランクがあったため、講習・・・プール実習・・・チェックダイブ・・・と進み、大変であったが、何年ぶりかに海の世界を堪能しました。

ダムさんも、記念に・・・と思って、体験ダイビングを2回行い、10メートルまで海の世界を体験。  
 最後の記念に・・・って、写真借りて、海の中で写真も撮ったけど、さすがに体験ダイビングなだけあって、インストラクターに首根っこ掴まれている写真だらけで、一緒に行った日本人友人に「犬の散歩」って笑われていました。

ちなみに、シュノーケリングだけでも、十分に楽しめる海。  
 今度、また行きたい-----って思うけど、時間が取れるかどうかだな。



## 島に出発

2004,4,11



タイは、ソクラーンの時期に突入する。  
 実際は、13日から15日までであるが、月曜日、金曜日を休めば大型連休となる。  
 ちなみに、自分は、友人とダムさんと共にダイビングに出かける  
 久々ののんびり休日を過ごす予定である。



## 今後の事

2004,4,7



ダムさんが、軍隊の入隊の紙を持って帰ってきた。

もちろん、見た事は無いが、戦争中の「赤紙」を連想させるような紙である。軍隊に入る契約書と呼ぶような紙であるが、驚いた事に指紋まで押してあった。

逃げられないぞーって感じの紙である。

5月1日の8時に集合という事で書いてあり、荷物も一切持ってきてはいけないという厳しさ。

しかも、3ヶ月は、一切の外出ができないという規律もある。

3ヵ月後からは、週末は自由になるようである。

また、驚いた事に、軍の制服等は、すべて国から支給(ただ)かと思ったら、制服からパンツに至るまで、すべて自分で買わなければいけないという事のようなのだ。

貧乏人で買えない人間は、超安月給から引かれるらしい。

ちなみに、軍隊の給料は3000バーツ程度らしい。

ちなみに、タイでは、軍隊行きを免れる方法はいくつかある。

- 1) 黒球を引く
- 2) 学生時代(高校?)で軍事教育のコースを取得する。
- 3) 権力かお金を利用する。

3)は人からの噂の域であることを書き添えます。

個人的には、100%ありえる話であると思っている。

この国には、平等と人権という言葉は、無いと思うからである。

ダムさんは、一夜明けてるからか、意外にさっぱりしていた。

昨日、家族で泣き・飲み明かしたらしい。

意外な言葉が出てきたのは、家族は、兵役に行く事で泣いていた訳でなく、近々、ダムさんをブワット(出家)させようと考えていたらしい。

それが出来なくなって(延期になり)泣いていた・・・という事も分った。

仏教国タイランド・・・日本人には理解しがたい面が多々ある。

5月1日からの兵役により、ダムさんは、4月の末に一時実家に帰り、2~3日実家で過ごし、それからシーラチャーに移動する。

自分の引越も含め、忙しい日々を送るのである。



260分の60の確率

2004,4,6



ダムさんが、赤を引いた。

正直、赤とか黒とか言う以前にくじを引くとは思っていなかった。

身体が小さいから、対象外となると思っていた。

実際は、身長160センチ、胸囲76センチが基準であり、ダムさんは、どちらも丁度ピッタリの数値だったらしい。

身体の大きい順に引いた為、最後から4番目に引き、赤を引いたらしい。

当日、心配で何度も電話していた。

夕方に引くとは言っていたが、午後から何度も電話して、会社が終わる頃の時間に赤を引いたとの連絡を受けた。

ダムさんもショックだったようだが、自分も大きなショックを受けた一瞬であった。

唯一の救いは、ダムさんは、陸軍に当たった事で、自分と住所地で言えば、同じ県であるということと、大卒なので期間が1年ということである。

ありがたいことに、友人が心配してくれて、励ましてくれた。

極度の寂しがり屋な自分の性格。

ダムさんと一緒という事が前提で、地方勤務も決めたのに・・・という思い。

何故に、事前に手を打たなかったのか・・・という思い。  
複雑に絡み合って、眠れない夜であった。  
5月から強制的に軍隊に入隊するダムさん。  
ダムさんも実家で飲んだくれの夜を過ごしていたようだ。



## くじ引きの日

2004,4,5



昨日、ダムさんが兵隊のくじ引きの為、田舎に帰省。  
本日、現地時間の夕方頃に引くらしい。  
赤が出れば、1年以上の間、兵役に行かなければいけない。  
黒を引けば、セーフである。  
正直、身体が小さいから、身体検査で引っかかって、対象外になるとってはいたものの、自分まで緊張の1日である。  
お金で解決すれば良かったのかなーと、思ってみたり・・・  
ただ、本人から、そのようお願いされれば、自分もそういう方法を選んだかもしれないが、最後まで、本人の口から、そのような相談が無かった為に、本日は、普通にくじ引きをする事になったのである。

ダムさん曰く、「身体の大きいものから順に引くから、自分は大丈夫だろう。」という訳のわからない理論を言っていたが、先に引こうが、後に引こうが、確率はそんなに変わらないという事は、理解しているのだろうか？

まあ、赤球が10個入っていたとして、先に引いたものが、10個全部引いてくれば、残りは、100%黒球だろうが、逆を考えて、先に引く人が全部黒で、赤ばかり残る事も可能性としてはあるわけで・・・

一応、昨日、バスターミナルまで送っていった時に、「コー・ハイ・チャップ・バイ・ダム・ナ」って言うておいたから、黒がでることを祈りつつ、落ち着かない日を過ごしている。



## ダムさんのいとこ

2004,4,3



10日ほど前から、ダムさんのいとこが遊びに来ている。  
いとこと言っても、小学校4年生で、10歳の男の子である。

田舎では何でも会っていたし、バンコクにも何度が遊びに来たことはあった。  
今回は、夏休みの為、遊びに来ているようだ。

日本の子供とタイの子供（田舎の子に限定されるかもしれないが）を比べると、全然違う。  
ダムさんのいとこ（イアップ君）は、実に大人のいう事を聞いてくれる。  
正直、お手伝いのような扱い。  
ダムさんの命令一つで（朝は、カーテンを開け、ダムさんのマッサージをしたり、よく働くのである。）  
大人は、偉い・・・子供は、大人の言う事を聞く・・・まさに、そんな社会。

あまったおかず（冷や飯）を誰が言うとも無く、食べ、誰が言うとも無く、床で寝る。  
（ダムさんと自分はベッド）  
身分・階級があるとすれば、明らかに子供は、大人の下であるという状況がある。

日本は、いつから、子供が偉くなったのだろうか？ってふと思った。  
少なくとも、昔は、親父の稼ぎで、子供が食べさせてもらっていたという感じがあったかもしれないが、最近では、大人の方が、子供に遠慮したり、機嫌とって物を買ったりしているのではないだろうか？

イアップ君を見て、家族関係・大人と子供の関係を、ふっと、考えさせられてしまうこの頃です。  
ダムさんの軍隊のくじ引きに合わせて、日曜日に帰る予定の小さな我が家のお客様。



## 交通事情

2004,4,2



本日は、タイの交通事情の最悪さを身にしみて感じる1日となった。  
午後一番で会社を出て、バンコク市内を3箇所（内2ヶ所は徒歩でも行ける距離）を各5分ずつの用事の  
為に、出かけ、会社に帰ってきたのは、夜7時を過ぎていた。  
ちなみに、行き先は、ラマ9通り、サトーン、シーロムの3箇所。  
途中、30分以上も、一步も車が動かない状況もあり、運転手さんが、トイレが我慢できないって言っ  
て、車を降りて、何処かへ・・・という感じ。  
まさに、サトーン通り駐車場という感じの路上。  
こんなにも渋滞している原因は、  
1) 景気が良く、車の台数自体が、増えている。  
2) 金曜日であった。  
3) 給料が出た直後であった。  
4) ソンクラーン前である。（正月前・・・つまり、日本の年末と同じ状態？）  
という事が考えられる。  
以前、バブル絶頂の頃、スクンビット通りでアソーク～ナナ（徒歩15分ぐらいの距離）を3時間かかっ  
た・・・とかいう嘘みたいな話を聞いたことがあったが、本日の様子を見ると嘘でもないような気がする。  
それにしても、信じられない状態だった。  
ストレスの溜まった、1日であった。

**【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ**

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





## tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

## 更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

## 5月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

住み心地があまり・・・

2004,5,28



ありがたいことに、駐在員並みの場所に泊めていただいている。

しかし、何だか落ち着かない。

大体、最も嫌いなことは、ホテルのベットって、シーツがピッタリしまっていて、寝るときに毎日剥がさなければいけない。

それと、扇風機が無いから、エアコンを入れると寒いし、消すと暑い。

前のコンドと同じように、ベランダのドアを開けたって、うるさいだけだし、窓を1箇所だけ開けたって、涼しい風は通らない。

前のコンドのように、ベランダと玄関の網戸を開けっ放しにして寝られたら、自然の風でどんなに気持ち良いかって思う。

この前も、パンツ1丁でTV見ているときに、いきなりクリーニングでーす。っておばさんが入ってきた。

内側からロックを忘れていた為、心の準備？をするまもなく入ってきた。

最低でも1日2回は、人が入ってくるのだ(掃除とクリーニングの返却)

別に、おばさんにパンツ1丁の姿を見られたって、どうともないけど、どうも、自分のプライベートな空間に、いつ人が来るか分からないという状態は、ちょっと落ち着かない。

大体、広い部屋に合わせて、収納の為にダンスや引き出しも山ほどあるけど、臨時宿の自分としては、入れるものなんてないのである。

食器や電子レンジまで揃えてあったって、肝心の鍋やフライパンもないし、そもそも自炊をしようと思えば、調味料も揃えなければいけない・・・タイに来て2年半が経ち、インスタントラーメン以外、作ったことがない自分にとって、今更自炊でもない。

DVDもあるが、肝心のディスクは全部倉庫に預けたのである。

臨時の宿であるから余計なものを買わないようにしている。

しばらく臨時の宿暮らしが続くと思うと、便利なようで落ち着かないって感じの日々である。



## 翻訳で悩む日々

2004,5,27



やたらと翻訳ばかりやっている日々である。

現在の会社は新しい会社であることから就業規則の日本語訳から始まって、マニュアルの翻訳までやっている。

正直、就業規則までは、辞書があればなんとか訳せていた。

しかし、マニュアルの翻訳には、頭を悩ませている。

というのも、日本語自体が分からないのである。

全くの異業種業界での勤務・・・日本語が読みきれないのに、タイ語に訳せというのも、何とも難しい。出来ないとは言っていないが、日本語が分からないところは社長に聞き、辞書にない言葉は、タイ人に聞いて何とか文章にしている状態。

しかし、それが正しいのかどうなのかも分からずに、タイ語に訳していると状態。

A4の書類を1枚翻訳するのにかなりの時間と労力をつかっている感じ。

仕事というのは、慣れてしまえば、それほど莫大な労力を使うことなく、日々、淡々と業務をこなすという感じなのかもしれない。

しかし、小学生が、無理やり大学入試の問題を解いているような今の状況。

結構、いや、かなり疲れるのである。

立ち上げの会社、それ以外にも、勉強になっていることは山ほどある。

就業規則をとっても、タイの労働保護法の知識を吸収できているし、社会保険制度や税金の事も事務方スタッフと社長との通訳をしている中で、知らず知らずのうちに知識吸収の日々である。

以前の会社は、すべて担当者任せであった。

知らないうちに、社会保険カードを準備してくれるし、ビザやWPの件も、総務が管理してくれて、法律も知らないまま、言われるままに、写真や書類を用意し、総務スタッフに連れて行ってもらっていた・・・という日々。

社会保険や、指定病院での治療が無料になるカードも持ってはいたが、どういう手続きを踏んで発行されるのかも知らなかったし、幸いにも、そういったカードを使用した事もなかったのである。

なんとなく、そういった知識は、この先の財産になるような気がして、嬉しいような気もする。



## 外務省発、安全情報

2004,5,26



最近、ホテルにいる時間のほとんどは、NHKを付けている。

海外で唯一の日本語放送はありがたいものである。

だからという訳ではないが、海外に住んでいますが、年金問題、北朝鮮拉致問題等、最近のニュースはやたらと詳しいこの頃。

海外版NHKならではの海外危険情報等もあり、タイの南部3県のこと、かなり大きく取り上げられていることも事実。

で、このNHKの海外危険情報（外務省発）が、非常に不思議で仕方が無い。

危険と思われる地域に近づかない・・・危険だと思ったら、最初から行かないでしょ。しかも、テロって言うくらいだから、いつ、どこで起こるか分からないんじゃないの？

もちろん、地域によって確率の問題はあるでしょうが。

人ごみを避けるように・・・海外に来て、山ごもりする人は、少ないと思ってしまいます。この世の中、どこに行っても、人は、いっぱいいるでしょ。

アメリカ人の多いところは、テロの標的になりやすいので、避けるように・・・そうじゃなくても、僕

はファランが好きじゃないから避けたいと常々思っておりますよ。

しかし、この国、やたらとファランが多いので、避けられないのじゃーーーー。

大体、政府は、やたらアメリカ・アメリカって媚を売っている割には、海外安全情報で、アメリカ人を避けるように・・・って矛盾してませんか？

極めつけは、例えば、麻薬の運び人等に仕立てられた場合等、海外の場合は、非常に無罪の立証が難しく、何人もの日本人が海外の刑務所に服役しております・・・こんな手口に気を付けるように・・・だけで止めておけば良いものの、外務省は、無実の罪で捕まった人でも、海外で捕まった以上、その国の法律があるので、助けられないし、助けませんよーーーーって言ってる風にしか聞こえないのは自分だけだろうか？

その他にも、拉致されないように、時々帰り道を変更するとか、帰宅時間をづらすようにするとか、車に乗るときは、爆弾が仕掛けられていないかよくチェックする等、思わず、笑ってしまう事を言っている。帰り道を変更するって言ったって、最終的には、たどり着くところは一緒だよなーーーーとか帰宅時間をずらすって言ったって、そこまで危険な場所には、娯楽がないと思うけどねーーーー事務所で、本でも読んで時間潰せっていう意味なんでしょうか？

車に乗る前に、爆弾が仕掛けられていないかチェックするというのも、イラク辺りでは必要な情勢なのかもしれないが、爆弾のを見つけ方って、僕は知らない。

特別な人を除いて、一般人に向けての放送で、爆弾が仕掛けられていないかチェックするようになって言ったって、どうすれば良いのか、せめて、何処に、どんな形状のものが仕掛けてある場合が多い・・・くらしいのレベルまで言ってもらわないと、分からないし、意味無いじゃん。

外務省から出ている海外安全情報・・・せっかく放送してくれるのなら、もう少し、役に立つ情報を流して欲しいと最近思っている。（辛口すぎる）

また、平和ボケ・・・って言われている日本人・・・海外に住む・旅行に行く、日本人の一部の人で、本当に平和ボケしてるなーーーーって感じることもあるが、政府（外務省）も、結構同じようなもんだと思ってしまう。

日本のトップエリートが流す情報にしては、内容が・・・。現実的なことをもっと言って欲しいと思わざるを得ない。

最近の世界の情勢をタイから見ていて、日本国だけが、国や政・国民も世界から安全意識という面で、大きく取り残されていっていると思ってしまうのは、僕だけだろうか？

意外と、個人で海外に住んでいる人のほうが、一番危機管理がしっかりしているのかもしれないとふと感じた。

## 軍の施設内とメール

2004,5,22 

不思議な気がする。

先週の日曜日にダムさんが訓練をする軍の敷地内に行ってきたが、メールが使えるような雰囲気のところではなかった。

まさに、キャンプ場という表現が正しいのかもしれない。

そんな中で暮らしているダムさんから、たびたびメールが届くのである。

何処でやっているのか不思議だが、時代の流れだろうか？

ちなみに、携帯も持ち込み禁止なので、携帯電話からのメールではなく、ホットメールからのメールである。

ちゃっかり、差し入れリスト（歯磨き粉とか靴下とかパンツ等）も記載されている。

ちなみに、共同生活なので、パンツなどは、他人と区別が付くように、あまり他の人が持っていない色を指定してあった。

やっぱり、人のパンツは穿きたくないもんね（笑）

来週は、また行こうかなーーーーと思いつつ、ひどい二日酔いの週末である。

それでも、ネットカフェに来たのは、ダムさんからのメールを待っているのかもしれない。  
昨夜も、ゴゴゴで飲んだくれた。  
けれど、連れ帰りたいと思うような子は皆無であった。  
せっかく歩いて連れ帰れる環境にありながら・・・どうも、気がすすまない。  
人肌恋しい反面、この子じゃ・・・という気持ちとで複雑である。



## 警察に逮捕されそうになる？

2004,5,20



海外に住んでいると、思わぬ所で、落とし穴があるもんである。  
丁度、先日、久々に日記を更新した日の出来事。  
ネットカフェから出てきて、ホテル（道路の反対側にある）に戻ろうとしたところ、車が途切れていた・・・チャンス・・・と思って、道路を横断。  
別に、何の疑問もなく、車が途切れていたから渡っただけ。  
何か、何かピーって笛を鳴らされた感じはしたけど、自分の事だとは気にも止めずに横断。ゆっくり歩いてホテルに戻るために歩いていた。  
突然、後ろから、3人も警察官が走ってきて、取り囲まれる。  
何？何？って感じ・・・しかも、どえらい剣幕で怒っている。  
バット・プラッシューション（IDカード）を出せ・・・とか言っている。  
不思議と、落ち着いて、英語で日本人であること、インターネットカフェからホテルへ帰る所だということの説明。  
自分の英語の発音が悪いのか、相手が聞き取れないのか分からないが、あんまり通じず。  
結局分かったことは、王様を通るために、道路を封鎖していた。  
で、王様を通るまさに直前に自分が、堂々と道路を横断してしまった・・・ということである。  
キング・キング・・・の単語を連発する警官・・・ネットカフェから出てきて、周りの状況をよく確認しないで、ただただ、車がない、今がチャンス・・・と思って渡った自分・・・とりあえず、国家権力を背景にする警官ともめても仕方がないので、  
SORRYと言って、謝って、無罪放免。  
最後に、パイ（行け）と犬を追いやるような言いかたで、言われたのが非常にカチンときたが、喧嘩しても仕方がない・・・とガマン。  
海外に住んでいると、思わぬ所で、思わぬ事に巻き込まれる・・・を実感。  
まあ、都心に住んでいるから・・・という事でもあるのだろう。  
早く地方へ行きたいな-----。



## 久々の日記

2004,5,17



本当に久々の更新となってしまうました。  
ダムさんが兵役に行き、その後、仕事が始まるまでの間に、3日ばかりパタヤで息抜き？ 抜き？をしてあわただしく新しい仕事が始まっています。  
住まいや環境は、ビックリするような綺麗な部屋に住まわしてもらっているし、会社も徒歩圏内で行けるので、助かっております。  
まあ、特にハードワークというわけではないが、自由時間は無いっていうのが現実でしょうか？  
社長と、3食共にしておりますので・・・（笑）

やはり、ダムさんの居ない生活がきついな？  
サービスアパートに居るんで、掃除もすべてやってもらっているが、さすがにクリーニングにパンツや靴下まで全部出しちゃうと、とんでもない金額になってしまうので、  
ホテルでせっせとパンツの手洗濯に励んでおります。  
毎晩のように日本食を食べさせられて、あっきーと会うとすぐに「ソムタム付き合っ-----くれ-----」ってお願い。

さてさて、ダムさんに面会してまいりました。

あっきーも一緒にいってくれたんだけど、考えてみれば、軍隊の施設内に、何にも問題なく外国人が入れるってすごいことじゃない？

「スパイ扱いされて撃たれない？」なんて冗談もありーの。

軍隊生活大変そうでした。

風呂や食事には至るまで、細かい時間指定もあるようだし、・・・・

丁度、昨日の日曜日が初の面会許可日。

本人たちは外出できないが、外部のものは、面会可能。

ダムさんの連絡で、コーラ・シャンプー・石鹸、お菓子の差し入れ希望。

たまりコンビニで買い込んで行ったんだけど、あつという間に、食料品は売る切れ。

もちろん、ダムさん1人が食べたわけじゃなく、友人みんなに分けてたんだけど、それでもびっくりするような食欲。

丁度、昼食後の帰寮時間に行ったんだけど、身体の小さいダムさんは、一番後ろを走っていた（背の高い順に前から並んでいた）

坊主で、軍のTシャツを着て、走っているダムさんを見て、なんとも複雑な気持ちになってしまったのは事実である。

坊主で声も枯れていたし、正直、悪臭も放っていたが・・・・

一番厳しい3ヶ月の訓練期間まで、あと2ヶ月半あまり・・・・がんばれというしかない。

今日は、どうやったのか分からないが、ダムさんからメールも届いていた。

だから、自分もHPを更新する気持ちになって、インターネットカフェに入ったのかもしれない。

まあ、ダムさんが居なくて、寂しいのは事実である。

正直、バンコクのゴーゴーにも行ったし、何年か振りかにDJステーションも行ってみた。

しかし、声をかけよう等という気持ちも全く起きず、夜中にホテルに向かう途中で寂しさだけがこみ上げて、コンビニでビールを買い、ハイネケン片手に歩いている自分が、もっと寂しくなった・・・・って週末も過ごした。

でも、昨日、面会出来たし、メールのやり取りも可能のようだし・・・・自分は、自分の生活をやるしかないと思っています。

ダムさんが戻ってきたら、田舎ですばらしい環境の中で、生活することを目標にして・・・・

毎日は、書けません、時々更新します。

---

### 【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

---

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)

---





## tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

## 更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

## 6月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

## タイ人の履歴書

2004,6,22

タイ人従業員採用の為の、面接をする機会が頻繁にある。  
最近思うのは、嘘の塊のような人たちがあまりにも多すぎる。  
面接を宝くじとっているような人が大勢いる気がする。

日系の人材派遣会社を通しての紹介でさえ、書類に嘘が多い。  
もちろん、前職の給料がその嘘の大部分である。

前職の収入は、新しい会社での給料と相互関係が大きい為、嘘の記述（妄想の記述）をする場合が多いようである。

自分の会社は、嘘が判明した時点で、もちろん採用はしないが、外国人である故に、見破るのもかなり難題である。

一度、あまりに疑わしいので、日系人材派遣会社に、送られてきた書類は、全部真実なのかどうか問い合わせたところ、あっさりこれは、自己申告です。と言われてしまった。

人間不信に陥りそうである。

最近、給料の嘘を見破るコツを覚えたのである。

何もタイを知らない振りをして、いくらもらっていたの？って聞くわけです。

それ以外に、オーバータイムは？通勤手当は？家賃手当は？食事手当は？皆勤手当は？って聞いていくわけです。

本人も、調子にのって、（多分、もらっていないのに）あっ、2000パーツもらっていました、あっ、それは、3000パーツもらっていましたって言うわけです。

で、最後に、合計はいくら？って聞くと、適当に答えた人は、分からない。

通常、ある程度のクラスの職員になると、諸手当はあまりつかない（込み込み）のを分かって質問するのである。

で、最後に、嘘の確認の為、税金の金額と、社会保険額を聞くのである。

これで、すべては判明できるのである。  
最近、ずる賢い人間になったのではないかと実感する。

ちなみに、タイ人の履歴書って面白い。  
海外滞在経験ありって書いてあったので、詳細を聞いてみると、香港に旅行で2泊3日行ったことがある・・・という答え。  
それ以外にも、1週間のボランティア経験を書いてあったりする。  
3日の研修でも、トレーニングを受けたと記述。  
確かに嘘ではない。しかし、自分は、履歴書には書いたことが無い。  
職歴・経験の欄が日本人に比べて5倍ぐらいの長さである。  
文化の違い、考え方の違いを実感。

タイの場合、どこの会社にいたと言うことと、ポジションと仕事の内容・責務が重要らしい。  
職務という欄に、電話を取ること・・・とかいてあったりするの、自分からすると、ぶっ飛んでしまいそうである。  
前の会社に、コピーとファックス専門の職員がいたことを考えると、電話を取るだけの仕事は、受付と考えれば、納得できなくもない。

いずれにせよ、タイ人の採用は、非常に難しい難題であることは、身にしみているこの頃である。



## 面会に行く日曜日

2004,6,21



日曜日のダムさんの面会に行く度に気が重くなる。

あまりに劣悪な環境だからである。

そんなもの軍隊なんだから当たり前・・・という人もいるかと思うし、軍隊に人権などという言葉は存在しないと言われれば、反論もできまい。

陸軍・・・ホフク前進（地面に這いつくばって前進するやつ）の練習をするのは理解できる。

しかし、隊員は、肘が擦り剥いて痛々しい。

しかも、何の手当てもしていなく、傷が丸出し・・・そこに、虫（ハエ）がたかっているのである。

自分は、医療従事者でもないし、あくまで常識の範囲での事だが、不衛生極まりないし、そこで卵を産んだりしないのか・・・とか思ってしまう。

長袖を着用しても、肘に傷ができるのは百歩譲るとしても、傷の手当、応急処置も軍隊が学ばなければいけない大きな柱であると考えるのが・・・

インキン率100%や、単なるすり傷とはいえ、何の処置もなく、傷口にハエがたかっている状況を目の当たりにすると、複雑な思いである。

ちなみに、肌が弱い人間の、皮膚病率もかなり高い。

どうも、草（なんだか品種も分からないもの）の中で、訓練を行い、かぶれたりするのだそうである。

自然界、どんな動植物がいるのかは分からない。

実践を想定して、そんな中で訓練をやるのだと言えば、聞こえは良いが、訓練なんだから、芝生の上や、人体に害の無い場所で練習・訓練をするという考えも無いようである。

自分は自国の自衛隊がどんな訓練をしているかも全く知らないし、日本以外の国の事も全く分からない。

しかし、タイの軍隊を見て、矛盾を感じることは多くある。

ただ単に、苦しめれば、しごけば良しという理屈で訓練しているとしか思えないというのが正直な感想である。

来月の上旬には、しばしの休息を兼ねて、一時出所である。

変わり果てたダムさんを見るのは、忍びない気がしてならない。

軍隊に入隊しているメンバーを見ても、タイ国には、平等という言葉は無いらしい。

お金持ちは、知恵と権力と財力と人間関係でいかなる災難でも振り払うことができる。

貧乏人は、文句も言えず、権力に従うだけである・・・ということである。

ちなみに、タイの軍隊・・・制服も訓練用の服もすべて自己負担購入という名目の強制購入である。さらに、テストと称して、バンジージャンプのようなことをしたら、さらに給料から天引きなのである。

結果的には、もらえるお金は、すずめの涙。

自分は外国人であり、他国のことを批判するつもりも無いが、徴兵するのなら、せめて平等に行って欲しいし、くじ引きの制度が平等であると唱える人が存在するなら、真っ向から反論したいと思う。

ダムさんも我慢の1年であるが、自分にとってもつらい1年である。



## 最近の生活

2004,6,20



転職して、1ヶ月半が過ぎた。

住居費等も含めると、収入も2倍になったが、仕事量も2倍になった(笑)

自分のポジションも、日本人というだけで、実力には、ほど遠いポジションを与えられている。そんな中、一生懸命、自分なりにがんばっている日々である。

仕事は楽しい。

毎日同じ事をやっていた前職と比べ、毎日が新しいことの連続である。

また、タイの労働法、社会保険、税金、契約書等・・・数多くの事を学んでいる毎日である。

HPに関しては、更新する時間が全くないというより、自分の時間を使って更新するという気持ちが無いだけである。

就職しても続けられたのは、前の職場では、工作中的空き時間を十分に利用して日記を更新していたというのが、本当のことであるし、今は、仕事終了後、自分の時間を利用してまで、更新しない・・・ということだけで、週に何度も行け・行け・バーに通い続けていることを考えると、時間的な余裕が無いわけでもない。

ちなみに、タイは(シーロム界限は)、常連になればなるほど、料金が値上がりしてしまうようである。

こいつからは、もっと取ってもいいだろう・・・という発想なのか?

いつもの店も、急に1.5倍にビール代が値上がりした。

自分が行くと、いつもOFFする子と、お気に入りの店員の二人が席に着くので、ビール1本1.5倍の値上がりは、合計金額にすると、かなりの値上がりである。

もう行かない、店を変えようと思いきや、12回分のサービスを約束して、高価なものを先に買ってあげたので、行かないわけにもいかないという複雑な状況もあるのである。

まあ、本当にお客全員が値上げしたのかもしれないが、秘かに自分は、この店には2重価格が存在するのでは・・・と疑っている。

せこい話になってしまった・・・失礼。

転職のきっかけであった、タイ語を使った仕事がしたい・・・という目標は、見事なほどに達成できている。

正直、日本語でも分からない言葉の単語も知るきっかけになっているし、工作中的タイ語会話も確実に多くなっている。

但し、上達しているかどうか、発音が良くなっているかどうかは、全く別物である(笑)

ちなみに、タイ語の就業規則は、どこでも基本的に同じ内容であるということを前提にすれば、辞書をほとんど使わなくても内容が理解できる妙な自信もできだし、タイの雇用契約書も、辞書なしで内容把握は可能となっている。

まあ、タイ語から日本語にて説明することと、全くのフォーム無しで、自分で作れというレベルはかなりの差がある気がするので、自力作成は不可能である。

年齢が上がるにつれて、暗記力の低下は確実に事なので、この機会に仕事をしながら確実に実力アップを願いたいと思っている。

秘かに、思っているのは、語学習得(しかもビジネスレベル)は、大きな武器であると勝手に思っている。

もちろん、それだけで食べていくこと、高額所得を得ることは難しいとは分かっているが、有利なことだけは確かであろう。

まあ、それ以外に、タイで働く自分の売りが無いというのも事実ではある・・・



## 日本帰国は、楽しみかどうか？

2004,6,19



日本へ行く日が近づいている。

新しい会社なので、タイ人を連れての日本研修。通訳の為、自分が同行するのである。

最初から、承諾していたとはいえ、バンコクでもホテル暮らし、日本でもホテル暮らしというのは、気が重くて仕方が無い。

前にも書いたが、今のホテル生活で居心地が悪い原因としては、毎日、他人がプライベート空間に入ってくるということである。

むろん、慣れてる人にとっては、ホテルの掃除のおばちゃん等は、全く気にならない存在であろう。

しかし、慣れていない人は、結構気を使ったりするのである。

あと、しばらくとは言えない期間に渡って、ホテル暮らしが続くのは、しんどい。

あくまで仮住まいであるという前提があるから、不便であるから、物を買おうとしても、買えないというのも原因かもしれない。

もちろん、仮住まいの間だけ使って、何でも捨てる気になれば、何でも購入できるのだが、預かってもらっている荷物の中にあるし・・・とか、買って、捨てなければいけないし・・・という思いがつつい頭をよぎってしまう。

3ヶ月近くの日本での滞在・・・業務命令で、仕方なくタイに住んでいる人にとっては、羨ましいと思うようだし、代わりたいたいよ-----って言うのかもしれないが、自分は、憂鬱で仕方が無い。

ダムさんと、さらに連絡が取りづらくなること。タイ料理が食べられなくなること。自分の性欲が思うように満たされない状況が予想されること。タイでの友人に会えない事。物価を考えたら、物欲も我慢せざる得ないこと。

色々な事を考えても憂鬱な気持ちは高まる一方である。挙げればきりが無い。

一言で言えば、我慢をいっぱいしなければいけないような気がしてならない。

日本の良さもあるのかもしれないが、タイの方が、気楽に生活できるような気がして仕方が無い。

正直、浦島君になっているのも怖い。

日本人の持っている携帯電話に驚かされるのは、目に見えているだろうし・・・

NHK衛生放送を見る限り、小泉総理大臣は、僕が日本を出発したときと代わっていないようである。しかし、日本のスピードを考えると、とんでもなく時代が変わったのではないかと思ってしまうのである。

3ヶ月後の、某土地でのタイ生活を目標に、つらいことも我慢しなければいけないのかもしれない。

しかし、日本へ帰りたくない。

ひとつだけ楽しみなこと・・・毎朝、納豆が食べられる事。

朝食は、ホテルで取るように指示されているが、自分は、納豆ごはんを食べる。



## オフィスで働く人々

2004,6,10



都会のど真ん中での仮オフィス勤務も1ヶ月が過ぎた。  
 オフィスワーカーって感じの人が大勢働いており、以前の勤務地（バンコク郊外）とはかなり働いている人種も違うように思う。  
 ちょっと目に付くのは、女性の格好をした男性や、男性の格好をした女性も少なからず働いている。もちろん、明らかに歩くカミングアウト状態のお仲間もちらほら見かける。  
 不思議なことに、おなべは別として、おかまグループは、かなりの高い確率で女性と行動を共にしている。  
 タイで、ゲイが多いことは理解しているし、夜の仕事以外にも、サービス業を中心として、多業種で仕事を持っているというのは、日本とは大きな違いだと思う。  
 差別があるか無いかと言えば、タイでも絶対的に差別はあると思う。  
 しかし、それでもオフィスをはじめ、色々な所で、活躍できるのは、仕事の内容（仕事ができるかどうか）重要であり、セクシャリティーは、2の次であるという考えもあるのかもしれない。  
 逆に、他人がどうであれ、自分に害が無い限り、無関心なのかもしれない。  
 しかし、何となく感じるのは、絶対的に平等ではなく、不利な立場であるという感じはする。  
 他の人と同じレベルの仕事、又は、それ以下だと、やっぱりオカマだから・・・って言われていそうな気はする。  
 いずれにしても、堂々とオフィスビルを歩く姿は、格好いいし、自分は日系社会にいたので、もちろんカミングアウトする気は無いが、心の片隅で、応援したいと思っている。

---



## タハーンの衛生状態

2004,6,7



先週に続いて、ダムさんに面会してきた。  
 異常に、真っ黒になり、不潔さの為、肌もボロボロの状態だった。  
 シャワーの時間も限られた時間で、よく洗えていないようだ。  
 罰として、シャワーの水を抜かれて、シャワーが使えない事もあるようである。  
 しかも、洗濯も十分にしていなく、非常に不衛生な状況のようである。  
 ちなみに、日本語でいうインキンも、ほぼ100%全員というのもうなづける。  
 昨夜も、脱走した人間3人のうち、1人が帰ってきたということで、連帯責任として、一晩中、全員が走らされていたようである。  
 前にも、書いたが、ここまでやらせて、給料は2千バーツ台、しかも、その中から、制服や必要なものを買わされて、最初の2ヶ月は、全額引かれて、給料なし。  
 3ヶ月に缶詰の研修を終えて無事に帰宅する為の洋服（街中で、かっこいい制服着ているのをよく見かけます。）を、さらに1000バーツで強制購入。  
 日本人の自分からすると、不思議で仕方ないような気がするが、タイ人は、このようなシステムは当たり前のようなものである。  
 気候的な事を考えても食事とか衛生等の、最低の基準は守らなければいけないはずだが、ただ単に、我慢と忍耐を教えているようである。  
 この国に来てから、人権という言葉の無さを時々感じるが、まさに、人権無視とは、このことであろうと思う。  
 自分だけが、サバライな生活をしているようで、非常に不公平さを感じるような気もするが、ダムさんが戻って着たときは、甘やかしてしまいそうである。

---



## 階級社会

2004,6,4



この国の分業制度と学歴主義、もっと言えば階級社会をひしひしと感じる。  
 日本と圧倒的に違うのは、勉強してきたことと、仕事の内容が一致するかしないかということだろう。  
 日本で就職活動をする際に、「学部・学科を問わず」という募集広告をよく目にした。  
 日本では、学校は、あくまで基礎的知識の習得の場と考え、実際の社会と、本の中での勉強は違うと思っ  
 ているのではないだろうか？  
 逆に、どんなに優秀な大学を出ても、仕事ができることと、勉強ができることは、かなり違いがあるいう  
 意識が浸透しているのではないだろうか？  
 特に、バブルがはじけて平成不況と呼ばれる時代になってからは、学歴主義から能力主義へ・・・とい  
 う言葉も耳にした。  
 タイの場合、まさに、学歴主義である。  
 学校で、勉強したことは、そのまま仕事の内容に直結することは、当たり前のことである。  
 だから、どんな学校を出たか、何を勉強してきたか、さらに、どんな研修を受けたことがあるかが、非常  
 に大切のようである。  
 それによって、能力が評価され、評価 = 収入に反映されるのである。  
 雇われる方も、厳しい評価を受けるが、逆に、自分の能力と会社からもらえる見返り（月収）との釣り合  
 いが納得いかなければ、すぐに別の場所へと移っていく。  
 日本的な考えが、全く通用しない常識の中に、入って戸惑い、模索している状態と言えるだろう。  
 但し、非常に守備範囲が狭いという気がして仕方がないが、これがタイの社会のようである。  
 分業をひしひしと感じるのは、こういう専門の職員を雇わなければ・・・という話が次々とでてくるの  
 である。  
 コンピューター専門の職員、安全衛生の知識を持った職員等・・・  
 そういえば、前の職場にも、コンピューター専門の職員がいたし、コピーとファックス専用のお姉ちゃん  
 も勤務していた。  
 最近驚いたのは、現在働いているオフィスビルに、ドアガールがいるが、全員大卒である。  
 ドアの前に、ポケーっと1日立っているとしか思えないが、外国人が多く働くから、英語ができないとい  
 けない = 大卒らしい。  
 インフォメーションならまだしも、ドアガールに、質問している人は、少なくとも自分は見たことがない  
 のだが・・・  
 タイ式ワークシェアリングとってしまうのは、自分だけだろうか？  
 ちなみに、もう1つひしひしと感じるのは、階級社会である。  
 タイ人の間の月給を考えても、今回採用した職員・・・一般の作業員と、マネージャー候補の給与格差  
 は、3倍から5倍。（日本人は除く）  
 法で定めてある社会保険は、収入の5%と法律で決まっているので、ある意味公平だが、社会保険とは別  
 に加入する民間の保険も、職員のポジションによって違うのである。  
 職員のポジションによって、加入保険の種類が違う・・・明らかに、あんたの命の値段とこの人の命の  
 値段は違うんだよーって言っているのである。  
 差別というか、区別というかはその人の感じ方だろうが、少なくとも、タイ人は、ごくごく当たり前の事  
 のようだ。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





## tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

## 更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

## 7月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

## 最後の面会

2004,7,25

本日、最後のダムさんの面会。  
 疲れているあっきーに無理やりお願いして連れて行ってもらった。  
 正直、前回の1週間の休みの時が最後だと思っていたが、日本行きが遅れるというアクシデントがあった  
 為、最後に顔を見られた・・・というのが本当のところ。  
 最初の2ヶ月の練習期間と違って、サバァイな生活のようだ。  
 また、太った・・・という報告。  
 肉類を食べていないんじゃないかって心配になって買っていった肉も、ダムさんじゃなく、買って行った  
 方が食べちゃうという状況。  
 これで、安心して、日本へ出発できるということか。  
 まあ、良かったと思う。

## 運氣低下

2004,7,24

今までの人生の中で、運気とか運勢とかってあんまり考えたことがなかった。  
ところが、最近、運気とか運勢が悪いんじゃないかなーってふと感じることが多い。  
とても、くだらないことだが、あまりにも変なことが良く起きるのである。

ホテルで洗濯物（Yシャツ）を出したら、自分のではないYシャツが返却されてきた。  
些細な事ではあるが、日本で買った自分にピッタリ合ったYシャツだった為、お金では変えられない惜しい気持ちでいっぱいである。  
文句を言っても戻っては来ない・・・だから、文句も言わずに、外のクリーニング屋に出した。

そしたら、明らかに、Yシャツの数が減っている。  
引換券を出して、確認せずにもらってきたのがその原因であるのは明白である。  
Yシャツなんぞ、外で無くすとは考えられず、掃除のおばさんが泥棒したのか、クリーニング（まとめて出している）時に、返却数不足だったしか原因は考えられない。  
そうじのおばさんが、タンスの中のYシャツを持っていくとは考えられず、クリーニングの際の数量返却ミスと考えるのが妥当であろう。  
運勢の悪さを感じる。  
今まで、ダムさんがアイロンかけ等をやってくれていたので、外のクリーニング屋に出すことがなかった。  
後で、友人に聞いたら、返却間違い、数量ミスは、よくあることらしい。

先日、証明写真を撮って、翌日取りに行ったら、昨日お金を払ったにも関わらず、お金を受け取っていないと言う。  
確かに、係員が前日と変わっていたが、呆れたという言葉以外ない。  
最後は、名刺とホテルのカードキーを見せ、前日の職員に確かめてくれ。本当に払っていないと言うのなら、警察に訴えてくれてもいい・・・と言って、話をまとめた。

本日、38パーツの買い物をセブンイレブンでした。  
50パーツを出したら、何故か2パーツ持ってるか？と聞かれ、不思議に思いながらも2パーツを渡したら、10パーツのおつりをくれた。  
えっ？って顔して、52パーツ渡したじゃん・・・と聞いて、52 - 38は？って聞いたら、10パーツだと言って店員も譲らない。  
計算機持ってきてもらって、計算を見せても納得しない・・・疲れるなーと思いながらも、他の店員に変わってもらって解決。  
なんか疲れる。

タイ在住、もうすぐ3年になるが、今まで経験していない妙な事が次々に起こるのである。  
写真の話は、たかが200パーツの事だし、セブンイレブンの話は、たかが4パーツの出来事。そんな金、どうでも良いけど、面倒くさいことが多いし、明らかに間違えていることはきちんと正したいと思う。

気分転換にと思って、行け・行けの子と映画に行った。  
その子のリクエストに答えて、洋画を見た。  
どういう訳か、左隣は白人カップルで右隣は黒人カップル。  
しかも、黒人の方の男が、座った瞬間に異臭を漂わせていることが分かる人物だった。  
さらに、香水とミックスされていて、拷問のような2時間。  
左の白人は、バケツに入ったポップコーンを食べていた（これは、全く関係ない話であるが）・・・飛行機で、異臭のするデブ・ファランが座るよりもましだったとは言える程度の事。

バスに乗っても、精神異常者と乗り合わせてしまう。  
空いているからラッキーと思ったら、バスの中で、男が、大声で叫んでいる。  
これじゃあ、人もすぐ降りるよなーって。  
数パーツの料金で、殺されてもかなわない。  
どうも、タイミングが悪いと思ってします。  
何をしても悪循環というか、妙なことが起こる。  
交通事故に気をつけなければ・・・とすら思う。

あっきー曰く、運が悪いというか、住んでる場所が悪いんじゃないって・・・確かに、この場所、居心地の悪さを感じる。

どうも、金持ちの生活は合わないような性分らしい。

早く、目的地で住みたいものである。



## 日本行き

2004,7,23



日本行きの日程が決まった。

正直、登校拒否時の感覚。

行きたくない・・・何故か、理由は分からない。

もちろん、1週間程度の期間であれば、帰りたいと思う。

しかし、2ヶ月と言われると・・・

何故か、日本に行くと、我慢しなければいけないことが多いような気がして仕方がない。

物欲・性欲・食欲・・・どれをとっても我慢しなければ行けない気がして仕方がない。

人間関係も面倒くさそうだし・・・日本人が、日本式にやろうと思っても、タイ人との考え方の違いがあるのも予想に容易い事だし・・・

登校拒否時の気持ちである。

だって、タイの生活は、サバァイなんだもん。



## まとめた日記

2004,7,17



本日7月17日。

何故か、まだタイに居る。

当初の予定が、6月中旬出発だったおことを考えると、今、タイにいるのが不思議な状況。

本当に久しぶりに5日分の日記を書いた。

7月10日から14日までの分は、本日書いたものである。

ざっと読み返すと、全部が不平・不満ばかりである・・・何故じゃー。

ダムさんがいない、ホテル暮らしである、等が重なっており、ストレスを感じているのが自分でも良く分かる文となってしまった(笑)



## 外から見た日本

2004,7,14



日本の選挙の様子を外国から見ていると、違った見方ができるかもしれない。

一応、NHKが見れる状況にあるので、なんとなくNHKを見てしまう。

タイ語放送は、一生懸命耳を傾けて聴かなければ聞き取れないということから、娯楽としては適さないからである。

年金問題、多国籍軍派遣問題・・・選挙の焦点だったようだ。

子供が少なくなり、経済成長が伸び悩む中、給付と負担の関係を考えなければならぬのは良く分かる。

しかし、日本って本当に不思議な国である。

例えば、バンコクのスラムで大きな火事が起こった。

日本政府は、莫大な援助をした。

タイの総理大臣は、外国からの援助はいらないという。

途上国は、脱したというのである。

事実、近隣諸国に援助をする国力の国になっている。

街には、ベントツをはじめ、新車で埋まっている。

人道支援とはいえ、日本は、莫大な援助をした。

その他にも、円借款で建設した橋や地下鉄がタイにはいっぱいある。

日本はといえば、莫大な財政赤字を続け、年金の給付引き下げや福祉低下が議論されている。

自分が借金をして、別に生活に不自由していない人に、無理やりお金をあげている。

もらった人は、そのお金で、他の人に、食事をご馳走している。

そして、借金をして、お金を渡している人の家族は、何も文句を言わず、その借金の返済の為、生活を切り詰めている。誰も、正面きって、そんなこと止めるーって言わない。

参議院選挙を外国から見ていて、ふとそう感じた。

-



## 外国人最低賃金と所得税

2004,7,13



日本人の最低賃金が、7月10日より、6万バーツに跳ね上がった。

以前の4万バーツから一気に6万バーツにまで上がったのである。

去年だったかな？ビザ手数料が一気に3倍に上がったり、外国人からお金を取ろうという政府の姿勢は顕著である。

ちなみに、以前からそうだったが、外国人の最低賃金というのは、守られていない場合が多い。

国によって違うが、最高ランクの日本人（6万バーツ）から最低ラインのカンボジア人、ラオス人などの2万バーツということを見ると、現実とはかけ離れている金額だと思う。

ちなみに、自分が思う限り、現地採用の平均の月給の相場は、3万バーツから4万バーツであると思う。

まあ、6万バーツという意味は、外国人を雇った場合、6万バーツ分の税金を支払いなさいという意味らしく、税務署に出す書類（ローポー01？）という書類上に6万バーツの給料で記載すれば、何の問題もないらしい。

で、問題は、この国の所得税課税の状況である。

低所得者の0%は、理解できるとしても、累進課税で、5%、10%、20%というか税率になるのである。

所得税の詳細な書類は、オフィスに置いてきてあるので、正しくは書けないが、税金も一気にドカーンと増えるのである。

タイに住まわせていただいているのだから、外国人だから、文句言わずに払いなさいという意見も出てこよう。

しかし、僕が言いたいのは、税金課税対象者のラインである。

控除を含めると、タイでは、14000バーツ～15000バーツぐらいの月給の人たちまでは、所得税を支払っていない。

大卒の初任給が10000バーツに届かない場合が多い事を考えると、この所得税免税のラインはどうも納得いかない。

大学を立派に出て、働き始めたとしても、所得税は、0バーツなのである。

1万バーツの給与所得の人から、何千バーツも税金を取れるわけがないのは分かる。

外国人から取るのが、一番簡単で、効率的なのかもしれない。

しかし、どうも・・・・・・・・・・・・・・・・ねー

-



## 白人とアジア人

2004,7,12



白人と日本人（アジア人）では、サービスが違う・・・友人から、この言葉をよく聞く。同じ料金を取ってる割には、サービスが違う・・・というのがぼやきの根源である。しかし、自分で実感するには、至らなかった。白人嫌いな自分にとっては、極力、白人のいる場所には、本能的に極力近づかないし、興味がないから、じっくり見ていなかったというのが、本当のところかもしれない。しかし、最近、友人の言う言葉を実感する。ホテルなんかの朝食が良い例である。白人が来ると、席にご案内し、すぐにコーヒーが出てくる。アジア人が行くと、席の案内がないばかりか、ほとんど無視状態。嫌味で、自分でコーヒーを注いだりすると、さすがに飛んできたりするが、明らかにサービスが違う。基本的に、自分は、サービスがいらないと思っている主義である。日本に居たときも、高いレストランが嫌いだった。コース料理なんて注文すると、次の料理を作り始めるタイミングを計っているためか、ジーっと見られているような気がして不快なのだ。飲み屋に行って、タバコの火をつけられるのも嫌いだった。自分で火をつけた方が、吸うタイミング等を考えても、気楽なのだ。しかし、あからさまに差別的な対応を取られると良い気持ちがするはずがない。ちなみに、現在のホテル・・・3万バーツを超える料金。しかし、出した洗濯物は間違っ返却される。会社で使えない領収書（会社の住所の間違い等）で、何かと気を使わない場合が多すぎる。基本的に、タイ国では、お金を支払った後に、サービスはないことは知っている。しかし、領収書の訂正ぐらいは、早急にして欲しいのである。引継ぎもないから、担当者が違えば、何のことも伝わっていない。何年待てば良いのか？と少々語気を荒げないと、進んでいかない。なんか、今の生活は疲れる。早く、日本から帰って、ホテル暮らしから開放されたいとつくづく思う。



## ダムさんとの1週間

2004,7,11



ダムさんが1週間の自由時間を得た。久しぶりの外での再開の1週間。おかげで、2キロ痩せた・・・というのは、ダムさんは夜型で遊びまわる・・・昼間は、ホテルでぐっすり・・・という生活。自分は、昼は仕事、夜は遊びのお付き合いの為、極端に睡眠不足の毎日。ダイエットしたい人は、食欲を抑えるより、睡眠時間を抑えた方が効果的かも？って感じ。まあ、身体に良いわけではないんでしょうがね。正直、やっぱりダムさんと一緒にいるとホッとすると安心する。何故だか不思議であるが、2年近く一緒に住んでいるというのは、すごい事なのかもしれない。早く、元の生活に戻れるように、時間の経過を待つだけなのかもしれない。驚いたことに、2ヶ月間、軍隊に監禁されて、出てきたときに渡された金額は、30バーツだった。制服代、バス代（5月1日に入隊したときと帰りのバス代）等を引かれての金額らしい。日本人である自分にとっては、信じられない待遇である。思わず、誰も文句を言う奴はいないのか？って聞いたら、お金よりも、とにかく、みんな家に帰りたかった・・・との答え。彼の気持ちが伝わった一言だった。それにしても、ダムさんは、1週間、よく遊んだ。友人で一週間、会社を休んだ奴もいて、いくらなんでもやりすぎなんじゃないかなーって思ったけど、短い期間だし、最大限息抜きができるように努力した自分である。甘いなーって思いながらも・・・これで、本当にしばらく会えなくなってしまう。今度は、自分が日本に行くからである。別れ際は、正直つらかった。

ダムさんも辛かったと思うが、自分も寂しさで押しつぶされそうだった。

海外在住者は、寂しがり屋は、向いていない。

一人の自由な時間が好きな人間が適している・・・という人もいるが、そういう意味では、自分は海外在住、不向きな人間なのかもしれない。

ダムさんがいない間、さみしさ埋め合わせ料が、かなりかかってしまった。

しかし、行け・行けの子では、埋め合わせられないということも十分に実感した2ヶ月であった。

強くなったのか、寂しさに慣れたのかは分からないが、ダムさんを再び軍に見送ってからは、さみしさ埋め合わせ料は、めっきり少なくなった(笑)

## 地下鉄

2004,7,10 

タイの地下鉄が完成した。

8月12日の本格オープンに向けて、プロモーション期間となっており、全区間10パーツ均一という格安料金で運行している。

いつ日本に行くか分からない状況で毎日を送っており、タイに戻ったら地方勤務となる自分にとって、これは、乗車しておかなければ・・・と思い、開通2日目に乗車。

なんとなく1日目は、避けてしまったのだが・・・

正式な券(切符)というか、プラスチックのおもちゃのお金にしか見えない乗車券？

なんとも不思議である。

さすがは、日本の会社が建設したただかあって、日本と同じような造り。

日本以外で、地下鉄に乗ったのは初めてだが、なんか不思議な感じ。

2日目ということもあり、車内は大混雑・・・車内は、BTSと全く同じような作りでした。

大混雑していた為か、乗客の乗り降りに時間がかかった為か、先に進むにつれて停車時間が延びる・延びる。

なんともタイらしい地下鉄だった。

一番困ったのは、次の駅でどちらのドアが開くかが全く分からないこと。

タイ語と英語のアナウンスに耳を傾けていたが、自分の聞き取った限りでは、どちらのドアが開きますというアナウンスがなく、ホームが見えてから、急いで人ごみをかき分けてそちらのドアに移動するという状況。

1回乗ったからいいやーって感じ。

都会化するバンコクを後にし、日本・・・そして地方へと移るのである。

### [【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ](#)

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





## tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

## 更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

## 8月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

## 盆休みのため、日記

2004,8,13



日本へ着いたのが、先月末。  
丁度、半月経過の日本生活。

ほとんど、外人状態の自分です。  
高速道路の料金所で、金払わずに、ETCシステム?とかで、さらっと通過したのを見てビックリ。  
ニュースステーション見ようと思ったら、久米宏じゃなく、古館にキャスターが交代していてビックリ。  
友人の持っている携帯にビックリ。  
そんな、驚きだらけの日本生活。

何が不自由かと言えば、見知らぬ土地の為、未だに土地勘(方向)が分からないこと。  
車があっても自由に動けん。  
会社でしかネットできないこと。  
HP用の日記の更新などありえない状況。  
携帯がないので、連絡が取りづらいこと。  
信号がやたらに多いのと、日本人は安全運転をしすぎて、日本式に運転すると、本当にストレスがたまる。

あげれば(文句を言えば)きりが無い状況です。  
早く帰りたい・・・と、会う友人すべてに言い続けているのである。

日本に30年以上も住んでいたはずだし、日本人なんだけど、なんでこんなに、居心地が悪いのか不思議で仕方が無い。

---

**【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ**

---

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)

---





## tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

## 更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

## 9月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		



## 一時帰国

2004,9,17



やっとという言葉が正しいであろう。  
 タイに一時帰国する日が近づいてきた。  
 日本の生活、何が不便かって、ネットが使えない事、友人と連絡が取りづらいこと、地理が分からないので、行動範囲が制限されることである。  
 最近、もう1つ実感するのは、街自体が狭いこと。  
 日曜日に食事に行くと、必ず職場の誰かと遭遇してしまう。  
 休みの日に、寝巻き同然の格好で外出して、職場の人とは会いたくないものである。  
 何年か仕事をして、良く知った人であれば、「あはは・・・休みはこんな格好なんだー。」って笑って過ごせるものの、短期間の日本出張で、お客扱いの身としては、職場の人間として顔は分かるけれども、会話を交わしたことも無い・・・という状態の人であれば、なおさらバツが悪いという感じである。  
 タイへの出張、1週間程度であるが、息抜き期間としては丁度良いであろう。  
 多分、やらなければいけないことは、山のようにあるのだろうが、今回は、適度に遊んでくるつもりである。

ちなみに、嘘のような本当の話であるが、日本出張の前夜まで、エンジン全開で遊んでいたのである。どこで何があるか分からないからって・・・潤滑油も準備していたんだけど、日本に来る前に使っちゃった-----って話もあるほど。

で、現実とはいえば、潤滑油なんて、かばんの中に眠ったままで、一度も開けてないのである。いかに、日本が自分にとって、不便であるかを実感する。  
 タイに行ってから、日本人と夜を共にしていない・・・という自慢にもならないネタを現地在住者の間でよく話す。  
 自分も例外ではなく、タイに行ってから3年・・・日本人とは夜を共にしていない。  
 冗談で、「3年ぶりに、日本人とできるかも・・・」という淡い期待は、今のところ実現されそうもない。

携帯電話や、インターネット環境が整ってれば、そんなこともできたかもしれない。  
しかし、現実は・・・・・・である。  
時間と労力とお金を使ってまで、探そうと思わないというのが、本音かも。

## 通訳として

2004,9,16



タイ語で伝える場合、絶対に、心がけていることがある。  
英語で言えば、he say that・・・・を入れることである。  
彼が言っているのは・・・・と付けることである。  
何故かと言えば、先日、労働争議が起こったのである。  
今、日本に来ているタイ人スタッフが、タイに帰ったら、賃金を上げろという文章を皆で提出してきたのである。  
日本に来て、研修をして、技術を身につけたのだから、賃金を上げろという主張である。  
会社のお金で研修をして、しかも、会社は、1円も売り上げが無い状態（準備段階だから、当たり前）で、しかも、日本への旅費、生活費、おこづかいまで出していて、「何を考えているのか？」というのが自分の意見。  
しかし、金銭闘争は、責任者である社長と、従業員個々の問題なので、全くもって僕が入る権利も無いのである。社長は怒るし、間に立つ立場としては、どうしていいかわからない。だからといっては何だが、自分の逃げ道として　さんが言っているのは・・・・と、必ず一言いうように心がけている。  
で、その賃金アップ要求書の中に、自分の名前が出てきたのである。  
T(自分の事)さんが、面接のときに言ったのは・・・・という文章である。  
正直、啞然・・・・確かに、自分は面接の場にいたが、社長や偉い人の言ったことを伝えているだけである。労働条件の契約書を交わすような場面に、会社の責任者がいないことは考えられないし、その場合、通訳をしていたに過ぎないというのは明白である。  
ただし、当の本人からすれば、「Tが言った」ということになるらしい。  
確かに、間違いではないが、逃げるわけではないが、その言葉は、社長の言葉なのである。

この1件があってから、「タイ人に・・・・って言うておいて」という日本人からの伝言は、すべて受けないことにしている。一応、「分かりました。」と言うが、言わない。  
本人がその場において、言ったことを僕が横で「彼が言っているのは・・・・」という状況でなければ他人の伝言は言わないのである。  
不思議なことに、言葉の壁がある日本人は、僕（通訳者）に向かって話すのである。  
本来の姿で言えば、言葉が分からなくても直接言いたい人に伝えるのが本筋であろう。  
まして、通訳がいるのだから、適切な所で文節を区切り、通訳がそれを追う・・・・という姿でいけば良いわけである。  
慣れていない日本人は、延々と区切らずに話し続けたり、通訳に顔を向けて話したりする。  
これが聞いている人に誤解を与える原因であるということも分かってきた。

つまり、両者に原因があり、誤解が生まれるということだと思ふ。  
変な誤解がないように、防御する・・・・これも、大きな技術であると最近実感している。  
タイで働くなかで、変なことには巻き込まれたくない・・・・というのが、本音であるし、仕事はなるべくしないように・・・・をモットーとし、私生活で有意義な時間を過ごしたいものであるとつくづく思う。

## 上達の程は？

2004,9,15



タイ語恐怖症になりつつある。  
 組織図を見ても、通訳とは一言も書いていないが、いつのまにか本社の人間は、通訳であると思っている。  
 機械の説明書を持ってきて「タイ語に訳して」、研修の資料を持ってきて「タイ語に訳して」はたまた、難しいタイ語の法律が書いてある文章を持ってきて「タイ語から日本語に訳して」・・・状態である。  
 声を大にして言いたいのは、日本語だって、読んだだけでは分かりにくい文章、外国語になんか、直すの大変だよー。僕のタイ語能力は、大したことはないんだよー。  
 研修中に、「ちょっと来て」って言われるのが、一番、嫌・嫌・嫌。  
 難しい話であることは間違えない。  
 金型の修理の通訳、3次元測定器の通訳なんて、できると思う？思っているから呼ぶんだらうけど・・・  
 この前、手紙を訳すという仕事があった。

なーんとな、楽なことか(^^)そうそう、こういう仕事なら、いくらでもするんだけどねー。  
 日常会話と業務上の用語って全く別であることを実感・実感。  
 ダムさんともメールでやり取りをしているが、ダムさんが気を使って難しい単語を使わないという理由もあり、すんなり読めるところがありがたい・ありがたい。  
 本当は、これをチャンスに、単語量が思いっきり増えて、タイ語能力がぐんぐん向上のはずなんだけど、ごまかし能力ばかりが増えて、何となくその場を乗り切る技術ばかりが増えた気もする(笑)  
 本当は、本日出てきた単語を家(ホテル)に帰ってまとめるとか、復習するとかいうことを続けていけば、力にもなるんだらうけど、そんな気力も全くなしで、ビール飲んで、TV見て寝るという生活・・・これじゃあ、いかんよね。



## 日本で老化？

2004,9,14



日本に来て、やたらに老化している自分に気づく。  
 そもそも、20歳を過ぎれば、成長は止まるので、20歳以降は、徐々に老化していくと考えられなくもない。  
 タイに住んでいると、毎日が楽しいからなのか？若い子を食しているからか？年齢を感じることは、あまり無かった。  
 それでも、ディスコで踊ってられるのも時間的な限界があるし、深酒した翌日に動けない等のことは、感じていたが、それと老化とは関連づける程のものではなかった気がする。

最近、老化を感じて「ドキッ」とすること・・・白髪を大量？に見つけた時である。  
 20代後半のころに、初めて白髪を見つけた時は、すごくショッキングであった。  
 しかし、1本、2本であれば、「間違えて生えてきちゃった可愛い毛。」で済まされなくは無い。  
 しかし、あっちにもこっちにも見つけると、「ヤバイかも」って思ってしまうのである。  
 もっとショッキングなことは、鼻毛の中に、白髪が混じっていたことである(笑)  
 くだらないことかもしれないが、異常にショッキングであった。(日本生活中に発見したのは、単なる偶然かもしれないが・・・)  
 もうひとつ、確実にショックなのが、早朝に目が覚めるということである。  
 目覚ましがなくても、起きなければいけない時間の30分前に起きてしまうのである。  
 「年寄りな、早起きである。」という勝手なイメージの中に自分が当てはまってきたというような気がしてしかたないのである。  
 これを書きながら、5月から転職して、バンコクを中心部、日本へと仮住居生活(ホテル暮らし)がはじまり、9月の半ばを過ぎた現在、精神的にも肉体的にも堪えているのかなーと感じてします。  
 タイに移ってから、1ヶ月間、仮住居生活を送らなければいけない自分であるから、生活上で考える自由は、11月下旬のことである。指折り数える自由になる日・・・は、目前であるが・・・まだまだ・・・という気もする。  
 しかし、本当の自由になる日は、ダムさんが軍隊勤務を終える来年の4月かもしれない・・・とふと感じる。

そう考えると、今年は、大変な年だなーとと思わざるを得ない。もちろん、自分の意思で選んだので、文句は言えまい。まあ、半年以上、ホテル生活というのは、ストレスが溜まるのも当たり前でしょうね。最初は、「問題ない。」って思っていたんだけどね。

## 日本人の質問

2004,9,11 

必ず」という言葉が当てはまると思うが、日本で聞かれるのは、「出身県はどこか?」「結婚しているかどうか?」「兄弟は?」・・・である。

未婚であることと長男であるということが分かったら「親は?」と続くのである。

人によっては、「結婚していない」と話すと、「チョンガなの?」という返答が返ってくる場合もある。

個人というより、家族関係を重視する日本文化の象徴なのかもしれない。

友人、同僚の結婚式に出席すると、法律上は、結婚は個人と個人のものでされているにも関わらず、ご両家の・・・という言葉が頻発されて、ふと違和感を感じることも多かったが、日本に来て、「今日は、いい天気ですね。」という挨拶言葉のように上記の質問を浴びせられるのは、非常に不快感を感じてしまうのである。

丁度、30歳を過ぎたころに日本を出発した自分であるが、20代の頃はもちろん未婚であることがそれほど不思議な事でもなく、「結婚しているか?」の質問に対して、違和感も無く「結婚していない。」と答えていたのである。しかし、30歳の半ばを迎えようとしている今では、やはり「ドキッ」する質問なのである。

しかも、「チョンガ」という言葉を聞くと、いかにも差別的な感じを受けるような気がしてならない。日本は、結婚して家庭を持って一人前の人間であるという思想が強く残っているような気がしてならない。タイに住んでいると、日本の常識から遠ざかっているのか?タイでの周りの友人たちが結婚とは無縁の状態にあるからか?分からないが、そのような質問を受ける機会も極端に少ない。(皆無に近い)

そもそも、タイ在住日本人は、一癖も二癖もある場合が多いから、結婚してるかどうかなんて、どうでも良いことなのかもしれない。

タイ在住日本人は、綺麗な言葉で言えば、「個性的」「自分を持っている」とも言えるが、言い方を変えれば、「変わり者」という言葉も当てはまってしまう場合も多い。

個性派揃いの中で生活していれば、自然と「自分は、普通の人間である。」とされていていいのかもしれない。タイで生活している中で、未婚状態であることに違和感を感じたことも無い。しかし、ひとたび日本社会に戻ってくると、「お前は、変わった人間である。」ということ突きつけられている気がしてならない。

これからは、「離婚暦がある」くらいに言ったほうがいいのかなーなんて、馬鹿げたことを思ったりしてしまうのである。

### [【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ](#)

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





## tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

## 更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

## 11月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

## 2ヶ月前の日記 2

2004,11,21



日本に居た3ヶ月間、結局、「日本人男性との3年ぶりのベットイン」には、至らなかった。お盆休みの時に、丁度通り道だった為、新宿2丁目を10分程徘徊？したし、ナンパも試みたが、どうも気が進まずに、帰宅。宿泊先のホテル（民宿）でネットができないため、活動をするチャンスが無かったといえば、それまでである。近くの飲み屋や、発展場を見つける努力もしなかったことも理由であろう。徐々に、深夜の新宿2丁目を徘徊して思ったのは、なんかすごく暗くて、裏世界っぽい感じの場所であること。タイのオープンさは何なのだろう？ってふと感じた。タイの場合、自分が外国人であることも大きな原因かもしれないが、非常にオープンであり、開き直った言い方になるかもしれないが、「ゲイの何処が悪いんじゃー。」という感じがあるような気がする。しかし、日本は、裏でひっそりと・・・というイメージがした。冗談で、「3ヶ月の禁欲」と言ってきたが、まさか、そうなるとも思わなかったし、もっと言えば、「見つける努力もしなかった。」自分が不思議で仕方ないと思ってしまう。性欲に関しては、かなり強い方だと思っていたのだが・・・タイに帰って、爆発するか？どうかは？謎である。ちなみに、日本人に対して、興味が無くなったというのも原因なのかもしれない。特に、白い肌に対しては、拒否的になってきたのかもしれない。確かに、黒い子が好きなのは、自他共に認める事である。でも、別に、白くても可愛ければ、OKなはずである。そう思っていた。しかし、現実には、どうも違うらしい。可愛いと思うのと、現実食うためにアクションを起こすのは別物で、やはり、ある程度の色が無いと、「可愛いけど、別にいいや」って感じになってしまうようである。どうも、この3年の間で、脳みその中の趣味趣向が、そうなってしまったらしい。

 2ヶ月前の日記 12004,11,20 

久々に食べてしまった。  
昔は、あんなに好きだったのに-----。  
それは、こってりラーメンである。  
バンコクには、日系ラーメン店は、数多くあるし、醤油味、味噌味ラーメンは、食べようと思えば、いくらでも食べられる。  
こってりラーメン（豚の背油がたっぷり入ったスープ）は、無いと思う。  
何となく、久々に食べたくくなって注文した。  
目の前に来て、「美味そう-----」って思った。  
しかし、半分食べると、もう要らないって感じ。  
それでも、もったいないからって、完食。  
その後、2時間は、胃がムカムカ.....ムカムカ.....。  
味覚が変わったのか？年を取ったのかは不明。  
日本に帰って、食べられないもの、食べたくないものが、次々と出現。

 1ヶ月前の日記 12004,11,18 

車購入の予約をして日本へ帰国した。  
日本に住んでいた頃も、車に乗っていたが、実に3年振りの車のある生活である。  
丁度、いい感じに、日本滞在中の3ヶ月に、会社から社用車を借りていたので、運転の感覚をつかむ練習ができたのである。  
バンコクに住むのであれば、車購入という選択肢はなかったかもしれない。  
運転マナー、渋滞等を考えれば、移動の手段としての有効なものとは思えない。  
バスも、便利に一晩中動いているしね。  
何と言っても激安でしょ。シーロムからラムのディスコに行くのに、5パーツで行っちゃうんですから。  
ただ、田舎生活となれば、車は必需品なのである。  
もちろん、会社の車はある。  
しかし、通勤に日本人スタッフと毎日一緒なんて、考えただけでも頭痛がしそうでである。  
駐在員の人たちと、同じ場所に住み、毎日、同じ車で通勤なんて、考えただけでもゾットしてしまう。通勤が同じ=夕食も一緒にして事でしょ。  
まさに監禁生活と言わざるえない。  
例え、どんなにいい人たちでも、それなりの距離を置いてお付き合いしたいものである。  
車購入の目的は、そんなところにある。  
ある程度、お金を貯めようと思えば、会社の車を使って通勤し、会社の言いなりの場所に住居を構えるのも1つの選択肢である。  
しかし、気を使ったり、我慢する生活は、うんざりなのである。  
そんな生活をするくらいなら、日本に帰った方が、数十倍良いような気がする。  
だから、大金を投入して、車の購入を決めた。  
車を購入することは、通勤の自由と住居の自由を意味するのである。  
まあ、それだけのお金を持ち合わせえいたというのも良かったのかもしれない。  
自分の場合、経済的に切迫して働き始めたわけではなく、余裕を持って働き始めたことが、今になって良かったとも言えると思う。  
正直、日本で生活していた頃の車といえば、まさに足であり、中古で安いものばかりであった。しかし、今回は、生まれて初めて新車購入である。  
タイの車市場は、不思議なのである。  
中古でも車は、高価なものである。  
中古車と言え、日本で、5年も乗れば、鼻くそほどの値段にしかならないかもしれないが、タイでは、高価な値段で売買されている。

中古車を、そんな高い値段で買うのなら、新車の方が、良いじゃん・・・って思ったわけです。車購入に関して、一番興奮しているのは、もちろんダムさんである。車に乗って田舎に帰るのを、何よりの楽しみにしている。わざわざ車を運転して帰らなくても、バスで帰ったほうが、安いし、楽だと思うのだけどね。で、結局、僕は車の事は詳しくないので、ダムさん任せでプロモーション等を選んでもらった。自分が主張したのは、CDが付いていることと、オートマチック車であることのみ。それでも、何故か今からソワソワしているのである。



## 1ヶ月前の日記2

2004,11,17



タイ滞在の2週間はあっという間だった。ダムさんとは、ずっと一緒だったが、なにせ、僕が忙しかったので、ほとんど一緒の時間は無かった。ホテルには一緒に居たが、帰宅は12時近くで、帰って寝るだけの生活。彼にとっては不満だったに違いない。事実、僕の友人たちと毎晩遊びながら、「てつは、時間がない。」「仕事が趣味だ。」とこぼしていたようである。自分だって、5時にさっと仕事を終え、帰りたいと思っている。しかし、今回は、本社の人間と出張である。朝は、ホテルで一緒に食事をし、昼は会社で、夜も食事にお付き合い。会社とは、そんなものである。唯一、「土日は出かけて来ます。」と言い切るのが精一杯である。夕食だって、飯だけならまだしも、マッサージや夜のタニヤと、自分自身もうんざりである。日本じゃ、よぼよぼで爺さん化している人が、タイに来ると全開になるのである。タイとは、そんな国なのかもしれない。

そんな事は理解できないダムさんは、文句、愚痴の嵐であった。ダムさんの友人たちも、それぞれの旅立ちをしており、特に平日は、忙しいようで、僕の友人の日本人と出かけることも多かったようである。僕が日本に行っている間も、随分と色々な人たちにお世話になっていたようである。正直、すごく嬉しいことである。日本人とタイ人という国籍の違いもあるし、ましてや僕を通しての友人であったとしても、ダムさんとその日本人の友人が会って飯を食ったりしている事は、何故か嬉しい。ダムさんと年の近いK君なんかは、僕と会うより、ダムさんと会っている回数の方がかなり多いと思う。僕と付き合っ、ダムさんは、人間関係の幅も広がったんだろうな。。。って思うし、そんな中で、大人になって行ってほしいと父親の気持ちになっている感じである。我がままだし、子供だし。。。って思うけど、身の回りのことをすべてやってくれるダムさんに感謝し、今は、仕事中心の生活を送っているが、それほどストレスも溜め込まずにいられるのも、ダムさんのお陰だとふと感じた。また、言葉は適切ではないかもしれないが、僕が日本に行っている間も、ダムさんの子守をしてくれている友人に感謝している。そんな周りの支えがあるから、離れていても続いているのかもしれないとふと思った。感謝。



## 1ヶ月前の日記3

2004,11,16



タイ帰国を目前にして、買い物ラッシュが続いている。  
 こんなに荷物が入るかなーとと思いながら、買い物しまくり、買い替えラッシュである。  
 もちろん、自分用の品物であるため、日本で購入するもの = 安いものか、品質の良いもの、タイより安いものと考えてOKであろう。

靴・・・これは、日本のほうが安いと思う。東京 流通センターに何気なく寄ってみたら、その安さに驚き。店内の商品は、それなりの値段だが、店外の客寄せ商品は驚くほど安いと思う。だから、新しい靴を購入し、古い靴は捨てていく作戦をとった。買い替えならば、荷物も増えないのである。

形状記憶Yシャツ・・・これは、タイでは無いような気がする。アイロン文化タイランドでは、不要なものかも知れない。ダムさんが、いつもアイロンをびしょとかけてくれるので、自分にとっても必要ないかもしれないが、何となく購入の品物である。

書籍・・・これは、非常に迷うものである。だって重いんだもん。できるだけ購入したくないものである。しかし、当然のごとく、タイで購入するのも大変だし、つつい大量購入。バンコクならまだしも、地方に行けば、ますます貴重なものとなってしまいうため、無理しても買ってしまったのである。20キロ以内に荷物が収まるのか不安。

CD・・・日本は、高いですね。1枚3千円なり。タイで買えば、100パーツちょっとの品物。

実は、ダムさんが、変なお土産を頼むんです。「北酒場」(細川たかし)「あの日に帰りたい」(荒井由美)のCDを買ってきて欲しいというリクエストがあったんです。「あの日に帰りたい」は、前から好きだったので理解はできるが、「北酒場」は何処で知ったのか? 覚えたか? は不明。

随分と古い曲だし、探すのが大変なんだろうなーとと思ったけど、両方ともあっさりゲット。

その他、100円ショップにて、小物を次々購入。

大量の荷物に、パッキングする気持ちもナッシング。

20キロ以内に収まるかが不安。



## 1ヶ月前の日記4

2004,11,15



タイでずっと暮らしたいとつくづく感じる。

日本に3ヶ月居て、さらにその気持ちが強まった。

正直な気持ちとしては、仕事がほどほどで、ダムさんと一緒に生活し、ばれない程度に、ダムさんとの関係を壊さない程度にほどほどの浮気をし、若くて黒い子を食べる。月に1回ぐらいは、ダムさんとダイビングでもする。

こんな生活で十分であると思う。

ただ、タイにずっと永く住みたいと思えば、自分もコンドミニアムを購入したいと思う。

自分も・・・という意味は、何故かと言えば、友人のあっきーがコンドミニアムを購入したのである。

日本に行く前は、コンクリートの何も無い部屋だったが、内装も完成したとあって、ダムさんと新居にお邪魔したのである。

すごいと思った。日本のマンションなんて・・・って思わずにはいられない。

スライダープール、フィットネス、サウナ、が地内にあり、まさに、ゆとりの住居。

自分のコンドミニアムの敷地内を歩くだけで、散歩コースである。

物価の違いがどうであれ、中味が重要であると思う。

少なくとも、日本より快適な生活である。

タイで仕事をして、そんな生活を手に入れた彼は、本当にすごいと思う。

腰掛ではなく、タイで生活しようって気持ちも伝わる。

確かに、タイの生活に疑問を持っている友人もいる。

日本を飛び出してタイに来たときの薔薇色の気持ちと、タイ社会の矛盾との壁で悩んでいる人もいる。

ただ、大事なものは、自分にとって過ごしやすい場所かどうかであり、あまり深く考えすぎないことなのではないかと思う。

究極を求めたらきりが無いし、この辺で良いかなーって思って、妥協することも大切なのもかもしれないとふと思った。

タイに来るとき、「年取ったらどうするの?」「安い給料で、みじめな生活するの?」って言葉が最も多かった言葉である。

事実、才能も、特殊技能も無い自分は、先の事を考えて不安だらけであった。

しかし、がんばれば、日本で働いている以上に、楽しい生活とそれ以外にも優雅な暮らしが可能なのである。それを証明してくれたのが、あっきーである。

あっきーと言えば、遊び友達であり、相談相手であり、価値観を共有できる大事な、大事な友人である。あっきーがコンドミニアムを購入したことは、自分にとって刺激となるものである。

別に、競い合う気持ちは無いが、良い見本であり、自分もこうしたいと思う。

特に節約することもなく、本能のままに生活し、それで、このコンドミニアムが手に入るのであれば、やっぱタイが良いと思う。

人間、目標や目的を持つことは大切であると思うし、自分もこうなりたい、こうしたいと思うのは、刺激になって良いことだと思う。

うまく伝わらないかもしれないが、タイに来て3年経って、ぼんやりではあるが、やっと将来像が見えてきたような気もする。

車の次は、家・・・物欲は底知れない。

物欲というよりも、快適生活の追及ということなのかもしれない。

最後に、公共のネットを使って言うことではないが、彼には、心から「おめでとう。」と言わせてください。本当は、新居にプレゼントの品を送りたいけど、、好みがあるので、新居のプレゼントは無くてもごめん。

## 少しずつ向上

2004,11,14



少しずつ、生活環境が整いつつある。

まずは、車と男が最優先であると思っていたが、車も落ち着き、男に関しては、毎日、スニーに出勤し、皆勤賞ものである。

しかし、1週間も通うと、さすがにあきるものである。

安心を買いたいなら、迷わず、ボーイズタウンに直行すべきで、ちょっと飽きた人、若い子が好きな人は、迷わずスニーに行くべきであると思う。

店の子を連れ出すのは、スニーでも安心の遊びで、その辺をうろうろしている餓鬼を捕まえたら、口臭がシンナーの香りに包まれている危険な遊び。

最近はお気に入りの子ができたので、その子とばかり遊んでいる。

もちろん、年の差を考えても、付き合おうとは思わないが、いい遊び相手(夜の相手?)である。でも、店の子だから、毎日是指名できない。

何のために働いているのか分からなくなってしまうから(笑)

馬鹿な遊びばかりしていないで、生活環境を整えようと思い、ジムを探した。

最初に近所のドシッターホテルに行き、フィットネス会員はいくらか聞いたら、月に4千バーツと言われ、即座に退散。

仕方なく、ボーイズタウンの1回150バーツのジムサウナに行ったら、土日の2日とも、爺ファランしかいなくて、おまけに、けつまで触られてしまい、二度と行くもんかー状態。

もっと近所に、メンズマッサージを見つけたので、たむろしてる兄ちゃんに、この辺にフィットネスはあるか聞いたら、この建物の後ろにあると教えてくれて、月会費が600バーツと聞いて、即決に通うことに決定。

だって、今更、運動選手になるわけでもないし、老化防止、ボケ防止程度。

設備にこだわらないで、軽く汗を流せばいいのじゃ。

## パタヤ生活の始まり

2004,11,10



10月22日よりタイに戻ってきております。

仕事の事や私生活の事で、ばたばたしており、毎日があっという間というか、充実しているという感じでしょうか？

車を購入して、朝夕のドライブ通勤をしておりますが、改めてタイのマナーの悪さ、無法状態に驚きつつ、運転をしています。

バンコクの運転を見てきて、田舎道ならOKと思いきや、田舎に行くとますます無法地帯であることを実感です。

逆走は当たり前、朝のパタヤは飲み帰りが多くて、信号無視も当たり前、途中の信号は、信号機が故障しており、何分待っても青にならず。

運悪く、先頭にいたんだけど、右折できなくて、後ろからブブーって鳴らされたって、こちらは恐怖におののくばかり。

道は、穴ぼこだらけだし、バイクの3人乗り軍団を避けながら・・・の運転。

仕方なく、朝は早めに外出し、職場近くの市場でゆっくりと朝食を食べる生活。

ダムさんは、軍を1ヶ月抜け出しており、勝手に取得した休暇中だったため、家の事は細かくやってもらったけど、軍に戻って、一人生活。

パタヤでは友人もいないから、仕方なくサニーに繰り出すも、連れ出した子がシンナー臭いときている・・・最悪。

遊びに来るのは天国だけど、毎日通うとなると・・・って感じ。

飽きないように、徐々に食い散らかそうと思考中。

但し、当面の悩みは、この地区では、まともの友人を作るのが難しいかもしれないってこと。ダムさんが出所するまでは、孤独との戦いになるのかもしれない。

---

### [【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ](#)

---

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)

---





## tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

## 更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

## 12月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

## 仕事収め

2004,12,28

今日で仕事納めとなり、正月の長い休みに入る。  
 結局、ダムさんの件が（本当に帰ってくるのかどうなのか？）が分からなければ、今のところ予約も何もしていないし、予約のしようが無い。  
 唯一、パタヤ発、日帰りのダイビングは、予約したが、誰と行くかも決まっていない。  
 仕方ないから、ヌムでも連れて行くしかない。  
 ヌムと言えば、妹が病気だとか、警察に捕まったとか、携帯を質に入れてあるので出したい等の金の要求が多くて、うんざり状態しているというのが、本音である。  
 とにかく、早く、ダムさんに出てきてもらいたいが、日本人的に考えると、大きな天災があったばかりで、救出等の関係で、軍隊の一番の出番であるとは思うのだが・・・  
 もし、帰ってくるなら、1泊ぐらいはダムさんの実家で過ごすことになるが、大半は、パタヤでぐうたら過ごしてしまうのだろう。  
 それにしても、今年1年は、仕事中心の年であったと思う。  
 忙しくて目が回るという状況ではないものの、広範囲で、何から何までやったというのが実感である。  
 タイ人を部下に持ち、お金に対する執着心や、権利主張の強さを感じたし、逆に、日本の会社自体、労務管理がきちっとできていなく、終身雇用からくる会社に対する従属心の強さや個人の気持ちだけで成り立っているという日本的会社独自の考え方も分かった。正直、日本式考えは海外では、全く通用しない事であるとも感じた1年であった。  
 それを、駐在員や、本社の人間がきちんと理解しているかどうか海外に支社、子会社、工場を出すときに、実は一番重要な点かもしれないというのも実感させられた年であった。  
 タイ人の性格、考え方を知ることが、外国企業の成功への1歩かもしれない。  
 簡単に理解すると言っても、トイレ習慣や、食べ物等の単純なものではなく、考え方、思考回路などは、そうそう理解できるものではない。  
 時間に対する考え方、お金に対する考え方、仕事に対する考え方等を理解するのは至難の技と言っても過

言ではないだろう。

とある日系タイ進出企業向けの本に、日本人は、タイ人からすると「エイリアン」であるという記載があったが、まさにその通りなのかもしれない。

日本人も、タイ人の思考回路に悩むと同様に、タイ人も全く分からないのだろう。

年末を迎えて、「金を貸してくれ。」とあちこちから声がかかる。

ちなみに、会社の運転手は、アウトソーシングであり、運転手派遣会社を使っている。

会社は、きちんとお金を派遣会社に支払っているが、派遣会社が運転手に給料を支払ってないものだから、運転手が「年末に帰省する金が無い。」と言うのである。

会社から金が出たら、すぐに返すというが、運転手派遣会社が支払わなかった場合は、俺の金は戻って来ないのか？とも思うが・・・

クレジットが作れなかったから、お金を貸して欲しいという社員もいる。

腹の中では、「僕には、何の関係もないじゃん。」と思いつつも、怒った顔をせずに、理由を聞いたりするのは、ストレスも溜まるものである。

何はともあれ、今年の仕事は終了である。

来年は、どうなるだろうか分からないが、とりあえず、ダムさんに早く出てきてもらわないと精神的につらいような感じである。

パタヤ生活は、性欲をはじめ、人間として、また、僕個人の欲望は満たしてくれる場所である。ただ一つ足りないのは、人と人の交流とか心のぬくもりは満たしてくれそうもない場所である気がしてならない。売春を生業としている人に対して、「心の交流だ」なんて言葉を言い出すほうが間違っているのは、百も承知だけど、手っ取り早いから、ついついその手の子と遊んじゃうんだよね。

金で買えないもの・・・が確かに存在することを実感しつつ、今年最後の日記とさせていただきます。



## 津波発生

2004,12,26



TVを付けてびっくりである。

タイ南部で大きな地震（というか、津波）があったらしい。

震源地等は、聞き取れなかったが、年末年始を前に、旅行者が大勢入国中のこの時期に、大変な騒ぎである。幸い、自分の住んでいる場所は、全く関係なかったが、プーケットとピーピー島は、旅行者が多い季節で大変だったようである。

実家の親から電話があったりすると、日本でも大きなニュースになっているんだなーと実感。

最初、TVを見たときは、プーケットでテロが発生したと勘違いしてしまった。

しかし、よくよくTVを聞くと、地震から来る津波だったようである。

タイは、地震とは無関係な国であり、津波という被害も僕が知る限りは、知らない。

勝手な予想だが、飛行機を予約している人は、タイには来るでしょう。

プーケットを予定している人も少なくないはずである。

その人たちは、パタヤに流れるのではないかと・・・と、勝手に想像してしまうのである。

日曜日に、ビーチに行くと、何処に座っても白人だらけである。

プーケット行きの人たちが、パタヤに流れてくるとしたら・・・と想像してしまう。

ちなみに、新聞1面にも大きく報じられている。

驚いたのは、「津波」という文字が1面にあったのである。

タイ語で言えば、「クルーン・ヤック」直訳すると「波・大きい(鬼)」となっており、その横に津波とタイ文字で書かれてあった。

外来語であるが、日本語から来ている外来語もあるんだなーってちょっと驚きである。

津波という単語は、タイ語で覚えなくても良いということが判明した日であった。



## デイリーニュース

2004,12,23



朝起きて、コーヒーを飲んで、シャワーを浴びて・・・というような優雅な朝を迎えたいとは思う。しかし、現実には、目の回るような忙しさである。

取りあえず、TVをつけて、二度寝しないように、音を流し、水を1杯のみトイレに備える。

シャワーを浴びて、身支度を整えつつ、TVからの情報に耳を傾ける。

タイの朝もニュース番組が多い。

日本では、朝刊各誌を使つてのニュース番組（TV朝日）と朝の各地の情報を伝えながら、その日のニュースと天気予報、芸能、スポーツ情報を伝える番組があると思う。

タイでは、朝刊各誌を使つてのニュース番組が多い気がする。

未だに、何時からどんな番組があるかは分からないが、朝は、キャスターの顔で、大体分かる。面白いのは、ファランがメインキャスターで、タイ語でニュースを読む番組がある。

ファランキャスターらしく、時折、「英語で言えば、  
」と、ニュースを聞きながら、英語の勉強にもなる一石二丁の番組もある。

タイ人との討論ももちろんタイ語こなし、すごいもんだなーーと思う。

ニュースと言えば、政治問題、経済問題等の難しい単語のオンパレードである。

外国人にとって、難しいタイ独自の役職名や名前の連続。

最近、自分もタイ語の新聞を読む機会を意識して増やしているが、これらニュースを読みこなせれば、すごいと思う。

ちなみに、タイでは、新聞は8パーツという値段である。

一般紙と、スポーツ芸能が分かれていて、2部1セットという感じである。

自分は、芸能、スポーツ紙は、分からないことが多いので（俳優やスターの名前を知らない）映画情報だけチラッと見て、運転手さんにあげちゃう。

一般紙のほうは、1面に事故、火事、麻薬、強姦といった3面記事的なものが並び、派手な見出しをドカーンとつけ、詳細は、後ろのページに記載してある。

その見出しがくせもので、訳したり、人の注目をひきつけるような俗語がでてくるので、外国人にとっては読みづらい。

もちろん、僕が新聞の隅から隅まで熟読するためには、途方も無い時間がかかってしまうので、1面の記事（写真つきが多いので、半分は想像）と、時事問題的なものを読むようにしている。タイラットという新聞が一番売れている新聞なのだが、自分は、デイリーニュースという新聞を愛読している。

何故か分からないが、読みやすい（理解しやすい）新聞である。やさしい単語を使っているのか、文法が簡単にできているのかは分からないが、外国人向きの新聞であると思う。

ただ、難点は、なかなか売っている場所がないということである。

少なくとも、交差点で信号待ちの時に、売ってくれる新聞の中には、デイリーニュースはないのである。

（この地区では）

ちなみに、パタヤのコンビには、英字新聞が多く、タイ字新聞は少ない。

偶然、デイリーニュースが買えた朝は、異常に気分が良いのである。

これから、会社にも新聞を購入するが、タイラットは欠かせないとして、デイリーニュースを置こうと密かに企んでいる。



## 時間がかかった

2004,12,19



3回ほどご愛用の子から電話があった。

ヌムという名前の子だが、店で働いているわけではない。

酔っ払って、道で電話番号を渡したら、翌日かかってきた。

翌日あって、マネー君だと確認したうえで、「まあ、遊ぶ程度なら良いかなー」って事で、たまに（しばしば）会っている。

ヌムから電話があり、「バイクで捕まったから助けて欲しい」との電話。

タイ人の助けて欲しいという意味は、「金を用立ててくれ。」に等しい。

彼の家に行ったら、夕方にも関わらず、親戚一同、ビールを飲んでいた。

昨夜渡した金で、宴会をしているのは、明らかだが、別に、あげたお金をどう使おうが、知ったことではない。

交通違反で、その場で罰金が払えないから、バイクを押収されたと聞き、罰金の200パーツぐらいを用立てれば良いのかなーと勝手に解釈。

そしたら、どういうわけか、親戚のおばさんとおじさんを探している。

携帯電話を持たない親戚一同・・・あっちの家に行ったり、こっちの家に行ったりして探し回ること1時間半。

どっからどうみても、貧乏極まりない風貌。

その後、その親戚がやっと見つかって、次に、警察に顔が利くと言う人を探しまじめる。

こちらは、すぐに見つかった。

ヌムと、知らない人が3人乗った、我が車は、今までで最大乗車人員。

しかも、言葉は悪いが、あまり、乗って欲しくない面々。

ちなみに、おばさん、よっぽど乗用車に乗るのがうれしいのか、小汚い犬まで膝に抱いている。日本で飼っている室内犬とは程遠い犬を、買ったばかりの新車に・・・

自分も含め、合計5人で、たかがバイクの罰金を支払いに出向く。

警察に顔が利くはずのおじさんは、どうやら、何の力も無かったらしい。

警察署に着くやいなや、ソファアに座ったまま。

で、僕が勘違いだと分かったのは、捕まったのは、ヌムではなく、おじさんの方であった。

この小汚いおじさんの犯した罪の為に、僕が利用されたと知ったのは、警察署に着いてからのことであった。しかも、罰金が、やたらと高い。

ノーヘル、無免許、煙（古いので、黒煙）等で、千パーツ。

自分の予想より高かった。

罰金を払ってから、バイクの保管場所を探したのだが、これが大変。

ちゃんと場所を聞いてくれば良いのに、「通りのホテルの横だ。」という情報。

「あのね、パタヤには、ホテルは山ほどあるのさ、分かるかなー？」って状態。

ちなみに、警察に顔が利くというおじさん、何の役にも立っていないのに、Uターンしろだとか、ゆっくり走れだとかうるさい。「こんな1車線道路で、ゆっくり走れるかー！」

「こんな車の多い場所で、Uターンなんかできるか！」道行く人に、尋ねるが、このごとく外れ・・・

いつになったら開放されるんだー」って思いつつ、やっとの思いで到着。そしたら、探せど探せどバイクが無い。パタヤには、同じような保管場所が2箇所あるらしい。それで、もう1箇所の方に出向き、やっとバイクを探し当てる。

バイク1台を取り戻すために費やした時間は、合計4時間（夕方4時から8時まで）

ちなみに、警察署では、違反切符を持参し、お金を払うだけなので、10分足らずの出来事であった。その他時間は、本当に無駄な時間としか言いようが無い。

ちなみに、その場で、少しばかりの現金を払えば4時間と言う時間を使わなくても良かったはずなのに・・・。



昼のパタヤを知りたい

2004,12,18



パタヤの街に住み始めて、詳しくなったのは、スニー界隈のことだけ。どの店が、客が入っているか？とか、あの子は、シンナーやっていると、店と人には詳しくなりつつある。先週も、趣味が似ているバンコク在住のA君が遊びにきたのだが、「あの子可愛いねー。。」という「あの子は、可愛いけど、性格が　。」とか「あの子は、大きい。」等の情報を持つまでになってきた。スニー界隈で、あまり、有名になるのも何だから、遊びに行く回数を減らさなければ・・・とは思うものの、さしあたって仕事が終わった後に、行きたい場所も無く、ついつい、いつもの店で飲んでしまうのである。

しかし、夜の遊びばかりじゃつまらない。やはり、昼間の遊びもしたいと願うのが本音である。暇なときに、ネットで色々調べて分かったのだが、昼間も遊べる観光地が結構あるようである。ついでに、ダイビングできる場所もかなりあるようである。

正月休みの1週間、何処に行こうかなーって思っていたけど、結局はパタヤでも昼間の遊び場所、観光地も結構あるようだし、「健全な昼のパタヤで楽しもうかなー。」って思う。ダムさんも、ギリギリまで、本当に休めるのか分からないようだから、県外に旅行する予約を立てて、キャンセルする若しくは、無理やりゴゴっ子を連れて行くより、よっぽどすっきりして良いんじゃないかなーって思うわけです。

ダイビングもやりたいし、パタヤだって、夜以外の遊び場所もあるということを実感したいと思う

---



## 来年の生活

2004,12,17



来年のライフスタイルを考えてみた。

ダムさんが戻ってくるまでは、このままパタヤに住むとする。

寂しさ解消の為の場所が山ほどあるからである。

ダムさんが出所後、どうするかなーって、ふと、考える。

ダムさんも働き始めるだろうし・・・パタヤに住むことが正解かどうかは非常に疑問である。通勤の足の問題が出てくるからである。

まさか、同じ会社で働くわけにもいきまい。

観光地・パタヤの街を見渡すと、ホテルやショッピングセンターを除いて、会社らしい会社はいかにも少ない。

また、通勤にかかる時間とガソリン代を考えたら、勤務地の近くにアパートを借りて住み、週末は、パタヤで過ごすと言う選択肢もあるのではないかと思う。

というのも、パタヤと勤務地までの通勤時間の1時間、ガソリン代は、月に3000バーツ。仮にガソリン代だけを考えても、勤務地からの近場のアパートは十分に借りられる。

ところが、問題は、インフラとセキュリティーである。

工場のワーカーは、工場近くの2000バーツ前後のアパートで、それなりのポジションの人間は、地方でも都市部に住んでいるという現状。

数万バーツも月給のある人間が、工業団地近くの田舎のアパートに住んでいるという話は聞かない。事実、日本人も、ある特定の地域に集中して住んでいる。そう、バンコクで言えば、スクンビットにあたる地区である。

アパート自体は、平日に食事を取って、寝るだけということを見ると、3000バーツも出せば、問題ないと思う。しかし、こんな場所に外国人が住んでいたとしたら、狙われる(泥棒に)という発想が頭をよぎる。

どうしたって、外国人であることは分かってしまうのだから・・・特に、車なんか、駐車しておいたら、あっという間に無くなってしまいうような気もしちゃうのだが・・・

だけど、片道1時間とはいえ、往復2時間の通勤は、僕の考えでは長すぎる気がするし、アパート代を考えても、2箇所借りておくという方法も十分に可能な選択肢であることも確かである。

ダムさんが帰ってきてから、就職のことを考えても、日系企業がごろごろしている場所に住んだ方が、就職もしやすいだろうと勝手に考えるのだが・・・。

---



毎年、同じような事を書いているような気がするが、今年も年末になるとふと思う。  
 暦は、着々と年末を迎えている。  
 ボーナスだ、クリスマスだ、正月だ・・・行事は目白押しである。  
 タイも、季節の上では、冬となっているが、現実的には日中30度を超す暑さである。  
 クリスマスや正月気分とは程遠く、ホテルにクリスマスツリーが飾ってあるのを見て、年末を実感する程度である。  
 タイも、確かに一年で一番寒い時期を迎えている。  
 朝、寒くて目が覚める・・・これ、本当である。  
 寂しい一人寝が続いているが、朝、毛布に包まって、それでも寒くて起きてしまう。  
 ちなみに、日本でいう掛け布団なんぞ、タイ生活では一度も使用したことはなし。  
 タオルケットで十分なのだが、この季節は、それでも寒い。  
 この季節以外は、寝るときも扇風機が一晩中活躍するのだが、現在は、扇風機も付けずにお休み。  
 1年を通して、この季節だけが、唯一、水浴びができない季節である。  
 お湯シャワーが活躍する唯一の季節であると言えば、分かりやすいだろう。  
 この季節の為に、湯沸かし器を購入するのである。  
 我慢大会のような思いまでして、朝シャンは、嫌だからね。  
 昨日、ダムさんから電話があり、年末年始は、出所できそうであるということである。  
 しかし、正式に決まるのは、28日頃だそうである。  
 29日から4日までは正月休みなのだが、旅行に行く予定も立てられそうもない。  
 せっかくホテルを予約したのに、ゴージャスと遊びに行くなんて、まっぴら御免である。  
 日本に居るところからそうだが、お寺にお参りに行ったりしたことが無かった。  
 しかし、本日、会社のプラ・ポロム（会社の前にある、小神社？）・・・に、線香をあげ、ダムさんが正月に帰ってこれるようにお参りした。  
 でも、会社にある大小の仏像は、一つは、商売繁盛の神様、一つは、土地の安全の神様と言われている。  
 会社の商売繁盛とダムさんの正月休暇は全く関係なしとして、土地の安全の神様の方に線香をあげてお参りしたが、この土地を守る神様にお参りしても、効果は???でしような-----。

---



タイ式運転もやっと慣れてきた。  
 タイスタイルの大きな特徴を一口で言えば、「自己中心的運転」  
 最も困惑するのは、ウインカーを出さないことである。  
 ウインカー無しに、車線変更されると、後ろの車は、びっくりする。（当たり前）  
 逆に、ウインカーを出して、出しばなしというのも頻発。  
 ず-----っと、ウインカーを出しているから、「いつ、曲がるのかなー」と思って構えていると、ず-----っと、直進。  
 タイ運転初心者の頃は、「なんだー？」って思っていたけど、最近は、慣れてしまって、「また、消し忘れている。」ってな感じ。  
 後ろのランプ（ブレーキランプ）の故障もしばしば見かける。  
 困るのは、前の車がブレーキをかけても全く後続車は分からない事である。  
 何で、いきなり車間距離が縮まったか分からないまま、慌ててブレーキを踏むのである。  
 要注意。  
 片方の後方ランプが壊れている場合は、最悪。  
 真っ暗な道、四輪者か二輪車かの判断は、ランプのみが頼りである。  
 二輪車だから、追い越そうと思ったら、四輪者だったなんていう話は、しばしば遭遇。  
 二輪車のもっと怖いのは、バイクの横に、別の荷台が着いているパターン。  
 5レンジャーの桃レンジャーを思い出して欲しい。（古い-----？）  
 当然、助手席?には、荷台が付いているものの、ブレーキランプも何もなし。

真っ暗な道・・・二輪車だと思っていたら、荷台付だったというのは、かなり驚き。  
 それにもまして、最も怖いのは、バスやマイクロバスという客車である。  
 日本の常識からすれば、お客を乗せた大型バス等は、十分な安全運転の車である。  
 タイの常識は全く逆。バス等のお客を乗せた大型車の運転が最も危険である。  
 もし、乗用車とバスが接触したら、乗用車の方に大きなダメージがあるの是一目瞭然である。それを意識してかどうかは分からないが、かなり無謀な運転。  
 客車は、安全運転という常識は、日本の常識、タイの非常識。  
 バス側は、ぶつかるなら、ぶつかって来いと言わんばかりの運転方式。  
 毎日の運転で、最も気を使っているのは、何を隠そう大型バスである。  
 最近、つくづく思う。  
 タイで死ぬとしたら、病気じゃなくて事故死だなーって。  
 冗談抜きで、自分の意思と無関係に、死にたくはないと願ってやまない。  
 だって、タイ生活、楽しいんだから・・・・・・・・

## バンコクとの違い

2004,12,8 

ンコクを離れて新しい生活が始まっているが、生活の基本は変わらないが、売っている食べ物が少々違うことに気づき始めた。  
 目に付くことは、ジョークというお粥がパタヤ地区はバンコク地区より多く売っている。  
 ジョークというお粥は、通常の中国風お粥とちょっと違っている。  
 生姜がたっぷり入って、米粒自体も、砕いてから煮ているようで、どろどろとした感じである。それに臍物、卵、豚のミンチを入れるのである。  
 旅行者時代に食べてから、ファンになり、バンコク生活でも何度か食べたが、バンコクでは売っているお店が少なかった気がした。  
 バンコクに住んでいた時に、タイ人に「ジョークを売ってる店が少ないなーって、何で？」って聞いたことがあった記憶があるが、その時の答えは、「作るのに手間がかかるから。」って言われた記憶がある。  
 しかし、パタヤに住みはじめて、朝、ジョークを売ってる店がやたらと目に付くようになっている。それに比例してか、朝食にジョークを食べる機会も格段に増えた気がする。

クイッティアオ（米粉の麺）はよく食べる。勝手な妄想かもしれないが、揚げ物、炒め物が多いタイ料理の中で、比較的カロリーが少ない料理であると思っているので、食す機会が多い。クイッティアオと一言で言っても、種類はかなりある。旅行の本には、スープ無し、スープあり、麺の種類ぐらいまでは書いてあるが、実は、それ以外にもトムヤム味だとか、具も、豚、牛、つみれ等、数え切れないほどの種類がある。  
 パタヤに来て、目に付くのは、ドゥーディーという新種？の麺である。  
 新種という意味は、バンコク市内ではあまりお目にかからない種類であるということである。最近、ドゥーディーのファンとなっている。ベースはトムヤム味に似ているが、それよりもさらにコクがある感じがする。  
 バンコクであまり見かけない新種のクイッティアオ、しかも、激ウマの食べ物を見つけて、喜んでいるこの頃である。

## 思うこと

2004,12,6 

転職してから、地位とお金は格段に向上した。

結局のところ、収入が増えれば、支出も増えるので、プラスとマイナスを考えれば、どちらが良いのかという結論は難題である。

最近、ふと思うのは、タイ的生活が、日本人駐在員的になりつつある。

日本食屋をはじめ、高級な場所で食事をする機会が格段に増え、スニーにお金をつぎ込んでいる今は、旅行者とたいして変わらない支出をしているのではないかと思う。

屋台で食事をする機会もめっきり減ったと思う。

スニー代は、どうせ、ダムさんが戻ってくれば終了することであると思い、一人勝手に納得しているが、週に7回通って、3回はお持ち帰りをしているような日々。

支出が増えたということよりも、タイの庶民的な生活からどんどん離れて行っていることにやや困惑しているというのが本当のことかもしれない。

久しぶりに、市場へ寄ってみた。

野菜や肉といった生鮮食品や、おかず、果物・・・はたまた衣料品まで売っている場所である。楽しげに友人同士、家族同士、買い物に来ている姿を見て、逆にドキッとしてしまう。ロータスやビックCといった外資系ショッピングセンターが庶民の買い物先となっても、やはりアジア屋台パワーは衰えないでもらいたい。

中学生ぐらいの子が、半ズボン、サンダルで友人同士買い物に訪れ、肩を組んだりしながら歩いている姿が妙に印象的である。

金と地位を得たとしても、タイの魅力を忘れない自分でありたいと思ってやまない。

サバリーな生活を求めてタイに来たわけだが、別にサバリーになるためには、金がすべてではないとは思いうし、但し、貧乏生活をして、いろんなことを我慢してまでタイで生活しようとは思わない。

金だけ追い求めて、仕事オンリーのタイ生活というのも真っ平である。

その辺のバランスが、これからの課題になるんじゃないかなーって、ふと思った。

こんな考えが頭をよぎるといのは、ちょっと心のバランスが崩れているのかなーって思う。早くダムさんが帰還してくれることを願うのみである。



## タイの不思議

2004,12,4



アメージングタイランドを実感している。

家族の絆、つながりが多いというか？公私混同というか？何と書いていいかわからない。

先日、社員食堂の業者の選定の面接を行った。

当然、おばちゃんという感じの人が来た。

翌日の事である。娘と息子が共に面接にやってきた。

しかも、両者共に別会社で働いているのである。少しでも現在よりも良い給料ができれば・・・という思いで、面接に来たとしか思えないが、不思議に思える。

ちなみに、息子は、大卒で、本人の自己申告によれば、かなりの給料をもらっていて、確かに良いポジションである。

しかし、昨日の今日で、さっと半日休暇を取って面接にきていることを思うと、疑問である。

我が社は、運転手さんも掃除のおばさんもアウトソーシングである。

つまり、弊社社員ではなく、派遣社員ということである。

掃除のおばさんは、2週間ごとぐらいにくるくる変わっていたが、ある人になってから、変わらなくなった。なんと、運転手さんの奥さんだったのである。

運転手さんの派遣会社と、掃除の派遣会社は、全くの別会社であることを考えると、策略による同じ勤務場所としか考えられず、日本的に考えると、不思議である。

ちなみに、掃除のおばちゃんが何度か交代しているが、そのうちの一人が、食堂（レストランではないと思う）を経営？しはじめたようである。社員食堂がオープンしていない現在、タイ人社員はお弁当を注文している。

なんと、その注文先が、掃除のおばちゃんの店なのである。

掃除のおばちゃんから、食堂経営に進出したおばちゃんの料理の腕はわからない。

しかし、なんか、面白いことが多いこの頃である。



## 日曜日は国王誕生日

2004,12,3



12月5日は、プミポン国王の誕生日である。

滞在初年度、2年目ぐらいまでは、タイの祭日も興味を持って、「何の日だろう?」とか、「どういう意味なんだろう?」とか注意深くしていたし、タイ語学校に通っている時は、嫌でも授業で出てくるので、覚えざる得ない状況であった。

滞在3年目を過ぎると、祭日関係も4回目を迎えることになり、ただの祭日=仕事の休みの日ぐらいの感覚しか無くなってきていた。

今年は、国王誕生日が、日曜日になり、月曜日の代休をどうするのが焦点になり、国王誕生日自体は、自分からするとあまり大きな興味を引くものではない日である。

しかし、会社の間が「会社の前に、旗を掲げなければいけない」と言ってきたので、3色の国旗と黄色の国王の国旗を購入することとなった。

タイに来てから、3回も国王誕生日を経験してきているが、国王の旗を掲げる習慣があったことなどは、初めて知った。



## 夜の生活

2004,12,2



会社の備品が次々と搬入され、やっとオフィスらしい姿になってきた。

しかし、パソコン設備がまだで、会社で自由にメールをみたりできない状況である。

もちろん、自分の机で・・・見れないということである。

今日は、たまたま職員がほとんどいないので、自分のパソコンを利用し、ネットに接続。この前から、ヶ月前の日記などとやっているのは、暇なときに(日本に居たときに)書いていたものを、隙を見つけて送っただけである。

時間が前後していると、自分でも訳が分からないし、読んでも人はもっと分からないだろう。ごめんなさい。

過去の日記は、これでおしまいです。

これからは、リアルタイムな日記となります。

まあ、自分の時間で、ネットカフェに行って、日記の更新・・・等ということは無いと思ってください。

夜の生活もパターン化してきた。帰宅後、8時にサニーに出勤。

ボトル入れたら、ミキサーフリーだって言われてボトル入れたのに、突然、今日からミキサーも有料と言われたけど、ビール代より安いから、毎日通う。

さすがに、毎日行っていると、常連になり、バイクを通りに停めるだけで、店の前にきちんと駐車してくれる。

ウイスキーと、いつもの子がどっからでてくるのか?5分以内には現れ、横に座っている。子一時間話して、今日は連れて帰るかどうか悩んで、下半身の状況と、酔い具合で判断。酔ったときは、代行運転させ、家まで帰宅。

代行運転がしばしばあるので、僕の家は・・・と説明しだすと、お兄ちゃんが「何回も送ったから知っている」という感じ。

最近は、特別楽しい事もないし、刺激も感じなくなってきたけど、すること無いから行っているって感じかな?スニー界隈でウロウロ歩いているフリーランスは、可愛い子も歩いているけど、びっくりするような年齢の未成年やシンナー臭い子があまりに多くて、リラックスしては遊べないかな?

それでも、こんな夜がパワーとなって、昼間の仕事もがんばれるのである。



## ダムさんに面会

2004,12,1



日曜日、ダムさんの面会に行ってきた。  
丁度、軍事訓練中の高校生と出くわし、よだれもの・・・

ダムさんの軍隊生活は、それほどしんどくは無いけれども、早く出たい・・・というものらしい。  
それでも、日曜日は面会の外部の人間が多いのにも関わらず、トイレの中で腕立てさせたりするのを目撃  
すると、大変なんだろうなーって思う。

1ヶ月バックれてたから、給料なしはやりかいてできるが、受け取りのサインはさせられているようで、上層  
部に流れているらしい。

正月の一時帰宅も、上官への上納金で何とかなるということで、お金でダムさんとの時間を買おうと思っ  
ている。

せっかくの長期休み、寂しがり屋の僕が、一人で過ごせるはずもなく、スニーの子と過ごすなどと言う無  
駄使いはしたくないので、何としても一時出所させなければ・・・と思う。

先に上納金預けていこうか？ってダムさんに聞いたら、「馬鹿、先に渡したら、そんなもの知らないで終  
わるでしょ。家に帰って、お金を取って来るって言うんだよ」って。

まあ、領収書の無い金だから、当たり前ですね。

受け取るほうも受け取るほうだが、渡すほうも、さすがわタイ人。

そういえば、薬物撲滅運動、コピー商品撲滅運動、その次に、公務員の賄賂撲滅運動ってしてなかったっ  
け???

---

---

### 【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

---

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピッ  
クス](#)

---

